



トレードの教科書ファースト

トレードの教科書ファースト 利用規約

第 1 条（総則）

本書の利用者は本規約を遵守するものとします。

第 2 条（定義）

本書「トレードの教科書ファースト」を以下利用規約内では本書という。

- ・本書を利用する者（購入しようとしている者、または購入者）を、以下利用者という。

第 3 条（禁止行為）

- ・本書を転売（オークションへの出品を含む）・複製・譲渡する等の不正行為。
- ・本書の内容や、本書の内容を想像できるような表現を使い、インターネットや言語などの伝達手段を用いて公開すること。
- ・本書の内容を引用するなどして当方に不利益な行為を行うこと。
- ・その他当方が不適当と判断する一切の行為。禁止行為の有無についての判断は、当方が行うこととし、利用者はその内容、根拠の説明を行う義務を負わないものとします。また、利用者は当方の判断に従うものとします。

第 4 条（著作権）

本書は、著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に関して、以下の点にご注意ください。本書の著作権は、当方に属します。当方の事前許可を得ずにして、本書の一部または全部をあらゆるデータ、著作権手段(印刷物、ビデオ、テープレコーダーおよび電子メディア、インターネット等)により、複製および転載することを禁じます。

第 5 条（損害賠償）

利用者が上記第 3、4 条を侵害した場合は、著作権法など関係法規に基づく手続きにより、法的手段をとらせていただくとともに、違反件数と販売価格を乗じた額の 10 倍の損害賠償金を支払うものとします。また、インターネット上で公開した場合は、一律 1000 万円の損害賠償金を支払うものとします。

第 6 条（販売停止、変更、修正、追加、削除）当方は、いつでも本書の販売の停止、変更、修正、追加、削除することができるものとします。利用者への通知はその都度ブログ・メールにて行うものとしますが、緊急を要する場合はその限りではないものとします。

第 7 条（取り扱い）

当方は、提供する情報の正確性の確保に努めていますが、完全さを保証するものではありません。本書やメール情報の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。

第 8 条（秘密保持）

当方と利用者は、この規約を通じて知り得る秘密を、事前の承認なしには一切外部に公表することはないものとします。

第 9 条（規約および条件等の改訂）本規約および条件は、当方の判断により利用者の承諾なく随時変更、改訂を行うことができるものとし、利用者はこれを承諾するものとします。上記改定後の本規約も、当方と利用者との間のすべての関係に適用されるものとします。

第 10 条（免責事項）

本書のすべて（マニュアル・データ等）は、発行時点における当方の見解をまとめたものであり、将来にわたるすべての外国為替証拠金取引（FX）における利益を保証するものではありません。使用・実行は、すべて自己責任で行うものとし、投資によるいかなる損害が発生しても当方は責任を負わないものとします。

第 11 条（返品について）商品の性質上、当方は返品には一切応じません。

Contents

■ 目次

- ・はじめに P005
- ・第 1 章 あや流「利益を出す為の心得」
- ・初心者だった頃の自分へ向けて書いた手紙 P007
- ・あなたへ向けて書いたお手紙 P041

■ 本書の活用法

- 1 テキストを利用して相場の原理原則や技法をマスターしてください。
- 2 実際のチャートでコンテンツ内容を確認、復習してください。
- 3 リアルトレードに生かしていきましょう。

■ 注意

各ページの下に Copyright の横に 2022 と記載していますが、これは最初に作成した年であり、その後も随時加筆修正しています。

一部を除き、最新の内容になっていますのでご安心ください。

はじめに

このたびは【トレ教】（トレードの教科書 ファースト）をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

この【トレ教】は私が8年間のトレード人生の中で学んだ経験・知識・スキル・コツの全てを凝縮し、特にFXを始めただけの初心者の方に向けて、書かれたものです。

私も最初、これくらいの知識があれば。。

あんな苦労することも、地獄を味わうことなく、もっと早く勝ち組になれたと思います。

あの頃は今ほど情報が少なく、良質の情報なんてものは本当に少なかったです。

ギュウギュウに詰め込みすぎたかなと思い、ザックリと減らした部分もありますが

これをきっかけに、私と関わって下さったあなたが勝てるようになればと思い、何度も書き直し書き直し、、ボリュームもこの通り大きくなってしまいました。

ただし、これを読んだだけでは、当然ですが勝てるようにはなりません。

分かった気になるだけです。

家でゴロゴロして「お金持ちになりたいなあ」と妄想しているのと同じです。

メモをしたり、相場説明やエントリーポイントの説明があれば実際に自分でチャートを開き、同じような場面を探してみてください。

行動に移さないと【トレ教】を生かしきれません。

勝ち組になれません。

『やらないと結果は出ない』当たり前だけど忘れがちです。

勝つためのエッセンスを詰め込んだので、最低 3 周は読み返して、消化させてくださいね。

この【トレ教】をしっかり理解できれば、これから、どんどん資産を増やせていけるようになると思います。

す勝てるようになったら、私に報告くださると嬉しいです

連絡先：

info@ayafx.site

尚、この【トレ教】では便宜上、分足チャート、時間足チャート、日足チャート、週足チャート、月足チャートの全てを時間足チャートと表記します。

Meta Trader については、MT4 と記載していますが、こちらも MT5 でも構いませんし、TradingView でも国内 FX のものでも基本的な操作は同じです。

第 1 章 あや流「利益を出す為の心得」

■ 初心者だった頃の自分へ向けて書いた手紙

これは FX 初めて 1 年目の頃の自分へ向けて書いた手紙ですが、あなたにも参考になればいいと思いますので恥ずかしいですが公開しますね。

- (1) 検証して手法を磨け
- (2) 負けたらパソコン閉じろ
- (3) 飛び乗りやめろ
- (4) 爆損は筋トレして無になれ
- (5) 爆益はまぐれと思え
- (6) 他人の考察は聞くな
- (7) 勝てないうちはロットを小さくしろ
- (8) トレーダー仲間は大切にしろ
- (9) メンターを見つけろ
- (10) 鉄板手法をまず 1 つ身につけろ
- (11) 生ぬるい考えは捨てろ

(1) 検証して手法を磨けあなたは、

「勝てる手法さえあれば自分も勝てるようになるのに！」

「勝ち組トレーダーが使っている手法が欲しいなあ。。」

そう思っていないですか？

勝てる手法を手に入れる為には、検証が必要です。

この【トレ教】でも簡単なトレード方法を載せていますが、

いきなりリアルトレードでやったら負けます。

当たり前の話なのですが、例えばマイケルジョーダンのバスケットボールを買ったら、すぐに NBA の試合であなたは活躍することができるでしょうか？

野球のイチロー選手のバットを買ったら、すぐにプロ野球選手並みにプレーがうまくなりますか？

「そんなわけないじゃん」

って思いましたよね。

ジョーダンのバスケットボールも、イチロー選手のバットも、あくまでも「道具」であり、使う人次第で結果は変わってくるのです。

FXも

道具 = 手法 使う人 = あなた
です。



勝ち組トレーダーの手法を使っても、その人は勝てますが、あなたは勝てないかもしれません。
なぜなら、スキルが違うからです。
環境認識力、トレード力、資金管理能力、メンタルを制御する力。。。

あなた自身のスキルを上げないといけません。

野球が上手い人は、朝起きてから寝るまで 1 日も休まずに練習をしています。

同じように、トレードが上手になりたいのなら、道具である手法を使って 1 日も休まずにひたすら練習が必要です。

検証ソフトを使ってもいいですし、MT4 でも検証はできます。

検証してみないと、その手法が勝てるのかも分かりませんし、勝てるか分からない手法で、大事なお金を使ってトレードできますか？

負けたらお金を失うのに。。。



その手法の得意な相場、つまりどういう相場なら勝ちやすいのか、どういう相場なら負けやすいのか、もっと勝率を上げる方法は無いのか、などなど、とにかく手法を使いこなせるようにならないと、リアルトレードでお金を稼ぐことはできません。

本気でお金を稼ぐスキルを身につけたいならまずは、手法を徹底的に練習、検証しまくってからリアルトレードへ行きましょう。

検証のやり方やコツは【あや検証】でお伝えしているので、勝てる手法が無い場合は参考にしてください。

【あや検証】➡<https://ayafx.site/aya-kensho>

(2) 負けたらパソコン閉じろ負けたら悔しいですね。

悔しくてなんとかして負けを取り返したくなって、反対のポジションですぐにエントリーしてしまったり、さっきよりも大きなロットでエントリーしたり、マウスをぶん投げたり、悔しくて泣けてきたり。。

そういう経験はあなたにもありませんか？

とにかく損切の後は、メンタルが崩壊しやすいです。

大きな損失を出す時は、きまってメンタルが崩壊した時です。

冷静になる為に、すぐにパソコンを閉じましょう。

そしてパソコンのコードも抜くとさらに良いでしょう。

(3) 飛び乗りやめろ

チャートを見た瞬間、長い陽線がぐんぐん上昇していたり、大陰線が何本も続いて出現してどんどんローソク足が下に進んで行く場面に遭遇することがあります。

こんな時、乗り遅れないように慌てて「えいっ！」と飛び乗りエントリーをしたくなるのも初心者にありがちな行動です。

この顛末の多くは、エントリーした所が底や天井になって逆行します。

つまり、買いエントリーで飛び乗った場合は、エントリーしたらすぐに下げ始めて一度も含み益にならずに大きな損切になり、逆に売りエントリーで飛び乗った場合は、エントリーした途端に上げ始めて一度も含み益にならずに大きな損切で終わるケースがザラです。

まるで後ろから誰かに見られているかのようですね。

しかし、こうなる理由は実は簡単です。

環境認識をしていないからです。

現在、向かっている流れは上なのか、下なのかも分かりませんし、運よく利確方向に動いてくれたとしても、途中で反発されそうな位置があるのかも確認していません。

ただ一言、「準備不足」です。

まずは相場がどんな状況かを確認してからトレードするのが基本です。

チャートを見た瞬間が最高の売り場・買い場なんてことは100回のうち1、2回程度だという事を覚えておいて下さい。

(4) 爆損は筋トレして無になれ大きな損切は心が痛いですね。

悔しくて悔しくて泣きなくなったり、「どうしてあんな所でエントリーしたんだ！」と自分を責めたりしたくなります。

ゼロカットなど、口座資金を全部無くしてしまった時なんて、「明日からトレードできないな、また入金か、もうお金無いな、生活資金も底を尽きたな」と、立ち直れないかもしれません。

こういう事は実は誰でも経験することです。

そんな時でも人間と言うのは強いもので、時間が解決してくれることも少なくないです。

1日寝れば、大抵の場合は落ち着きますが、傷が大きい場合は一晩寝ても焦燥感は無くならないでしょう。

死んでしまいたい気持ちは増すかもしれません。

そんな時は、体を動かしてみてください。

10分から20分くらい家の周りを全速力で走ってきてください。

ランニングウェアじゃなくても普段着で構いません。

近所の目が気になるなら、家の階段の上り下りでも十分効果は得られます。

体を動かしている間だけでも、爆損の悲しみは忘れることができたりします。

意外と思うかもしれませんが、案外そんなものです。



あるいは、エアロビクスなども効果的です。

YouTube で検索すると短い時間でできるものや、初心者向けのものなど豊富にありますので、探してみてください。

その他の方法として、筋トレが苦じゃない人は、筋トレをやってみましょう。

腹筋などでもいいですが、精神的ダメージが大きい場合は体を大きく動かした方が良いですので、そういう時のオススメは、サーキットトレーニングです。

サーキットトレーニングとは、スクワットや腕立て伏せなどの筋トレの合間に有酸素運動を挟むダイナミックな運動方法のことです。

効果は

- 1.脂肪燃焼
- 2.心肺機能と筋持久力の向上
- 3.筋力の向上
- 4.免疫機能の向上

などがあります。

サーキットトレーニングって、やってみるとめっちゃくちゃキツイです。

30 秒もしたら、もう心臓がバクバクになるハズです。

でもそれを必死に 10 分もやっていると、良い意味で全てがどうでも良くなってきます。サーキットトレーニングの本来の目的は体力づくりですが、トレードで大損した時のメンタル回復に大きく役立ちます。

そして最後にお風呂にいつもよりゆっくり長めに入れば、「爆損による心の痛み」はかなり和らぐはずですよ。

お風呂が難しい場合は、あったかいシャワーを浴びると良いですよ。

シャワーのポイントは、首や両肩、頭のてっぺんに長めに当てることです。

まるで滝行のように。。。

だんだん体中の血が回り始め、全身のこわばりが取れ、リラックス効果が高まり、
気持ちが良くなってきます。

寒い場合は、風呂おけにお湯を満タンに入れ、そこに足をつけてシャワーの間、足湯のようにしておくのも良
いです。

爆損した時に私がよくやっていた方法です。
体がほぐれると心も癒されてきますので、ぜひやってみて下さい。

そして1週間くらい相場から離れましょう。

相場は逃げません。

FX 関連の SNS をやっている場合は、そちらからも離れましょう。

理由は、他人の爆益情報を見て、また感情がぶり返すかもしれないからです。

今は静かに自分と向き合う事です。

- ・寝る
- ・運動
- ・お風呂
- ・読書
- ・趣味・笑う

こちらが今のあなたに必要な時間です。

(5) 爆益はまぐれと思え

爆損する時があるなら、爆益もたまにはあっていいですね。

でも注意しないといけないのは、たまたま大きな金額を利確したからと言って、勝ち組になったと思ってしまう事です。

それはとても大きな勘違いです。

数回爆益を出しても、勝ち組ではありません。



爆益が出るパターンとして、よくあるのは

- (1) 大きなロットでエントリーをする
- (2) 損切注文を入れない
- (3) かなり離れた所に損切注文を設定していて、損切にかからずに運良く利確方向に相場が動く

の3パターンです。

この3パターン全てにおいて言えることは、あきらかに「まぐれ」で爆益が出るという事です。

初心者がギャンブル的に行ったトレードの結果、たまたま爆益が出るのもこのパターンで、下手したら、爆損になる危険なパターンです。

勝ち組の損益と言うのは、突出した大きな損切や、大きな利確は滅多にありません。
その結果とも言えますが、成績が安定しています。

では、勝ち組が爆益を出す時というのは、どんな時でしょうか？

それは、相場が大きく動いた時にトレンドと同じ方向にエントリーをしていて、途中でも決済せずにトレンドの終わりの方まで保有しつづけた時です。

あるいは、利益が乗ってきた時に、追加で積み増してポジションを増やしていった場合です。

勝ち組の多くは、確実性を優先させますから、アップトレンドの天井やダウトレンドの底までは取りませんが、中にはこうやって利益を伸ばす時もあり、それが爆益という結果になることがあるということです。

ロットの大きさも適正ですし、損切位置も適切な場所です。
外したりなどしません。

(6) 他人の考察は聞くな

SNSをやっていると「ドル円は買い」とか「先出し連勝中！ポンド円は150円で売り」など書いている人を見かけることがあります。

あるいはLINEやDiscord、メルマガなどでこのような情報を受け取っている人もいます。

こういう情報を見ると、ついつられてエントリーをしてしまいたくありませんか？

でもそれは、あくまでも彼らのトレードです。

彼らが「自分で環境認識をして、決めたポジション取り」です。

あなたが自分で納得して、「こういう理由だからこのレートに来たらエントリーしよう」と決めたわけではないですよね？

他人のトレードに便乗していても、いつまでたってもあなたのトレードのスキルは上がりません。

もし彼らの言う通りにエントリーをして、損切になったらどうでしょうか？

彼らに怒りのメッセージを送りますか？

それはおかしいですよ。

他人のポジションに便乗して、エントリーしてしまうことはあなたにとって、何もプラスになりません。

他の例を見てみましょう。

あなたは「ドル円、買いたな」と思ってエントリーしていたとします。

そんな時、FX 界隈で有名な人が「ドル円は絶対売りでしょ」と自分とは逆の方向を示した場合、どう思いますか？

そうです、自分とは真逆の読みです。

この場合も、「え？ 買いたと思ってたけど、下がるのかな？」と、自分の読みにだんだん自信がなくなり、まだ利確位置に到達していないのに決済してしまう。

他人の意見によって、自分の読みに自信を失ってしまう。

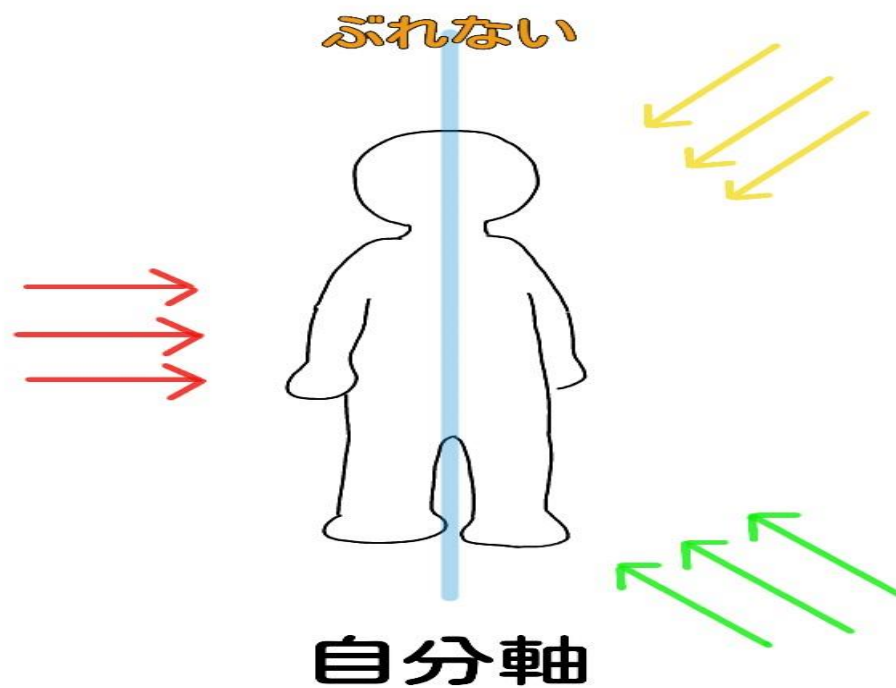
これもダメなパターンです。

どちらの例も共通することは、軸がブレブレという事です。

根拠を基に「〇〇だから買いたろう」と作ったシナリオはどこへ行ったのでしょうか？ 他人の意見が気になるなら、情報をシャットアウトすることです。

「自分のトレード」をして極めましょう。

こういった理由から、他人の考察は見ない方が良いです。



“自分軸”を、大切に。。。

しかし、どうしても上手なトレーダーを参考にしたいと思うのであれば、
「目的をしっかりと意識する」ことです。

ただ単に、「エントリーを真似すれば勝てるから」というのではなく、**上手なトレーダーの考え方を勉強するという意識を常に持つ**のならアリです。

同じ情報でも、有益なものとなるでしょう。

・なぜそこでエントリーをしたのか？

ー水平線、トレンドライン、MA、フィボナッチなどはどうなっているか？

・なぜそこで利確をしたのか？

ー水平線、トレンドライン、MA、フィボナッチなどはどうなっているか？

・どんなことを考えていたのか？

ー大きな目線や他の通貨ペアとの相関関係などの環境認識はどう判断していたのか？

これらを常に自分でチャートを見ながら考えることが大切です。

SNSなどで、彼らが全ての考察を書いていることは稀ですので、「どうしてこうしたのだろう？」と自分で考えるということですね。

「自分で考える」、ココがポイントです。

そしてそこに優位性や再現性があり、自分で真似できそうだなと思うのであれば、そのトレーダーの投稿を継続的にチェックして教科書のようにするのは良いと思います。

私がコンサル生に指導していた時は、私のトレードチャートの全ての時間足をキャプチャーさせていました。

もちろんコンサルなので、環境認識を含めた手法についても伝えていたのでこの場合はキャプチャーからの情報は無駄なく拾うことができますが、コンサルでない限りそうはいきません。

あなたが SNS やブログで見つけたお気に入りのトレーダーから学ぼうと思う時は、先ほどに上げた 3 点を**自分で考える必要があります**。

とても面倒ですが、この工程が着実にあなたのトレードスキルをアップさせます。

ただし、ロットや金額は全く同じようにしなくても大丈夫です。

勝てていないうちは当然ですが、大きなロットでエントリーしても大きな損切になるだけです。

大事な事は、トレードスキルを上げ、トレードの質を上げる事です。

ここに注力していれば、必ず安定して勝てるようになってくるのでロットも上げることができるようになっていきます。

(7) 勝てないうちはロットを小さくしろ

先ほどの爆益や爆損と関連しますが、勝てないうちはロットを大きくしてはダメです。

小さなロットなら負けても損失額は大きいたことはありませんから、まずは小さなロットで経験値を積むことが大事です。

同じ資金でも、

「ハイレバの 1 ロット×1 回トレード」と、「堅実低レバの 0.1 ロット×10 回」

どちらも同じ 1 ロットですが、どちらが良いでしょうか？

少し考えると分かりますが、ハイレバの方は破産する確率が高いです。

そして破産してしまうのですから、「堅実低レバの 0.1 ロット×10 回」と比べると、試行回数が減ってしまいます。

勝てないうちはロットを小さくして、破産確率を下げながら経験値を高めつつ、その中で手法の確立をしてトレードスキルの上達を目指すべきです。

利益を大きく取ることよりも、負けを減らす事や 1 つ 1 つのトレードの精度を上げることにフォーカスする方が、結局勝ち組への近道になります。

これは間違いありません。

(8) メンターを見つけろ

メンターとは、師匠のことです。

スキャルピングトレードの上手い人やデイトレードの上手い人、スイングトレードの上手い人、色々いらっしゃいます。

手法も MA (Moving Average)でのトレードが上手い人や、水平線でのトレードが上手い人など様々です。

まずは自分の目標とするトレーダーを見つけ、近づけるように研究をしたり真似をしましょう。

メンターの見つけ方のコツは、
以下の5つです。

1. 実際にトレードで勝っている
2. 半年以内に追いつけそう
3. トレードスタイルが似ている
4. 教えるのが上手
5. 信頼できる



雲の上の存在みたいな人ですと途中で諦めてしまいますので、少し手を伸ばせば届きそうな位置にいる人を目標とすると良いでしょう。

目標とする人を見つけて、その人に追いつこうと何度も壁にぶつかります。

追いつけなくてもあきらめずに突き進んでください。

その壁を乗り越えるたびに、あなたはトレーダーとしてとんでもなく成長できるでしょう。

また、デイトレードで勝てるようになりたいのなら、勝っているスキャルパーに学ぶのではなく、当然、勝っているデイトレーダーに学ぶ必要があります。

SNS などでは、爆益報告などを投稿しているトレーダーなど、勝っているように見えても実は負けているトレーダーは大勢いますので、騙されないようにしましょう。

さらに欲張れば、教えるのが上手な人が良いです。

トレードがどんなに上手くても、それを表現する力のない人ですと、勘違いして覚えてしまったりして、習得するのに時間がかかります。

教えるのが得意な人や教えるのが好きな人だと完璧ですね。

そして忘れてはならない条件は、「この人なら間違いないな」と人間性が信じられる人です。

人間性、ここが1番大事ですね。

(9) トレーダー仲間は大切にしろ

勝てないうちはトレーダー仲間が支えになります。
そしてお互いがお互いを監視し合うと良いです。

毎日のように、今日エントリーした場所を話し合えるようになると、そんな会話の中から
漠然と買いだと思ってエントリーしたポジションが、実は大した根拠が無かった、なんてことに
気付けるかもしれません。

そうなると今度エントリーする時は、
「待てよ、またあいつに報告しなきゃいけないな、根拠はちゃんとあるかな？」とエントリー前に立ち止まること
ができるようになります。

このようにして、根拠の薄いエントリーを排除して負けトレードを回避出来ます。

他人に何かを伝えるというのは、結構大変な事です。
私はよく「アウトプットをしてね」と言いますが、実はアウトプットすることで自分の中にある断片化された知識
が明確化します。

そして、あいまいだったり、どこか不完全だった部分がハッキリと分かるようになるので、そこを埋めるように知識
を体系立てて整理できます。

勉強でもそうですね。

誰かに教えると、案外「あれ？ここってどうだったけ？」となって、分からなかった部分を強化するために、その部分を重点的に勉強したりして、教える前に比べて理解が深まっていたりしますよね。

その他、実際に私が経験したことですが、調子に乗って大きなロットでエントリーしてしまった時や、損切注文を外してしまった時など、仲間が助けてくれることもあるでしょう。

1人ぼっちの「ぼっちトレーダー」ですと、寄り道をしてもらってもそれに気づけずに、混沌とした迷いの中（私は、「樹海」と呼んでいます）に入ってしまう、なかなか抜け出せないことも多いですが、仲間と一緒にならすぐに抜け出す事ができます。

メンターには「これを聞いたら笑われるかな？」とか、「迷惑じゃないかな？」と躊躇してしまうことってありますよね。

質問のメールがたくさん来ているでしょうし、相場の研究をしているかもしれないですし、こんな自分のために時間を割いてもらうのも悪いなと、そう考えると質問しにくいですね。

しかしその点、トレーダー仲間なら気軽に聞くこともでき、一緒に切磋琢磨して力を合わせながら勝ち組へなることができます。

トレーダー仲間はメンターと同じくらい大切な存在です。



情報収集にも仲間がいた方が良いです。

良い情報も悪い情報も共有し合えるので、1人でのいるよりも倍のスピードで集まります。

「こういう手法でやってるけど、調子が良いよ」

と教えてもらえたら、それを検証してみたり

「こういう時は買いエントリーしないようにしてるよ」

と教えて貰ったら、自分の手法の場合に当てはめると、買いエントリーをしないようにすると成績が上がるのか検証してみたり

Copyright (C) 2022 あやFX All rights Reserved

「こういうツールを買ったよ」
と教えてもらったら、試してみたり。

せっかくですから、私が
トレーダー仲間に教えてもらって良かったなと思ったツールを紹介しますね。

私がトレーダー仲間に教えてもらって良かったなと思ったツール

- ・MTF_MA
- ・Home と F12
- ・Accela2e

- ・MTF_MA

1つの時間足チャートに他の時間足の MA を表示させられ、環境認識に大活躍。
今でも使っています。

この【トレ教】でも解説していきますね。

・Home と F12

MT4 で使います。

任意の場所まで過去にさかのぼり、キーボードの「F12」をトントンと押していくと、1本ずつローソク足を進めることができます。

「Shift」を押しながら「F12」を押すと、1本ずつローソク足が戻ります。

※初めに、下のアイコンをオフにしておく必要があります。



**このボタンをOFFにする
(クリックすると、オンとオフの切り替えができます)**

パソコンによっては、キーボードの「Home」ボタンを押すとチャートの1番古い過去までさかのぼることができます。



※キーボードによって位置は変わります

Forex Tester が買えない貧乏時代に、これでよく過去検証していました。

チャートを見る時間にトレードスキルが比例するわけではないですが、1日10時間以上毎日これやっていたら、下のようなチャートの動き、規則などが読めるようになりました。

「そろそろトレンド転換するな」

「ここからは買いは止めた方がいいな」

「この辺りまでは上昇するな」

「このあたりで反発して下落するな」

私の場合、腱鞘炎と引き換えでしたが（笑）

ホント、相場は

「トレンドとトレンド転換とレンジの繰り返し。ただそれだけ」
ということがよく分かります。

・Accela2e

[とある MetaTrader の備忘秘録](#) さん開発のもの。

MT4 のショートカットキー。

Accela2e をパソコンにダウンロードした後に、MT4 のチャートを表示させて
例えば「H」と押せば、マウスのポインタの位置に水平線が引けたり、「T」を押すと、
トレンドラインが引けたり、「Ctrl」と「5」を同時に押すと、タブにある全てのチャートの
時間足が一括で1時間足に変更されたりします

。今までは MT4 の上にあるメニューバーや描画アイコンを毎回押していたので、
これは大変便利。

Forex Tester でもショートカットキーがあるので MT4 でも出来ると良いのにと思っていたので
感激した記憶があります。

先程の F12 での検証との相性も良いです。

あなたも良かったら参考にしてみてくださいね。

(10) 鉄板手法をまず1つ身につける

まずは勝てる手法を1つ、手に入れることを目指しましょう。

たくさんは要らないです。

「1つだけ」が良いです。

あなたは今、あれもこれもと色々な手法をやってはいませんか？

それでは一生、勝てる手法を手に入れることが出来ません。

勝ち組になりたいのなら、1つの手法を徹底的に極めるのです。

まるでダイヤモンドの原石を磨き上げるように。。。



ガラクタの石ころを 1,000 個持っていてはどうにもなりませんよね？

ピカピカのダイヤが 1 つだけあればいいのです。

FX も同じです。

レンジやトレンド転換相場では勝てないけど、トレンド相場なら勝てるなど、「これさえあれば勝てる」という手法を手に入れましょう。

そしたらあとは、トレンド相場の時「だけ」トレードすれば良いのです。

“勝てる相場のみトレードをし、
勝てない相場や良く分からない相場ではトレードをしない。”

たったこれだけであなたは勝ち組になれます。

自慢するための連勝も爆益も必要ないですし、トレード回数も少なくて良いです。
そのためには、鉄板手法をまず 1 つ身につけましょう。

(1 1) 生ぬるい考えは捨てる

FX はパソコンやスマートフォンがあれば、誰でも参入できてしまいます。
特に資格も要りませんね。

いきなりプロと同じ土俵で戦わないといけない世界です。

そんな壮絶な世界。

それなのに、戦い慣れていない初心者が、戦う相手がどんな敵かも分からない中で、そしてどんな相場状況なのかも分析できていない状態で、付け焼き刃みたいなちよっとかじった知識という武器をもって対等に戦えるわけがありません。

中には一攫千金を夢見て FX の世界にやってくる方もいますが、、、。

「1回のトレードでロットを大きく張れば1000万円稼げるでしょ」
「億トレーダーになる！」というのも甘い考えです。

確かに勝ちか負けかのどちらかしかないのに、そういう意味では半分の確率で勝てます。
運よく勝ちを積み重ねることが出来れば、1000万円も夢じゃないのかも？しれませんが、、、

それよりも全財産を失ってしまう人やサラ金にまで手を出してしまう人の方が多いです。
私は何人もそういう人たちを見てきました。

FX はお金に直結します。
生半可な気持ちでやると人生転落しかねません。

ですから、あなたはそういった生ぬるい考えは捨てて、まずは1つ1つを実直に学び、学んだことは検証をして確実に身につける気持ちで進んでください。

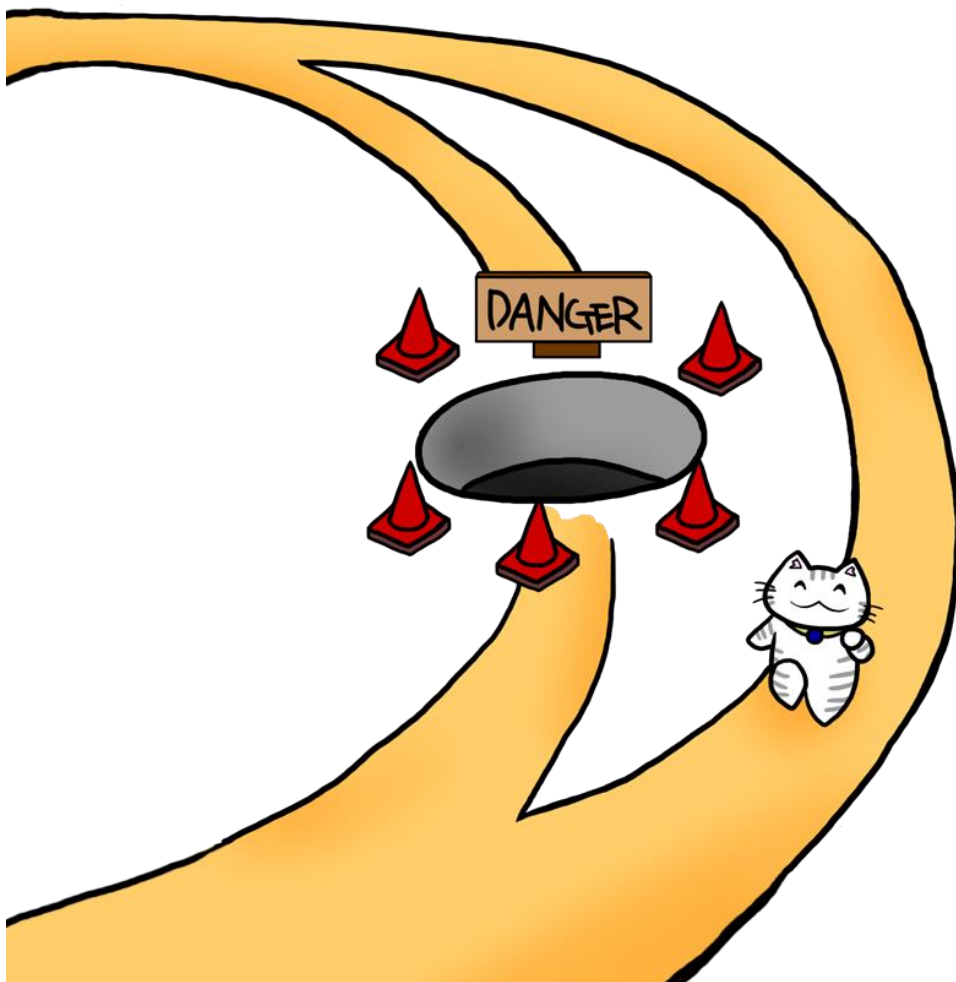
「1か月で勝ち組になるぞ」と考えるのではなく、半年や1年をかけてじっくり腰を据えて本気で挑んでください。

時間はかかりますが、一生物のスキルになります。

定年はありませんし、脳が健康であれば何歳になってもトレードで生計を立てることができるのです。

早く勝てるようになりたい気持ちは分かりますが、焦らないでください。
私からのお願いです。

急がば回れです。



■あなたへ向けて書いたお手紙

この【トレ教】を手にとってくださったあなたの為に、さらにアドバイスを続けますね。

- (12) 利確よりエントリーを極める
- (13) 手法より資金管理を極める
- (14) 水平線を極める
- (15) MA、ボリンジャーバンド、フィボナッチを補助として極める
- (16) 「1日〇pips」や、「月間〇〇〇万円」などの意味不明な目標は止める
- (17) タリタリを使って損切のダメージを減らせ
- (18) 通貨ペアは5通貨ペア以下にしろ
- (19) 勝ち組になったかどうかは3か月待て
- (20) 週末は、トレード記録を見直せ
- (21) 検証のモチベーションを下げるな！
- (22) 1日のトレード回数は10回以下にしろ
- (23) エントリーの根拠が崩れたら目をつぶってでも損切りしろ
- (24) 指差し確認をしてね
- (25) チャートを見る時間を増やせ

(12) 利確よりエントリーを極めろ

どんな物事でも、習得するにはある程度の時間がかかります。

FX をやり始めてすぐに、安定して勝てるようになる人はそう多くありません。

通常は月の収支がプラスになるには、1年以上かかるとっておくと良いでしょう。

焦りは禁物です。

そのため、習得する順番はとても大切です。

要領よく、無駄のないように、習得することが肝心です。

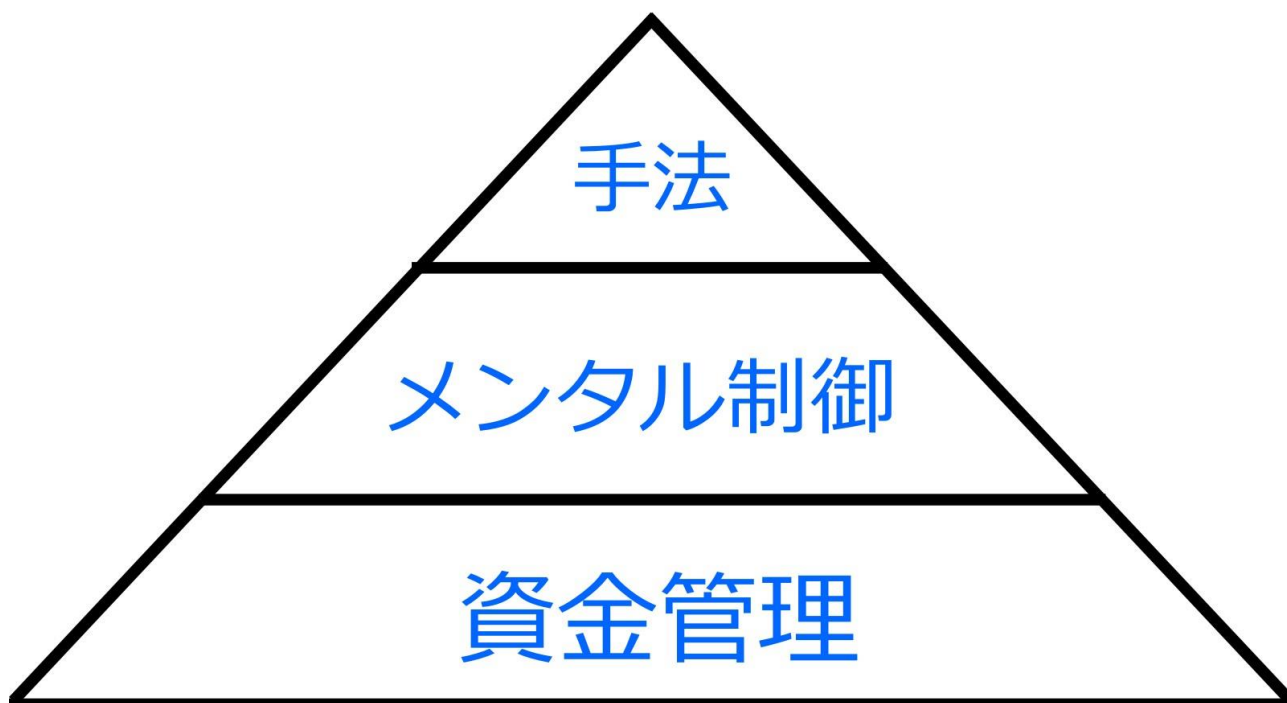
もしかしたらあなたは、

「どうやったら利益を伸ばせるのだろう？」と利確についてばかり考えてはいませんか？

それよりもまずあなたがすべきことは、「エントリー後すぐに逆行しないポイント」でエントリーをすることです。

逆行ばかりしている段階では、どうやったら利益をもっと伸ばせるかや、分割利確の方がいいのかなどを考えるのはもっと後で十分です。

1つ1つステップをクリアしていくイメージを持ちましょう。(13) 手法より資金管理を極めろ



どんなに素晴らしい手法を持っていたとしても、一攫千金を狙うような無謀なトレードだったり、損切になりそうだからと、損切注文を外してしまったりするような、「ズボラ」な資金管理では、何度やっても退場してしまいます。

潤沢なお金があるわけではない私たちは、限られた貴重なお金をいかに効率よく増やしていくか、という事が重要です。

その為には、まず私たちが1番最初にやらないといけないことは手法よりもメンタル制御よりも、なによりも資金管理について学ぶことです。

これが全ての土台となります。

(14) 水平線を極めろ

水平線はトレンド相場でも、レンジ相場でも、トレンド転換相場でも、どんな相場でも使えます。

例えばあなたが、順張りの手法をやっていたとします。

その場合は、「押し目ポイント」や「戻り売りポイント」を水平線で探すことができます。

あるいは、あなたがトレンド転換手法を極めたいなら、水平線を使えば「どのあたりからトレンドが変わるのか？」が分かるようになります。

もちろん、レンジ手法でも使えます。

レンジの場合は「レンジの上限からの売り」「レンジの下限からの買い」が王道ですが、この絶好のエントリーポイントも水平線で見つけることができます。

このように水平線は万能です。

水平線にこだわらなくても、MA やボリンジャーバンドやダウ理論、なんでもいいのですが、まず 1 つ使える武器を手に入れると、トレードで勝つのが楽になるということ、水平線は習得の難易度が低く、初心者の方でも習得しやすいのでまずは水平線を極めるのが近道だということです。

「なんとなく使っているよ」という場合は、とことん極めてみましょう。

相場が読みやすくなります。

(15) MA、ボリンジャーバンド、フィボナッチを補助として極める

先程、まずは水平線を極めることが勝ち組になるための必修事項とお伝えしました。

では、水平線を極めた後はどうすれば良いでしょうか？

もちろん水平線だけでも勝率高いトレードは可能ですが、精度を高める為に、もう1つくらい補助として使うのがおススメです。

ダウ理論は最低限ですが

その他の補助として使えるツールとして何が良いかと言うと

- 1.MA
- 2.ボリンジャーバンド
- 3.フィボナッチ

この辺りが良いです。

多くの人が使っているテクニカルを使う方が当然機能しやすくなりますが、この3つであれば問題ありません。

MA やボリンジャーバンド、フィボナッチ以外にも、まだまだ、世の中にはたくさんありますね。

しかしサイクル理論、グランビルの法則、MACD、RSI、RCI、一目均衡表、酒田五法、エリオット波動は後回しで良いでしょう。

エリオット波動は、理解できればトレンドの終わりや始まりのタイミングが分かるようになるので、リスクワードの良い場所からのエントリーや利益を伸ばしたりできるようになりますが、難易度が高く、習得するまでに時間がかかります。

グランビルの法則は MA を理解していないと正確に使えませんし、エリオット波動と合わせて使う事により精度を高めるものであり、これだけでトレードをするのは難易度が高いです。

その他のものも使いこなせばどれも武器になりますが、別のもので補完できるものであったり、難易度が高く、習得するまでに時間がかかるという理由から外しています。

どれにおいても、それを使って勝っているトレーダーが存在し、優劣つけがたいですが、まずは難易度が低く、それ1つだけでもある程度のレベルまで行けること、尚且つ水平線と相性の良いテクニカルの3つを補助として使うのがおすすめです。

(16) 「1日〇pips」や、「月間〇〇〇万円」などの意味不明な目標は止める

今日いくら稼げるかは相場によります。

毎月のアメリカの雇用統計の日の午前中などは殆ど値動きが無くボラが無いことも多いですし、リーマンショックの頃は1日でドル円が500pipsや700pipsなど動いてボラが大きかったですよね。

この「ボラ」がトレード利益を得るのにキモとなります。

ボラとは…価格の変動率や変動幅のことです。

「ボラが大きい」ということは「値動きが激しい」ということです。

分かりやすいように例え話をしましょう。

ポンド円で大きなトレンドが出ている時、もし仮にあなたが順張りの手法をしている場合なら、100pipsでも200pipsでも獲れるかもしれません。

しかし逆にトレンドが無く、上下20pipsの値動きしかない相場では、当然ですが獲れても15pipsや20pipsですよね。

どのくらいpipsを獲れるかは相場次第なのがお分かりいただけると思います。

そして利益は、獲得 pips にロットを掛けたものですので、当然、獲得利益も相場次第になります。

$$\text{利益} = \text{獲得 pips} \times \text{ロット}$$

このように 1 日で獲れる pips や金額は相場によって支配されるということです。

つまり 1 日単位の目標を決める事ほど無意味な目標はありません。

(17) TariTali を使って損切のダメージを減らせ

海外 FX をやっている人が絶対にやった方がいいのは、TariTali (タリタリ) です。
TariTali はトレードしたロットに応じて現金をキャッシュバックしてくれる会社です。

国内 FX でもキャッシュバックしてくれるところがありますが、口座開設した時などの 1 回限りのことが殆どです。

海外 FX ならこの TariTali を使えば、継続的にもらえます。
トレードする度に取引量・回数に応じてキャッシュバックをもらえます。



そもそも FX のしくみとして、トレードをする度に、証券会社から、手数料を取られますが、その手数料の一部を TariTali を使うことによって、返金してもらうという流れです。

これをやらないと、全額、証券会社が持って行っちゃいます。

知らない人はそれが当たり前だと思っていますが、実はこのお金、返してもらえます。

キャッシュバックの金額は TariTali が決めるので変わる可能性はありますが、

例えば、この【トレ教】を執筆時点では

XM のスタンダード口座の場合、普通に 10 万通貨の取引するだけで 8.5 ドル（約 850 円）もらえます。

※XM という証券会社は口座を開設する時に、スタンダード口座、ゼロ口座、マイクロ口座という 3 種類の口座タイプが選べます。

スタンダード口座の場合、XM 社からも XP ポイントという名のキャッシュバックに似たポイントも両方貰えるのでお得です。

どちらも取引すればするほどキャッシュバックを受け取ることができ、

しかも上限金額はありません。

仮に 10 万通貨で 1 日 10 回取引すると 1 日約 8,500 円キャッシュバック、10 日で約 85,000 円キャッシュバック、100 日で約 850,000 円キャッシュバックされます。

大きいですね？

TariTali に登録していない場合は当然ですが、キャッシュバックは 0 円です。

“塵も積もれば山となる”という、ことわざもありますが
月単位、年単位で大きく変わります。

トレード回数が多い人は特にですが、そうじゃない方もやっぱり
キャッシュバックは利用しないと損です。

トレードで負けても、このキャッシュバックの分でまたやり直せます。

海外 FX は、追証も無いですし、TariTali を使えば、かなり有利な状態でトレードをすることが出来てオススメです。

・TariTali の登録方法などの詳細（登録方法など詳しく解説しています）

➡<https://wp.me/paLNjp-aNQ>

※TariTali の URL やキャッシュバック内容が変更したり、サイトが閉鎖される可能性もあります。
必ず、[TariTali 公式サイト](#) で確認をしてください。

(18) 通貨ペアは5通貨ペア以下にしろ

初心者のうちはたくさんの通貨ペアを見ても浅い環境認識しかできません。

中級レベルになるまでは、5通貨ペア以下にした方が良いでしょう。

扱いやすいのは

- ・ドル円
- ・ユーロドル
- ・ユーロ円
- ・オジ円
- ・オジドル

です。

もう少し多い方が良いのなら、

- ・ポンド円
- ・ポンドドル

を加えても良いと思います。

ただしポンドはボラが大きいので、ロットを小さめにするように心掛けてください。

逆に避けた方が良い通貨ペアは、マイナー通貨ペアやゴールドです。

これらはテクニカルが効きにくかったり、ボラが非常に大きいためしっかりと資金管理ができないうちは破産・退場しやすいので上級者向けです。

特に FX を始めたばかりの方なら、最初の 3 か月ほどはユーロドルとドル円だけでも良いでしょう。

理由は、色々な通貨ペアに目移りしてしまうからです。

「ドル円もいいな」

「あれ？ユーロ円もいいぞ」

「ポンドはもうすぐでエントリーできそうだな」

「んー？どれが一体いいのか分からなくなってきた！！」

というパンク状態ですね（笑）



初めのうちは、あれこれ手を出さずにこの 2 通貨ペアだけみておけば OK です。

ユーロドルとドル円の 2 通貨のみでトレードするメリット

- ・流通量が多いのでヒゲも少なくだましにあいにくく、負けにくい
- ・テクニカルも素直なので、値動きを読みやすく、初心者にもピッタリ
- ・同じ通貨ペアを毎日見る癖をつければ、その通貨ペアの“癖”が分かるようになり、勝ちやすい場面、負けやすい場面がわかるようになる

ただしある程度慣れてきたら、エントリーチャンスを増やすために、先ほど挙げた通貨ペアを追加して行きましょう。

常に進化していく意識が大事です。

(19) 勝ち組になったかどうかは3か月待て

連勝が続いたり、思ったようなトレードが繰り返しできるようになると

「いよいよ勝ち組になったんだ」

「なんだ、トレードなんて簡単じゃないか！」

と思う瞬間が来ます。

飛び上がる程、嬉しいですね！

しかし数日もすれば、今度はエントリーする度に思惑とは逆の方向に進み、連敗が続いてしまったりして、あれは勘違いだったと思い知らされることになります。

ハッキリ言って、この繰り返しです。

正直言うと、私もそうでした。

私は何度かブログに

「きらん☆な世界が見えて来たかも！！」

と投稿しましたが、そのすぐ後の記事で「やっぱり勘違いでした」と書いています(;・∀・)

(きらん☆な世界 = 私の中では、勝ち組の意味です)

参考に、私の過去のブログ記事を3つほど載せます。

昔から私のブログを読んでくださっている方は、読んだことがあるかもしれませんね。

今週も先週もプラスだし
もうすぐなんだ

きらん☆な世界が
見えて来た、、

みんなと一緒に
きらん☆な世界に行きたい！！

1人では行きたくない

みんなと一緒に行こうね！

きらん☆な世界に。。

引用：FXブログ 女性トレーダーあや 初心者も自由 LIFE をつかむ方法

タイトル：きらん☆な世界へ・・・

私はここ最近ずっと一つの事だけをひたすら検証し続けてきました
それでなんとなくですが…

もう少しであちらの☆きらんな世界が見えそうなんですぅ〜〜！！
そうそう、勝ち組ですね、はい、常勝トレーダーへの…



引用：FX ブログ 女性トレーダーあや 初心者も自由 LIFE をつかむ方法
タイトル：FX の勉強して練習しまくってやる！必勝法を見つけるんだ♪

その後の記事

先月のブログで9月にはあちらのきらん☆の世界へ～って書きましたが
師匠が大正解w

まだまだそこには行けていません

あのブログを書いていた時も自信が沸いていましたが、
今はさらにパワーアップ！！

けど楽なことばかりじゃないです
毎日何をやっているのかと言えば、「1に検証、2に検証、3、4が無くて、5に
検証」w
懐かし～年齢バレちゃいますねw

どのくらいやってるの？気になりますよね～

引用：FXブログ 女性トレーダーあや 初心者も自由 LIFE をつかむ方法
タイトル：FX9月 近況報告～まだまだ常勝には辿りつけませんよ～

今でこそ笑えますが、当時は必死でした。

「きらん☆な世界が見えて来た！」ってホント、喜びまくってワクワクしてました。
そしてすぐにどん底に落とされる、、、笑

けど、この頃が1番青春していたかもって思います。

とにかく毎日が成長で、毎日が新鮮で、早くきらん☆な世界へ行きたくて、
きらん☆な世界へいったら、あんなことしよう、こんなことしよう、、、って、
とても輝いていました。

そう簡単には勝ち組にはなれませんでした、こういう日々があつてこそ今の今があるんだと
思います。

あなたも「勝ち組になったかも？」と思う瞬間が何度かあると思いますが、かなりの確率で
それは裏切られます。

(先に言っておきます 笑)

そのため、勝ち組になったかどうかの判断は、月ごとにトレード収支を計算して、連続で
3か月のトレード収支がプラスだったかどうかで判断すると良いでしょう。

そしてその頃には、1回ごとのトレード結果に一喜一憂しない勝ち組トレーダーとなっている
はずです。

(20) 週末は、トレード記録を見直せ

毎日トレードをしていると、どんなトレードをしたのか、意外に忘れてしまうことがあります。

特にポジポジ病の人は、1日に何十回もトレードをするので、1つ1つのトレードのエントリー根拠が雑になっている可能性があります。

そのため、きちんとエントリールール、決済ルールが守れているか、メンタルは安定しているかを確認するためにトレード記録をつけて、週末などの時間がたっぷりある時に見直しましょう。

トレード記録をつけるトレーダーは少なく、負けているトレーダーの殆どがトレード記録を付けていません。ですので、負け組トレーダーから脱出したいのであれば、トレード記録をつけることです。

トレード記録につける内容ですが、
下記について必ず記載するようにしましょう。

- ・通貨ペア
- ・エントリー日時
- ・決済日時
- ・エントリー前や、ポジション保有中のメンタル
- ・気付いたこと
- ・思いつく改善策や反省点
- ・エントリー時のチャート画像
- ・決済時のチャート画像
- ・決済後ローソク足が100本～200本程進んだチャート画像

以上9点をおさえておけば、十分です。

トレード記録をつけることで、自分はどのような時に負けやすいのか、どのような感情になると負けやすいのかなど、相場環境に限らずメンタル面からもあぶり出しができます。

さらにはトレードの勝ちパターン、負けパターンなどが分析しやすくなります。

これらによって、自分のトレードの癖が分かり、無駄なトレードを減らしたりすることで、トレードの成績を上げていくことができます。

そしてトレードルールに無いトレードをしていないかもチェックしましょう。

もし負けトレードの中にそれがあった場合は、本来その負けトレードはしなくても済んだものです。

こういった無駄トレードはどんどん排除しましょう。

一方、トレードルール通りにやって負けたトレードは、仕方がない負けとして記録に残します。

トレードルール通りにやった勝ちトレードと負けトレードは、このままトレードを何十回、何百回と続けて行けば勝てるのかも再確認する必要があります。

他に注目する場所は、大きく負けている箇所です。

このトレードを減らせば、トレード成績を劇的に改善できるためです。

「どうしたらこのトレードはエントリーせずに済んだのだろうか？」

と考え、水平線を引いてみたり、MA やボリンジャーバンドのどういう場面だったのかをみたり、前後のローソク足の動き、波形には問題なかったかなどから割り出し、エントリールールに例外を作りましょう。

1 つでもそういった例外ルールを作ることかなり成績が変わります。

これも普段の検証で、私が行っている事の 1 つです。

まだ他にもコツはありますが、ここまでの内容を丁寧にこなすだけでも確実にあなたのトレード成績は上がりますので、今からでも取り組んでください。

これらのやり方でトレード記録をつけるだけでも、他の負けトレーダーと大きな差をつけることができますが、記録をつけただけで満足してはいけません。

忘れてはいけないのは必ず「トレード記録を”見直す”」ということです。

頑張って記録をつけたのなら、それを定期的に見直すことです。
特に見て欲しいのは、「キャプチャー」です。

- ・エントリー前の波形、負けた時はどうなっていることが多いのか、勝っている時は？
- ・エントリー後の波形も、負けた時はどうなっていることが多いのか、勝っている時は？

この部分に、勝つためのヒントが隠されています。

まるで宝箱のように、、



人間って、面倒なことや、やりたくないことをやる時って、ものすごくパワーを使います。
あなたもそう思いませんか？

「やりたくないな」

「面倒だな」

「別にやらなくても、いっか。」

たとえば、最近太ってきたので、あなたはダイエットをしようと決意したとします。

気になるのは、お腹まわりの無駄なぜい肉。

親指と人と指し指で余裕でつかめてしまう。

そのせいで、毎回立ち上がる度に「よいしょと！」と言ってしまい、子どもに「お父さん、年寄りくさい〜。」と笑われる。

昔は中肉中背で、もっと身軽だったし、顔もイケメンとは言えなくても、
もっと格好良かった気がする。

今までもダイエットしたことがあるけど、成功した試しもなく、今は病気でもなく特に
困ってはいない。

平日は仕事でクタクタだし、ダイエットなんて休みの日も面倒くさくてなかなかやる気が起きないし、最初の1
日、2日はなんとか続きますが、やっぱり怠けたくなくなります。

「でもそろそろダイエットしないといけないな。けど続くだろうか？」と思っていたとします。

そんな時は、ダイエットをすると得られるメリットを書き出すと良いです。

- ・健康に良い
(健康診断でもメタボと認定されていたし、糖尿病予備軍って言われたっけ。。)
- ・痩せるとモテるかもしれない
(顎周りをもっとシュッてすれば、きっと格好良くなるはず！)
- ・履く度にお腹が苦しかった G パンが、楽に履けるようになる
(毎のご飯食べる時、フックを外してるし汗)
- ・体を鍛えることができる
(あやさんは、ムキムキの男性が好きって言ってたしな 笑)

こんな感じですね。

メリットを書き出せば、「これをやれば、これを手に入れられるんだ！」と嫌なダイエットの印象が変わりますね。そして、メリットがあると分かれば「頑張ってみよう！」とやる気が湧いて、怠け心が吹き飛ばはずです。

頑張りたい気持ちが湧いてくるでしょう。

モチベーションが高まり、重い腰も上がるはずですよ。

これはトレード記録も同じです。

今までトレード記録をつけていなかったのに、いきなり「トレード記録をつけてね」、しかも「定期的に見直してね」、なんて言われても誰かに怒られるわけでもないですし、ほっておいてもまた月曜日に来て、またいつもと変わらずトレードができますので、まあハッキリ言って、やらないでしょう（笑）

しかし、「これをやるとこういう効果があるよ」と言われると行動できるようになるものです。

人それぞれ効果の具合、出方、速度は違いますが、トレード記録をつけたら成績が20%上がる、トレード記録を見直せば25%上がる、こんなイメージで頭に叩き込んで、まずは3か月続けてみて下さい。

- ・FX でお金を増やすことが出来たら、欲しい〇〇が買える・奥さんや子どもにプレゼントしたり、美味しいお店へ外食したりできる
- ・老後の生活資金の心配が無くなる

・・・色々考えるとモチベーション、上がりますよね。

あなたは必ず勝ち組になれます。

この【トレ教】を読んでいるのなら、尚更です。

もっともっと上に行きましょう。

中途半端な努力なら要らない。死ぬ気でやれよ、死なないから。

トレード日誌、つけてみようという気になりましたか？

仕事でも「PDCA」というのがありますね。

あれと同じ要領です。

Plan（計画）

トレードする前にトレードルールに基づいたトレードプランを作ります。

Do（実行）

トレードする。

Check（評価）

トレード記録をつけてトレードのチェックをし分析します。

Action（改善）

負けパターン、負けやすいメンタル状況を排除する。

ひたすら、この繰り返しです。

そうすれば、あなたのトレードはどんどん洗練されていくでしょう。

3か月やり続ければ、かなり成績が改善されるはずですよ。

もう1つ、ついでにお伝えしておきますね。

検証についてです。

(21) 検証のモチベーションを下げるな！

勝てる手法を身につけるには、検証が必要とお伝えしましたが、検証で陥りがちな落とし穴があるので、その事に触れておきますね。

そして対処法も1つお伝えします。

まず、検証の落とし穴というのは、

- ・「飽きる」
- ・「続かない」

というモチベーションを維持することの難しさがあります。



これは検証をしたことのある人なら、誰もが味わうものです。

検証というのは1日や2日で終わるものではなく、ちゃんと勝てる手法を作り上げるには、最低でも3か月は必要です。

その間は、ひたすらチャートと向き合いながらキャプチャーを撮ったり分析したりの検証、検証、、、

最初は「やるぞ！」と思っても、1週間、2週間、1カ月もすると飽きてしまいます。

ではどうしたら良いかというと、色々方法がありますが、最近私が「頑張って検証している人に、コレいいな」と思ったものがあるので紹介しますね。

私が実際に使っているものです。

<検証のモチベーション低下予防にオススメな2つ>

1. みんなチャレ
2. Studyplus (スタディプラス)

どちらもスマートフォン（iPhone、androidとも可）で使えるアプリです。
もちろん無料です。

これらのアプリを使うと、検証のモチベーションが下がる対策になると思うので順に解説していきますね。

※詳しい使い方は、ウェブサイトなどをご覧ください。

1. みんなチャレ

最初の「みんなチャレ」については、同じ課題や悩みを持つ5人が1つのグループになり、達成状況を報告し合い、励まし合いながら目標達成を目指すというものです。

最初はみんな、知らない人同士の集まりです。

【トレ教】執筆時現在の、アプリストアの平均レビューは1.8万人の評価で「4.7」と高い評価を得ているアプリです。



**みんなチャレ | みんな
で継続と習慣化…**
目標達成のモチベーションU...

開く 

1.9万件の評価 **4.7** ★★★★★

年齢 **4+** 歳

チャート **#55**
ヘルスケア/フィットネス

これをFXの検証に使う場合の例を書いてみますね。

例えば朝起きたら、「今日は検証を10場面やります」とグループ内で投稿します。

私の場合は

- ・【トレ教】作成
- ・FXの検証
- ・読書
- ・スクワット

について、毎朝

「今日やるぞ！」と思ったことを宣言しています。

その他の今日中にやりたいことも載せています。

要するに TO DO リストですね。

編集

リスト



6:20までに起床

資料推敲 p.48-p.64

4000歩歩く

スクワット3セット

本を20ページ読む

検証する

+

実際の私が行った朝の投稿

「全然歩いてないじゃん」って
笑わないでね。

この【トレ教】執筆で運動不足なんです（笑）

そして夜に達成できたかどうかをグループのメンバーに先程のリストにチェックを入れた画像で報告します。



実際の私が行った夜の投稿

この日は給料日で「そういえば、銀行に忘れずに行かなきゃ！」と思ったので、「銀行」を追加しています。

しかもチェックが入っていないので、行けていません（笑）

でもちゃんと、検証はクリアしています(*^-^*)

グループによってルールは色々ありますが、基本的には

『朝→今日達成したい事を画像で投稿』

『夜→達成具合を報告』

やることはこれだけです。

この「目標宣言（朝）」と「達成報告（夜）」の違いを区別するために、夜のどのくらい達成できたかという画像のは「チャレンジ写真」という投稿になり、画像の上下が切れたものになります。

1つ前のページの「実際の私が行った夜の投稿」も上下が切れています。

そしてチャレンジ写真を投稿すると、猫の足跡マークがつき、メンバー皆が「よく頑張ったね！」とこのマークを押してくれると、「みんな内」で使えるコインが貰えて、コインを集めると好きなスタンプがもらえたりします。

オールクリア出来ました



20:14



20:14

- 6:20までに起床
- 資料推敲—p.48-p.64
- 4000歩歩く
- スタワット3セット
- 本を20ページ読む
- 検証する
- 銀行



送信

Aa



実際のグループ内の投稿



アカウント

© コイン 1202枚

私の現在のコイン数

このスタンプは、LINE のスタンプと同じように、会話の時に「おはよう」や「頑張ったね」「お疲れさま」などのスタンプを押して使っています。

「凄い頑張ったね！」などの仲間からの励ましや、「今日は達成できませんでした」と報告したくない為に、「眠いけど頑張ってノルマは達成しよう」と思えるのがこの「みんチャレ」の良い所です。

というように割とシンプルなものですが、私はこれを使ってから毎朝 6 : 20 に起きれるようになりましたし、この【トレ教】の執筆も進んでいます。

グループは無数にありますが、今探してみたら FX 関連のグループもありました。

グループ名：「FX 検証」

チームが自分に合わなかったら、
退出して大丈夫ですよ。まずは一步踏み出そう。

< トレーニング

【トレーニング】 引き継ぎオーナーです。

=====


fxで稼げるようになりたい人の集まりです。

リアルトレードでも検証でも勉強でも、
何かしら毎日続けていけたら良いと思います。

#マイペース #トレーニング

トレーニングをして、その様子を送信し応援し合いましょう。

最近のやりとり

<p>おおお、すごいです ね !!</p>  <p>チュゴい!</p>	<p>dの下2点目ロング 1回損切り 2回目で決まった。 プラスで推移。 観察していく。</p> <p>ゴールド、 プラスと0を行ったり 来たりして 嫌だったが 過去検証でもいつも揉 んでいたのだから</p>
--	--

チームが自分に合わなかったら、
退出して大丈夫ですよ。まずは一步踏み出そう。

1 グループが 5 人で満員になりますので、あなたがこの【トレ教】を読んでいるタイミングでは、ここに上げたグループに入ることはできないかもしれません。

ただ、グループは常に新しいものが作られたりしていますし、私が入っているグループみたいに、FX 限定のグループじゃなくても日々の Todo をこなすグループなどでも同じように、検証についてやトレード記録などの習慣づけには使えると思います。

良かったら活用してみてくださいね。

「みんなチャレ」アプリ→<https://minchalle.com/>

2. Studyplus アプリ

もう1つのおススメは、「Studyplus (スタディプラス) 」アプリです。

FX の検証以外にも、勉強などにも使えます。



こちらに進捗具合を報告するものですが、グループというのは存在しません。

どちらかというと自分が「今日何時間検証したのか?」、「今週は何時間検証したのか?」というのが見える化できるものです。

グラフにも表示してくれるので分かりやすいです。

私は

- ・検証
- ・【トレ教】作成
- ・読書

の3つで記録をしています。

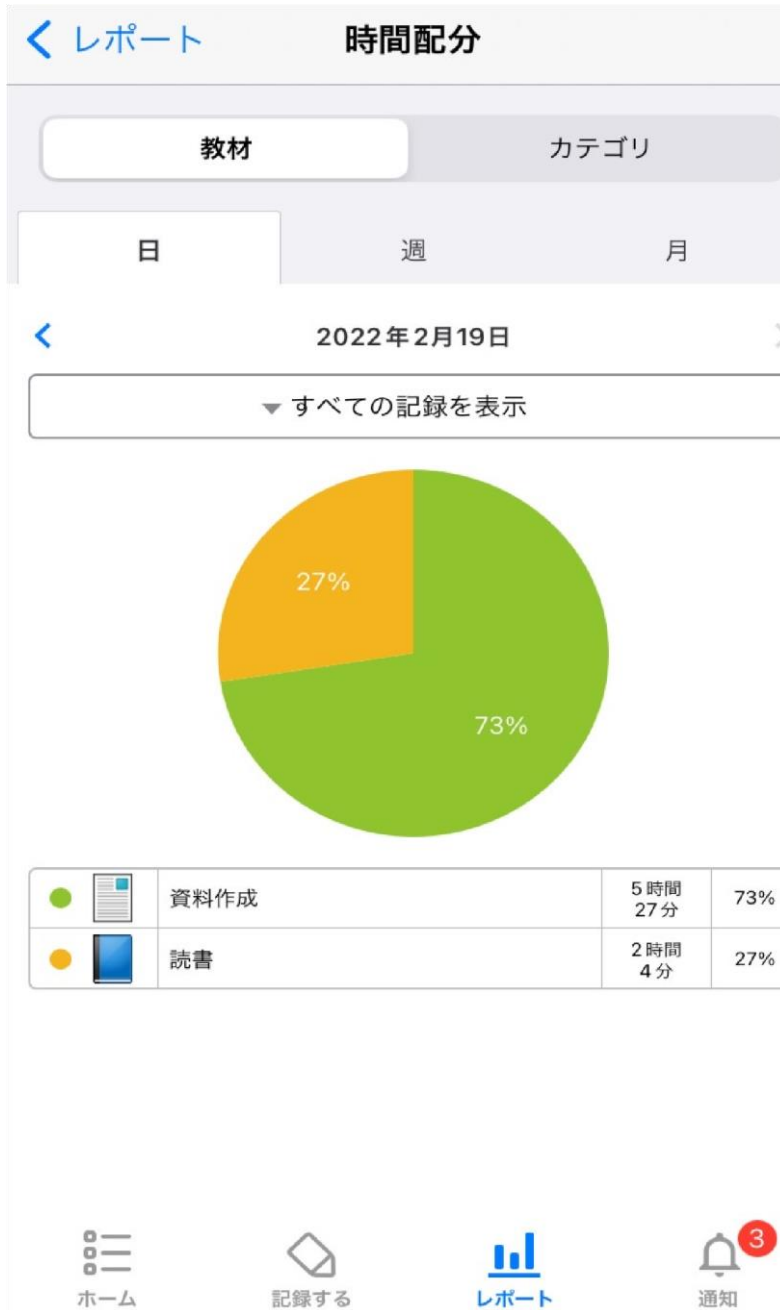
実際の私のレポートを見るとわかりやすいですね。



ある週の私のレポート

円グラフ内の「資料作成」というのが、この【トレ教】の執筆のことです。
「検証」はもちろん FX です。
「読書」は今、伊坂幸太郎 著の「ゴールデンスランバー」を読んでいます。

1 日ごとの記録も見れます。





今週の目標を達成！

目標 28時間00分
現在 28時間04分

コメント  7

毎週、目標時間を決めるのですが、その達成具合も確認できます。

相場が動いていない休日は検証を毎朝 6 : 30 から 1 時間程度行い、それ以外の時間は【トレ教】の執筆をメインにしていますが、執筆作業はパソコンでやっていますから、どうしても目が痛くなるので、休憩がてら、本を読んでいるというわけです。

ちなみに私は本を読む時、歩きながら読みます。
多分あなたは今、私のことを変な人だと思いましたね（笑）

もともと歩きながら、ものを考える癖があり、本を読む時も座って読むよりも歩きながら読むのが好きです。

そしてこれにより、私の 1 日の目標歩数である、4,000 歩を同時に達成させるという仕組みです。
（先程の「みんチャレ」の画像にも、この目標歩数は載っています）

運動不足も解消できて、冬は体があつたまるのでいつもこの読書法です。

京都府立医科大学大学院医学研究科の研究結果では、座っている時間が2時間増えると死亡率が15%増えることが分かっています。

運動は脳細胞を増やし、記憶力も良くなりますし頭の回転が良くなり、学習能力も上がります。

1日30分の運動でも良いそうなので、あなたもウォーキングなどしてみてもいいでしょうか？

歩きながら本を読むかは、ご自由にどうぞ（笑）

使い方としては、この「Studyplus」にタイマーがついているので、検証を始める時に「開始ボタン」を押し、終わったらアラームがなり、「完了」ボタンを押すと「検証をした」という投稿することができます。

延長や途中で止めた場合はその時間で投稿されます。

この「Studyplus」も「みんチャレ」と同様の機能があります。

同じ興味、目標を持った人のタグがあり、例えば、「〇〇大学受験」、「資格取得」、「読書」などいくつかのジャンルに分けられていて複数追加もできます。

このアプリの良い所は、このタグ機能により、同じ目標を持った人の記録を見ることができるということです。

先程の「みんなチャレ」は5人だけでしたが、「Studyplus」は人数の制限がありません。

気になる人の1日の作業時間や、何にどのくらいの時間を使っているのか、コメントなど様々な細かいデータを見ることができます。

私の場合、読書、勉強問わず、頑張っている人で、同じタイミングで作業している人をフォローしています。

1日10時間くらい勉強している人や、「〇〇大学、絶対に合格する！」とやる気MAXの人をフォローして、「今日はこの人を抜かずぞ！」とやっています。

自分自身が1日に4時間ほど作業をしているので、同じくらいの作業量の人を「フォロー」して、「あっこの人、朝5時に起きて1時間もやったんだな。凄いな、私もがんばろ！」って勝手に励まされたり（笑）



そういう人から「いいね！」を貰える時もあり、俄然やる気が出ます。

中には夜中 2 時、3 時までやっている受験生もいますから、そういう人の投稿をみると漫画を読んだり、テレビを観たり、YouTube を観てダラダラするのがもったいなくなくなりますよ。

私は元々、テレビを観たり漫画を読んだりはしませんが、この「Studyplus」を使ってから、集中できる時間が伸びました。

検証には 20 分刻みでタイマーを使っていますが、ぶっ続けで 1 時間以上できることもあり、効果を感じています。

検証の 1 番多い悩みである、モチベーションが下がるというのが解消されると思いますので良かったら使ってみて下さいね。

「Studyplus」アプリ→<https://www.studyplus.jp/>

「みんなチャレ」も「Studyplus」も結局は、同じ目標を持った仲間が集まるアプリです。

検証もトレード記録もやれば必ずトレードスキルが上がります。
こうした努力の差は大きいです。

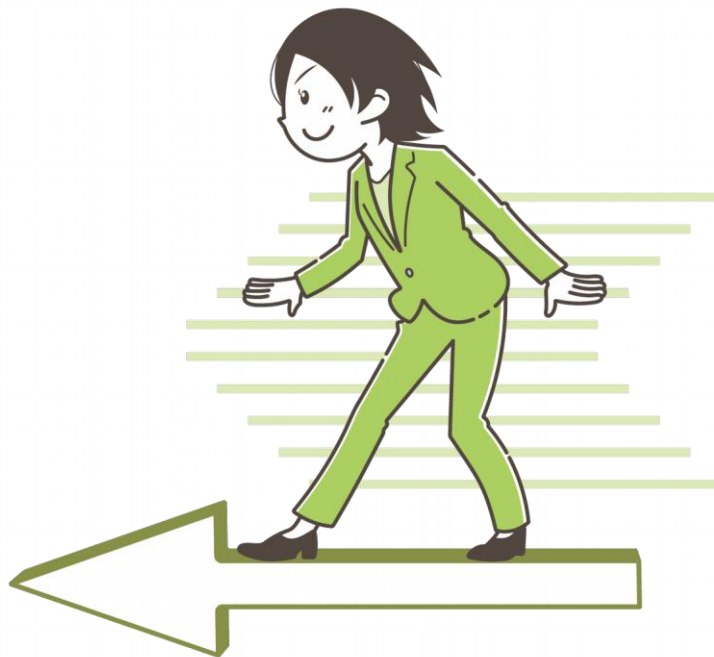
そして継続の差は、トレードでもっともっと大きな差を生みます。

「何が何でも勝てるようになる！」

「勝ち組になって今の生活を脱出するんだ！」

という「絶対に結果を出す」という強い思いを持ち、周りの目を気にすることなく没頭し、とことん限界までやり抜いてください。

進め、進め、進め！！



トレーダー仲間を作る

「（８）トレーダー仲間は大切にしろ」でもお伝えしましたが、切磋琢磨できる仲間は大切です。

私が開くセミナーの後は毎回、懇親会を開いています。

この懇親会の目的は、２つあります。

まず１つ目はセミナー主催者である私へ質問しやすい環境づくりです。

セミナー会場ですと、どうしても緊張してしまったりして質疑応答の時間を作っても、質問しづらいと思いますが、こういったお酒の席だともう少しフランクに聞けるかなということです。

そして２つ目の目的、こちらの方が私は大切にしているのですが、トレーダー仲間を作れる環境を作るということです。

私自身、勝てない時代は本当に仲間に助けられましたし、盟友として固い絆もできました。

その頃の仲間とは今もなお、週１回の頻度で定期的に Skype で話します。

チャートを見ながら楽しいトレード談義です。

しかし

仲間というのは、実際に会ったことのある人でなくても良いのです。

顔も知らない、話したこともない人でもいいのです。

今の世の中、便利なものはたくさんあるので、どんどん活用していきましょう。

「みんチャレ」や「Studyplus」ならセミナー会場に足を運ばなくてもいいですし、例えばあなたが人見知りであっても、トレーダー仲間を見つけることができますと思います。

私が考える、勝ち組になる為に必要な 2 つは

- ・メンター
- ・トレーダー仲間

縦の繋がりと横の繋がりです。

上から正しい道筋へひっぱってくれるメンターと、横で助け合えるトレーダー仲間です。

独学で学んだり、1 人ぼっちの「ぼっちトレーダー」から脱出して、効率よく早く勝ち組になりましょう。

(22) 1日のトレード回数は10回以下にしろ

勝てないトレーダーの特徴の1つに、「エントリー回数が多い」というものがあります。
これは私が長年コンサルなどを続けてきた中で気づいたことの1つでもあります。

ではなぜ、エントリー回数が多いと負けやすいのかについてですが、1回1回のトレードの精度が低いことが挙げられます。

例えば、

「MAに当たったからエントリーした」
だったり

「ダブルトップが出てネックラインを下に抜けただけで売りエントリーをした」
「レンジを抜けたから買いエントリーをした」

などがそれにあたります。

本来は大きな時間足チャートでトレンドはどっちに出ているのかやボラなど、今現在の相場状況がどんな状態なのかを確認し（環境認識と言います）

買いエントリーなら**上がる根拠がたくさんある所、**
そして**下がる根拠が少ない所でエントリーするべき**なのです。

しかしながら、こういった根拠が複数あるポイントは1日のうちにそう何回もあるわけではありません。

そのため、1日のトレード回数が10回と言うのは多過ぎなのです。

そして他にも、メンタル面についてもお話しておきましょう。

例えば、買いエントリーをして損切にあったとします。
ここまでは誰でもあることですね。

ところが、悔しくなり今度は
「上がらないなら、下がるのか！」ということで、さっきとは逆の方向の売りエントリーをして、運悪く今度も損切となってしまいました。

そしてもう何が何だか分からなくなってしまい、とにかく負けた分を取り戻したくて再び買いエントリーをした。

さて、こういう経験、あなたにはありませんか？

この3回のトレードで注目しないといけないポイントは、2回目と3回目のトレードです。

2回目と3回目のトレードは、感情に任せてトレードしているだけで、環境認識や下がる根拠や上がる根拠の確認などはできていません。

こういった感情トレードは、エントリー回数を増やす大きな要因です。

「なんだかエントリー回数が増えて来たな」と思ったら危険信号です。



1日のトレード回数が10回以上の場合は、一旦トレードから離れて原因を分析し、きちんと根拠のあるトレードをしているのか、ルール通りのトレードができているのか、行き当たりばつたりの感情トレードをしていないかを確認すると、大きな損失を出さない予防となるので、必ず行うようにすると良いでしょう。

(23) エントリーの根拠が崩れたら目をつぶってでも損切りしろ

私もしばらくの間、なかなか気づくことができませんでしたが、負けているトレーダーと勝っているトレーダーの大きな違いがあります。

それは、負けているトレーダーが勝つことに注目する人が多い中、勝っているトレーダーは、「どのように負けるか」に重きを置いています。

つまり「**勝ち方**」ではなく「**負け方**」の方が**重要**なのです。

損切りできずに、全損してしまう人が多いですが、あなたは大丈夫でしょうか？

これが起きる原因は

- ・エントリーの根拠が曖昧
- ・自分のエントリーに自信を持っていない
- ・ロットが大きすぎる

ことが挙げられます。

自分の中で明確なエントリーの根拠があるならその根拠が続く限りは決済する必要がないので迷う必要が無いですし、その根拠が否定されたらポジションを保有する理由がなくなりますので、損切りするだけです。

根拠が崩れたら、「もしかして建値まで戻ってきて、含み損が0円になるかもしれない」という甘い考えや、「絶対に負けたくない！」という変なプライドは捨てて潔く負けを認めましょう。

後者は特に完璧主義の人に多いです。
連勝が続いていると、負けたくなくなるんですね。
分かります(; '▽')

やることは簡単です。
決済ボタンを押すだけです。

そうすることで資金を大きく減らす事を防ぎ、残った資金でまた新たに挑戦することができます。

(24) 指差し確認をしてね

電車の運転手は毎回「出発進行！」の時、『指差し確認』をしています。

鉄道総合技術研究所によると、この『指差し確認』をすることで、作業の誤りの発生率が約 6 分の 1 減るというデータがあります。

これは、「人間はどんなに気を付けていても間違いをしてしまうもの」という考え方から、ヒューマンエラーを無くすために決められている確認法です。

ただ単に目視による確認で済ますよりも

- (1) 目で確認 (目)
- (2) 指差し (指)
- (3) 声に出す (声)

というように、3 種類の方法で確認した方がより確実性が高まります。

そしてこれを FX にも応用することが可能です。

『指差し確認』をトレードで使う場面は「エントリー前」と「決済前」です。

< 指差し確認 >

- ・エントリー前
- ・決済前

エントリーする前に、根拠を口に出しながら「△△OK」「□□OK」「根拠〇個 OK」と、チャートの上を指でなぞって指差し確認をします。

その他、

「取引ロット数」

「通貨ペア」

「売り」なのか「買い」なのか

も間違いが無いかを、冷静に確認しましょう。



複数通貨ペアを監視している場合、違う通貨ペアでエントリーをしてしまうミスが発生しやすいですし、売りと買いのミスは、「早くエントリーしたい！」と焦っていると、間違えてクリックしやすいです。

一呼吸おく意味でも、指差し確認をして、「本当にエントリーしていいの？」と自分に問いかけてから、エントリーをしましょう。

決済する時も、決済理由を「◎◎OK」と言いながら指差し確認をしてから決済を行います。こうすることで、想定外のエントリーを避け、投げやり損切や、焦りからのチキン利確ではなく、しっかりと理にかなったエントリーと決済をすることができます。

特に、エントリー時は念入りに指差し確認を行うと無駄なトレードが減るので必ず指差し確認を行うようにしましょう。

誰かに見られるわけでもないですし、仮に家族がいて恥ずかしいと思う場合もあるかもしれませんが、「なにやってるの」とクスッと笑われることなんて大したことありません。

それよりも、自分のお金を守り、増やす方が大切でしょう。

私もこの指差し確認を行ってから、トレードしています。

(25) チャートを見る時間を増やせ

勝てない理由の1つに、チャートを見る時間が全然足りていないことも多いです。
トレードは「場数」が大切です。

- ・検証
- ・環境認識

トレードする事ばかり考えるのではなく、
とにかく

「どうなったら、どうなりやすいのか」

を仮説を立ててチャートを眺めてみてください。

ただ眺めるだけではなく、水平線を引く練習、トレンドラインを引く練習、フィボナッチを引く練習、とにかく毎日5分でもいいのでチャートを触るようにしてください。

ただし、「時間がなくて、チャートが見れない」という場合もありますね。
そんなときの対処法があります。

対処法：

夕食後、くつろぎタイムではなく自室に行き、FXの時間に充てる

夕飯後、勿体ない時間の使い方をしていませんか？

人間の命は有限です。

ダラダラ過ごしては、いつになってもトレードで稼げるようになりません。

ダラダラリラックスタイムも時には良いですが、今は全力集中で、FXで利益を上げる為に時間を使ってください。

まったりビール飲んだり、ソファで横になったら、はい、もう眠たいですね。

チャートどころじゃなくなり、ゲームオーバーです。



夕食後は、すぐに自室に行き、チャートに触って下さい。
毎日、毎日です。
それだけでも、他のトレーダーと差がつきます。



時間は「作る」ものです。
朝少し早く起きることでも、時間は作れます。

習慣づけが大事です。

第1章はこれで終わりです。

いかがでしたでしょうか？

しっかりと頭に入れてくださいね。

復習がてら、大事な箇所は次のページにメモしておいてください。

続いて第2章からは、より実践的な内容をチャートを使ってみていきましょう。

第1章 ヌモ

第2章 環境認識

私はFXで勝つためには資金管理が1番大切だと思っています。

しかしその資金管理も、ある程度勝てる手法を持っていることが大前提です。



損切幅と利確幅の比率（リスクリワード）が1：1の場合、勝率が51%以上ないと、いくら資金管理を頑張っても資金は減ってしまうのです。

そのため、これから手法に関する環境認識やエントリーや決済についてお話をしていきます。エントリーポイントや決済位置などといったトレード方法については、第3章以降に詳しく書いていきます。

※勝ち手法のリスクリワードと勝率の組み合わせは無限にあります。

PCを開いてからトレードするまでの流れ

FXを始めたばかりの方や、勝てないトレーダーの共通点の1つに、パソコンを開いてすぐにトレードをする点があります。

あなたはでしょうか？

もし、あなたもパソコンを開いてすぐにトレードしているようなら、今すぐやめた方が
良いです。

なぜなら、このやり方をしているから勝てないとも言えるからです。

トレードで勝つためには念入りな準備が必要です。

勝つための正しいトレードの流れとは、以下の5段階になります。

勝つための正しいトレードの流れ

(1) 環境認識

↓

(2) トレードシナリオ作成

↓

(3) エントリー

↓

(4) 決済

↓

(5) エントリー後のフォロー

いつも、エントリーが遅れてしまう場合の対処法

「いつも、エントリーが遅れてしまいます」という方がいらっしゃいますが、エントリーが遅れるのは、事前に環境認識をしたり、シナリオを作っていないからです。

対処法としては、朝起きてチャートを開いた時や、帰宅してチャートを開いた時など、すぐにトレードをするのではなくて、ドル円、ユーロ円、ユーロドル、ポンド円など複数の通貨ペアがある中で、どの通貨ペアでエントリーすれば1番勝てる見込みがあるかを分析することです。

まず最初にするのは、これです。

それが終わった後、その選んだ通貨ペアは、「売り方勢力」と「買い方勢力」のどちらが勝っているのかを判断をします。

簡単に言うと、「売りパワー」と「買いパワー」のどちらが強いのかということです。

パワーの強い方にエントリーをする方が、当然勝率が高いです。

例えば、買いが優勢なら、買いエントリーを狙った方が勝ちやすいです。

その後に、どのポイントでエントリーをすれば勝ちやすいのか具体的な場所を見極めます。

そこまで出来たら、トレードシナリオを作り、そのポイントに来るまで待ちましょう。

そしてたとえ、チャートを開いた時に絶好のエントリーポイントから入りそびれていたとしても、気にすることはありません。

「あと10分早くチャートを見ていたら、絶好のエントリーポイントだったな。」

「ほら、エントリーしていたら利確だったのに！！」

こういう時、よくありますよね？

お分かりの通り、トレーダーにとったら、こんなことは日常茶飯事です。

諦めて次のチャンスまで待ちましょう。

チャンスはいくらでもあります。

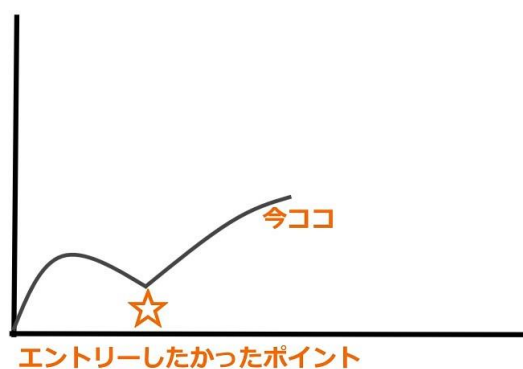
慌てて飛び乗って高値掴みさせられるより、それを見送って新しく「これは勝てるだろう！」という場面まで待って勝負した方が勝てます。

「諦めるスキル」を身につけることは、勝ち組になるためにとても大事です。

複数の通貨ペアを見ているなら、他の通貨ペアでエントリーチャンスが来るかもしれないですし、今日はもうトレードできる場面は無さそうと思えば明日までノートレで良いのです。

この一連の考え方が重要です。

チャート開いたら・・・



また良いポイントが来るさ！
あきらめよう

追いかけて
エントリーしないぞ！

手法の基本

トレードをする上で覚えておかないといけない大切なことがあります。

それは、エントリー条件や決済条件を明確に言語化する必要があるということです。

分かりやすい例を挙げますね。

エントリー条件の例：

- ① 16:00～23:00に
- ② 4時間足の終値が連続して2本以上、+1 σ を上回っている
- ③ 1時間足のMAと+1 σ が上向き
- ④ 5分足がMAと水平線で交わる所で反発

以上4点全てが当てはまったら、成行買いエントリー。

損切条件の例：

5分足で、エントリー根拠の④の水平線を下に抜けてローソク足が確定したら損切り。

利確条件の例：

損切幅よりも、1.5倍以上の値幅。もしくは、5分足で、1つ上の水平線に到達したら利確。

といったように、条件を明確に言語化することです。

特に、「いつ」「どこで」「どうしたら」「どうする」が大事です。上の例で言うと、下のようになります。

・いつ

→16:00~23:00

・どこで

→5分足で

・どうしたら

→4時間足の終値が連続して2本以上、 $+1\sigma$ を上回っていて、1時間足のMAと $+1\sigma$ が上向きになって、5分足がMAと水平線で交わる所で反発したら

・どうする

→成行で買いエントリーをする

※例として出しただけですので、このままトレードしないようにしてくださいね。

どんな相場状況で

②どんな場所で

③どんな値動きが出たら

④どこでエントリーして

⑤どこまで狙い

⑥どうなったら手仕舞うのか

①～⑥までが明確になってこそ、初めて手法と呼べます。

つまり、誰かに

「どんな手法でトレードしてるの？」と聞かれた時に

「私のエントリー条件は、〇〇がどうなったらエントリーして、△△がどうなったら利確、□□がどうなったら決済します。」

と分かりやすく説明ができないといけません。

そして、チャートを使っても説明できるようにしておきましょう。

「このチャートなら、ここがエントリーポイントです」と即答できるってことですね。

ここまでできないと、リアルトレードでは使えません。

特に1分足や5分足で執行するスキャルピングをしている場合は、俊敏な判断をしないとエントリーも決済も間に合いません。

迷っている暇はなく、1分1秒でも遅れてしまうと、本来利確できたのに損切で終わってしまったり、エントリーチャンスを失ったりしてしまいます。

「買いエントリーしようか迷ったら行っちゃった。
あーやっぱり上がったわ。」

「決済迷ったら下がっちゃった。
さっき利確すれば良かった。
1万円損したわ。」



などなど。

私は1分足でトレードすることが多いので、「一瞬の迷いが命取り」これは痛感します。

このようにエントリーする時や決済をする時の条件を具体的にし、
曖昧性を排除しなければ、

- ・トレードする時に迷いが生じる
- ・裁量度が高くなり再現性が低くなる

こういったことが起きてしまいます。

「同じ相場は二度と来ない」と言う人もいますが、
私は似たような相場は何度も来ると思っています。

それは、手法の検証でも相場の原理原則の検証でも構いませんが
検証をした事がある人なら分かる事です。

「あっこの場面、前にも似たような場面あったな」
これの繰り返しです。

また同じような場面が来た時に、
同じところでエントリーをして、同じ場所で決済ができないとその手法は身につけてい
ません。

何度やっても、エントリーと決済の根拠が常に同じであるということが、できて
当たり前なのです。

あなたはでしょうか？
自分のトレードを見つめなおしてみてください。

感覚的な判断では、長期的なスパンで安定して勝てません。
全て言語化してルールに加えてから、それに従ってトレードをするようにしましょう。

エントリー条件の数について

まず初心者に向けてのメッセージとして、エントリー条件の数は多すぎると煩雑になり、再現性が低くなります。



エントリーも決済も、条件はできるだけシンプルなものの方が良いです。
コツは、小学生でも理解できるくらいのものが覚えやすく、再現もしやすいです。

例えば昔からある、「MA 反発でエントリー」などの古典的な手法も機能しやすくエントリー条件としては有効です。

ただし、MA 反発でエントリーという条件だけでは勝率が悪いので、他にも有効な条件を組み合わせるよう
にしてみましょう。

慣れないうちは、**エントリー条件は最低2つ重なったポイントでエントリーする**ように心がけて下さい。

次に、中上級者さんへのメッセージです。

エントリー条件の数が多い＝勝つ根拠の数が多いとも言えますので、慣れて来たら条件は1つでも多くなるようにエントリールールを作りましょう。

根拠を積み重ねれば重ねるほど、ローソク足は思惑方向に動くので、2つよりも3つ、3つよりも4つある方が良いです。

注意としては、根拠が多くなればなるほど、出現率が下がるということです。「勝率と引き換え」ですね。

そして、再現性が落ちやすいという点もありますが、中上級者さんなら、これは Forex Tester など何度練習をすることで、その場面が来たら迷わずエントリーできる状態にすることは可能です。

エントリーの根拠については

初心者さん・・・最低 2 つ以上

中上級者さん・・・ 3 つ以上

上を参考にしてください。

ちなみに私のメイン手法のエントリー根拠は 8 つです。

最近のデータでは

出現頻度は、監視通貨ペア 10 個で 1 日に 1 ～ 3 回が平均です。

勝率は 75%以上で、リスクワードは、基本的に 1 以上。

勝率を取るか、出現頻度を取るかのバランスを考えてエントリーの根拠の積み重ねを
してくださいね。

出現頻度が少なくてもロットで調節すれば、稼げる額が少ないということはありません。

8 つも勝てる根拠があるのに負けることがあるのだから、根拠が 2 つの場合は当然、勝率は高くないと思っ
ていた方が良いでしょう。

そのため、**根拠を 2 つにした場合は、最低限の目標として勝率 51%以上を目指す**と良いでしょう。

負け方

そうしてしっかりと条件を明確にしてからトレードをした結果、「自分のトレードルールに従ってエントリーと決済をしたけど、損切りになった」という場合は OK です。

どんな手法でも、負けることは必ずあるからです。



問題なのは、ルールとは違ったトレードをした結果、利益が出てしまうことです。

これを繰り返すとルールを破る癖がついてしまい、どんどん自分のフォームを崩して最終的には、資金を溶かしてしまいます。

退場ですね。

退場しないための4箇条

退場しないためには、

- (1) 自分のルールを徹底的に守り
- (2) しっかりとした資金管理と
- (3) 常にフラットなメンタルで
- (4) 検証で勝てると結果が出た手法でトレードをし続けること

これだけです。

過去検証を通して自分なりのパターンを構築しておく、機械的かつ再現性高いエントリーを
しやすくなります。

※検証については非常に重要なものですので、必ず行ってからリアルトレードをするように
してください。

検証のやり方が分からない場合は、[【あや検証】](#)をどうぞ（笑）

手法の作り方の6工程

手法の大まかな作り方は、以下の通りです。

- (1) どんな相場（環境）を狙うものかを定める
- (2) エントリーの方向は長期足の方向と同じにして
- (3) エントリー位置と損切り位置の根拠を明確にして
- (4) 勝率に見合った、損切幅と利確幅のバランスにし
- (5) トレードあたりの損失額を決め
- (6) 検証でプラスになるかチェックし、100場面以上練習する

あとは、検証で勝てると結果が出たならひたすらリアルトレードをし続けていだけで、増えたり減ったりしながら、最終的には月単位や年単位でお金が増えていきます。

「お金が増えない」と嘆いている場合は、上の工程のどこかが抜け落ちているのです。

あなたは心当たり、ありますか？

もう一度、上の工程を確認してみてください。

勝てるようになるには、「退場しないための4箇条」と合わせて、上の工程が必要なんだという事をまず初めに理解しておいてください。

この【トレ教】でも、これから細かな部分をお伝えしていきますね。

一緒に頑張りましょう♪

(1) 環境認識

この章では勝ちやすい場所でトレードできるための下準備になる環境認識について解説していきます。

環境認識とは

テクニカルや他の通貨ペアとの相関関係、指標を含めたファンダメンタルズなどから複合的に考えて相場全体を見た時に、現在のレートが相場のどのような状況にあるのか、そしてこの後上昇しやすいのか下降しやすいのかを分析することです。

環境認識がうまくできるようになると
勝ちトレードが増えていきます。

私のブログは2014年から続けていますが、開設当初からトレード理念として以下の内容を掲げてきました。

私は環境認識について重きを置いています。

<トレード理念>

小手先だけのテクニカルではなく、
トレード前の準備に力を入れるようにしています。
準備の段階で9割、勝負が決まっていると思うから。
いかに環境認識力をつけるかでトレードの精度は変わる。

私のブログのトップページ

<https://ayafx.site/>

Copyright (C) 2022 あやFX All rights Reserved

環境認識をするメリット

環境認識をすることにより

- ・「勝ちやすい場面」、「負けにくい場面」が分かるようになる
- ・現在の相場状況が上記のどちらの状況か分かる
- ・優位性の高いエントリーポイントが分かるようになるので勝率が上がる
- ・負けやすいポイントでのエントリーを回避し、
勝ちやすいポイントのみでエントリーできるようになる
- ・トレンドが転換しやすい場所が分かる
- ・順張りの値幅が大きく取れる
- ・逆行しにくくなる

などなど、いくつもメリットがあります。

環境認識をするデメリット

一方、環境認識をするデメリットは、下記です。

- ・環境認識をしないでトレードする時に比べて、ひと手間かかるので面倒くさい
- ・スマートフォンではやりにくい

スマートフォンでやれないことはないですが、精度が落ちる為は非推奨です。

私もやっていません。

メリットの方が断然大きいのがお分かりいただけますよね。

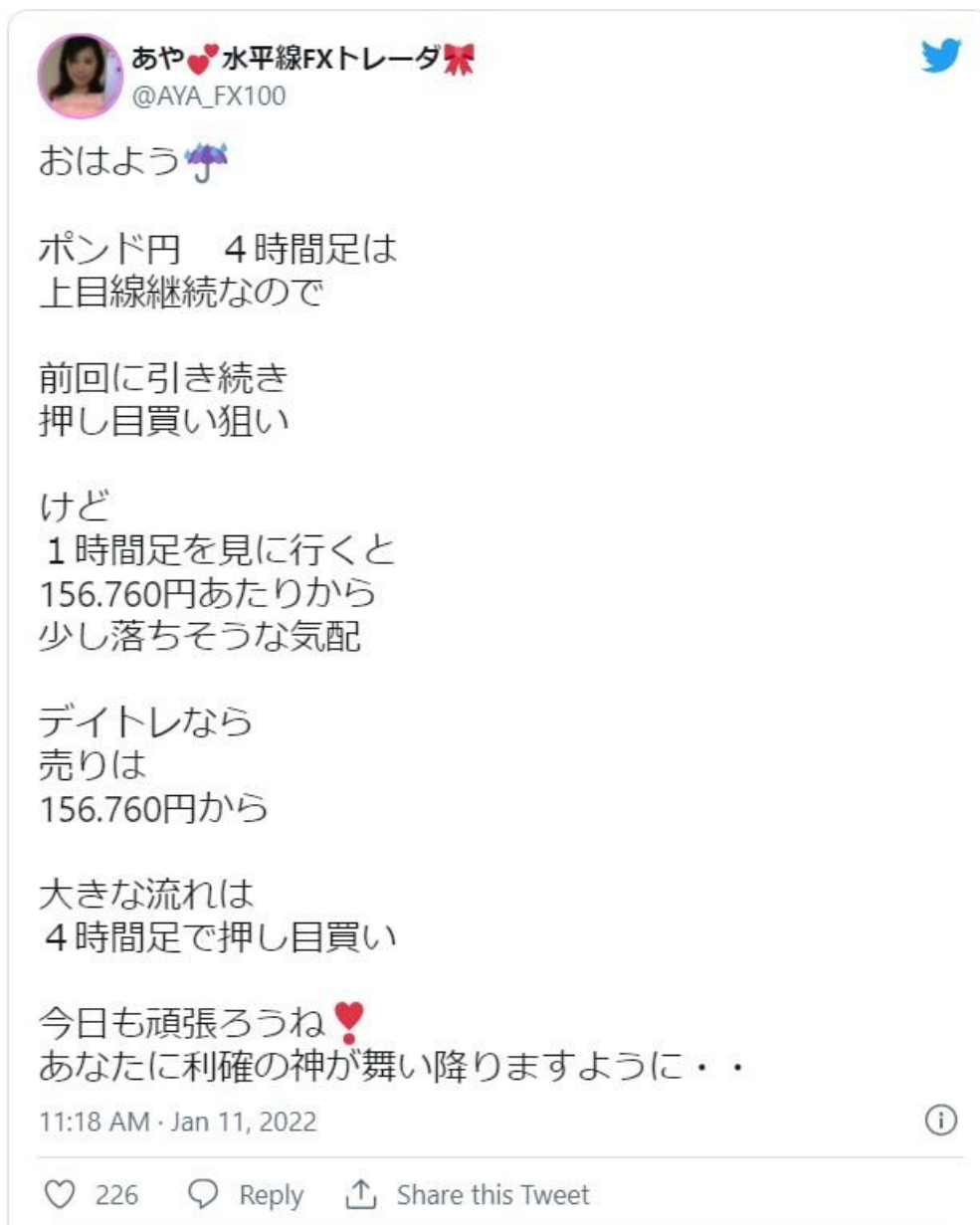
あなたがどんな手法を使っているにしても、トレード前には必ず環境認識をする必要があります。

では、環境認識の具体的な例を見てみましょう。

※「難しいな」と思った場合は、【トレ教】を最後まで読んでからもう一度読んでみて下さい。
きっと理解できると思います。

今はさらっと読んでみてくださいね。

環境認識の一例（具体例）下の画像はある日のツイートです。



https://twitter.com/AYA_FX100/status/1480725732011782146?ref_src=twsrc%5Etfw

これは、4時間足の環境認識では押し目買いを狙っていて、1時間足では売りを狙っているという意味の投稿です。

この意味、あなたには分かりますか？

少しかみ砕いて説明すると



まず、現在レートより下で買いを狙っているわけですね。

上のチャート画像では、青の矢印の流れです。

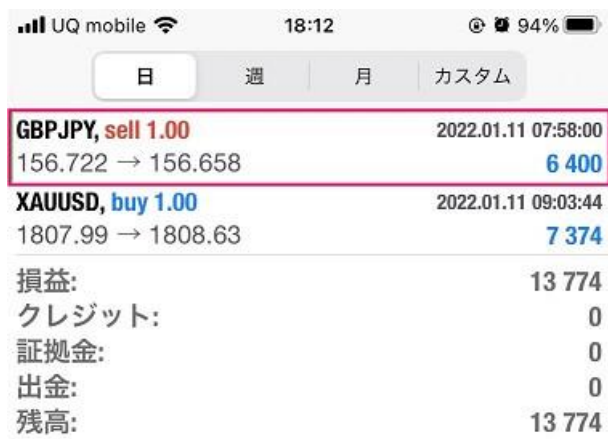
そして、そこまで下げてくるまでの大きな値幅の一部を 156.760 円で売って数 pips を狙う事を予測しておいたということです。

それがピンクの部分です。

この環境認識を元にスキャルトレードして、売りエントリーして利確しています。

(XAUUSD の buy は関係ありません。)

実際には指値でバシッとエントリーではなく、短期足でタイミング取りをしているのでエントリーレートは少し下になっています。



The screenshot shows a mobile trading application interface. At the top, it displays 'UQ mobile', the time '18:12', and a battery level of '94%'. Below this are tabs for '日' (Daily), '週' (Weekly), '月' (Monthly), and 'カスタム' (Custom). The main content area shows two trade entries:

Trade Details	Time	Profit/Loss
GBPJPY, sell 1.00 156.722 → 156.658	2022.01.11 07:58:00	6 400
XAUUSD, buy 1.00 1807.99 → 1808.63	2022.01.11 09:03:44	7 374

Below the trade history, the account balance is shown:

損益:	13 774
クレジット:	0
証拠金:	0
出金:	0
残高:	13 774

At the bottom, there is a navigation bar with five icons: '気配値' (Indicator), 'チャート' (Chart), 'トレード' (Trade), '履歴' (History), and '設定' (Settings). The '履歴' icon is highlighted in blue.

トレード履歴



その後のチャート 1

青色の縦線が、Twitter に投稿した時です。

その後、ピンク色にマーカーした部分が少し下がっていますよね？
この下落を、売りエントリーしたのです。

先程の Twitter に書いた

「1 時間足を見に行くと 156.760 円あたりから少し落ちそうな気配
デイトレなら売りは 156.760 円から」

この部分が、その通りの動きになっています。



その後のチャート 2

そして利確後は、上昇していますね。

先ほどの Twitter では、

「4時間足では押し目買いを狙う」と書いた部分の動きになります。

実際の値動きも

4時間足ではこの下落が押し目となり上昇しましたね。

このように、環境認識を使えば未来のローソク足の流れがどうなるのかを予測することができ、その予測を使ってトレードで勝つことができます。

同じチャートを見ていても、大きな目線で見ている人は買いで狙っていたりもう少し小さな目線で見ている人は売りで狙ったり、

色々な人の思惑がローソク足を動かしています。

だから、SNSなどで誰かが「ドル円は買いだ」と言っている、資金力もレバレッジもロットも見ている時間足もあなたと同じ環境ではないので、便乗しても無意味なんです。

あなたはそれに便乗して1万円の資金でハイレバで買いエントリーして、その後の下げで損切になったとしても、実はその人は100万円の資金でローレバのスイング目線のシナリオでエントリーしていて、30 pips 下げてから、6日後に上昇したタイミングで利確したかもしれないのです。

あなたはあなた自身のやり方で環境認識をして、トレードシナリオを作り、検証して作り上げた鉄板手法のルール通りのエントリー条件が揃うまでひたすら待ち、タイミングが来たらエントリーし、ルール通りの利確、根拠が崩れたら損切をする、そしてトレード日誌を付けて改善して行くのです。

この繰り返しの中で、手法も磨かれますし、環境認識力もついてきます。

マルチタイムフレーム分析

環境認識のためのチャート分析として役立つものとして、マルチタイムフレーム分析というものがあります。

マルチタイムフレーム分析、、、カタカナですし、なんだか難しそうないメージで一瞬拒否反応が出ませんでしたか？

大丈夫です、慣れば難しくありませんので頑張って習得していきましょう。

マルチタイムフレーム分析とは、

複数の時間足チャートを確認して現在の相場環境を把握し、エントリーポイントを割り出すこともできる分析方法です。

そうすることによって、大きな時間足の相場の流れや状況、つまりトレンド相場なのかレンジ相場なのかという方向性を確認した上で、それに適したエントリー方向（売りか買いか）や、エントリー方法（手法）を使い分けることができます。

もう少し具体的にまとめたのが、下の画像です。

マルチタイムフレーム分析



複数の時間足チャートを確認

①大きな時間足の相場の流れや状況を確認

- ・トレンド相場なのかレンジ相場なのか
- ・トレンドの勢い、レンジのパターン
- ・サポートライン、レジスタンスラインなど

②適したエントリー方向や、エントリー方法を使い分けてエントリー

- ・売りか買いか
- ・手法

①大きな時間足の相場の流れや状況を確認



(A)環境認識する時間足

② 適したエントリー方向や、エントリー方法を使い分けてエントリー



(B)エントリーする時間足

このように

(A)環境認識する時間足

B)エントリーする時間足

の2種類を使ってトレードするということです。

つまり

相場を多面的に見るわけです。

ちなみにこれは、1つの通貨ペアごとに行います。

そして、スキャルピング、デイトレード、スイング、どのトレードスタイルでも、マルチタイムフレーム分析を使った環境認識を行ってください。

もしあなたが

「15分足だけ見て、トレードしていた」

「5分足しか見ていなかった」

という場合は、今日からこの複数の時間足チャートを使ったマルチタイムフレーム分析を取り入れてトレードしてくださいね。

そうすることで、トレード成績が上がります。

今から楽しみですね！



(A)環境認識に使う時間足

環境認識は、主に 1 時間足、4 時間足、日足、週足のいずれか、もしくは複数で行います。

ここでのポイントは、エントリーを執行する時間足よりも適度に大きな時間足で環境認識をするということです。

目安としては、スキャルピングなら 1 時間足や 4 時間足、デイトレードなら 4 時間足や日足、スイングトレードなら日足や週足あたりが良いでしょう。

(B)エントリーに使う時間足

(A)で環境認識をしてエントリーできそうな場所が分かったら、エントリーをします。
(正確に言うと、執行足でも環境認識はしますが、ここでは割愛します。)

このエントリーを執行する時間足のことです。
執行足とも呼びます。

多くの場合、この時間足でエントリー位置、損切位置、利確位置を決めます。

このエントリーを執行する時間足は、環境認識する時間足よりも小さい足にします。

目安としては、スキャルピングなら 1 分足や 5 分足、デイトレードなら 15 分足や 30 分足、スイングトレードなら 1 時間足や 4 時間足を設定すると良いでしょう。

コツとしては、MT4 のタイムフレームを 2 つ以上左にズラすと距離感が丁度良いです。



エントリーに使う時間足の役割は、トレードの精度を高めるということです。

「日足でこのあと上昇しそうだから買いエントリーをしよう」と思っても、日足のローソク足 1 本というのは値幅自体が大きい不是吗？

当然、上昇したり下落したりするボラも大きいので、この後上昇するという方向が読めていて買いエントリーをしても、タイミングによっては負けてしまう事もあります。

その為、もっと小さな時間足を見て、細かな値動きを見ることで細部までこだわった方が精度が高くなるということです。



あなたのトレードスタイルは、
スキャルピング、デイトレード、スイングトレード、どれでしょうか？
トレードスタイルによっても、見る時間足は変わります。

下の組み合わせ例も参考に、あなたの

(A)環境認識に使う時間足

(B)エントリーに使う時間足

を今、決めてみましょう。

(例と同じでなくても、構いません。)

<組み合わせの例>

■パターン1 スキャルパー向け

(A)環境認識に使う時間足 1 時間足

(B)エントリーに使う時間足 1 分足

■パターン2 デイトレーダー向け

(A)環境認識に使う時間足 4 時間足

(B)エントリーに使う時間足 15 分足

下の空欄に書き込んでください。

あとで変更することもできますので、まずは1つずつ、あなたのトレードの形を具体的にしていきましょう。

(A)環境認識に使う時間足	(B)エントリーに使う時間足

まず最初に、エントリーする時間足を、スキャルピングなら1分足や5分足、デイトレードなら15分足や30分足、スイングトレードなら1時間足や4時間足を参考に決めてから、その2つくらい右のタイムフレームを環境認識する時間足にすると良いでしょう。

※中上級者は環境認識する時間足を複数にすると、さらに精度が高いトレードができますのでやってみてください。

やり方は、【トレ教2】で解説しています。

【トレ教2】⇒<http://ayafx.site/lp/>

【トレ教】は初心者向けですので、環境認識する時間足を1つの場合で解説していきます。

環境認識に使えるテクニカル6選

さてここまでで、トレードする時のイメージはできましたか？

「環境認識する時間足と、エントリーする時間足の2つが必要なんだな。」

「環境認識する時間足は1時間足にして、エントリーは5分足でしょうか。」

こんなふうに分かるトレードスタイルをイメージできたなら、ひとまず準備完了です。
決めた時間足で早速、取り組んでいきましょう。

「あれ？エントリーは15分の方が良いかも。」とか「環境認識する時間足は4時間の方が成績良いな。」などといった具合に、実際にやってみて初めて分かる事もあります。

自分の感触を踏まえて、微調整を加えていってくださいね。

では次に進みます。

環境認識の大きな役割の2つは

- ・大きな時間足を見て、大きな時間足の相場の流れを確認
- ・大きな時間足を見て状況を確認

でしたね。

これらをしていくためには、初めは何から学んで良いか分からないと思いますので、この章で、環境認識に使える「これだけ押さえておけば OK！」というテクニカルを 6 つ厳選してお伝えしていきます。

環境認識に使えるテクニカル 6 選

その 6 つとは

- ①ダウ理論
- ②水平線
- ③ MA (ボリンジャーバンド)
- ④フィボナッチチャネル
- ⑤チャートパターン
- ⑥プライスアクション

です。

これらは私が実際に今も使用しているものだったり、深く学ぶことにより成績が上がったものですので、まずはこの 6 つをしっかりと押さえると良いと思います。

というより、逆にこれ以外のものは無くても勝てます。それくらい強力なものです。

①ダウ理論

まず最初にダウ理論を簡単に説明していきます。

これを知らないとトレードできないと言っても過言ではないほど、重要度としては、最重要の部類に入ります。

ダウ理論の役割としては次の2つです。

- ・目線、トレンドの確認をしやすくする
- ・トレンド転換のタイミングを分かりやすくする

下落しているのか、上昇しているのかという、「方向性」を見極めるためにダウ理論を使います。

目線の見極めはトレード前に必ず必要です。

上昇しているなら「買いで狙う」、下降しているなら「売りを狙う」というように大きな戦略が決まるからです。

ダウ理論の基本ルール

アップトレンド

- (1) 安値を切り上げ、高値も切り上げながら上昇する相場
- (2) 押し安値を下に抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断する

基本は安値を見ていけばいいです。

この後解説していくトレンドラインも、アップトレンドの時は安値に引きます。

アップトレンドは安値が大事です。

高値は前の高値よりも上に抜くことが理想ですが、抜けなくてもアップトレンドは継続です。

アップトレンドの時は、その時の最高値の安値を「押し安値」といい、「押し安値」を下に抜けたらトレンドが崩れたと判断します。

ダウントレンド

- (1) 高値を切り下げ、安値も切り下げながら下降する相場
- (2) 戻り高値を上を抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断する

先ほどのアップトレンドと逆で、ダウントレンドの時は、**基本的に高値を見ていけばいい**です。
トレンドラインも、ダウントレンドの時は高値に引きます。

ダウントレンドは高値が大事です。

安値は前の安値よりも下に抜くことが理想ですが、抜けなくてもダウントレンドは継続です。

ダウントレンドの時は、その時の最安値の高値を「戻り高値」といい、「戻り高値」を上を抜けたらトレンドが崩れたと判断します。

実際に図で見た方が分かりやすいですね。

っとその前に、、、

ダウ理論を使うにはまず、波形を確認する必要があります。

これができないとダウ理論を理解することはできません。

少し波形について解説しますね。

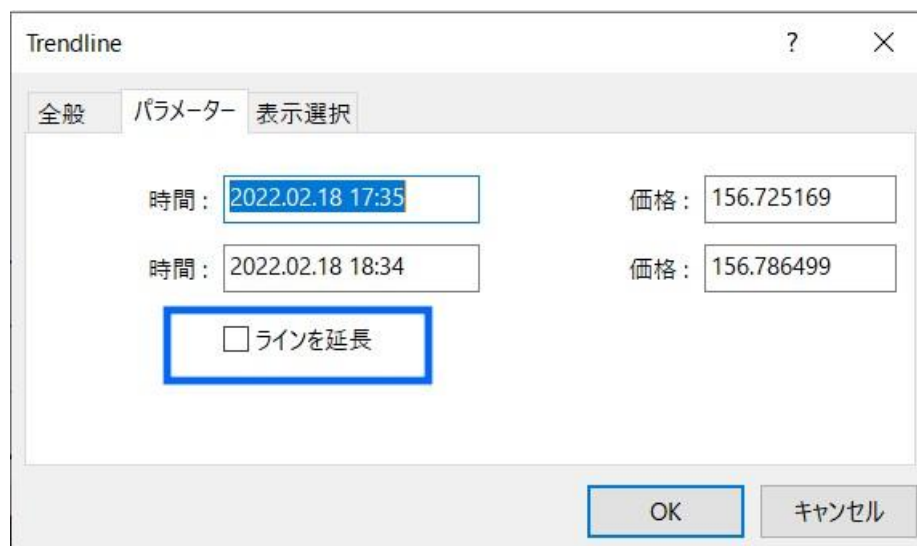
その後、ダウ理論のトレンドが崩れるポイントなどの話に戻ります。

波形は、下のオレンジ線のように、高値と安値を繋いだものです。

指でなぞってみましょう。



MT4 の描画ツールの「トレンドライン」を使って自分で実際に引いても良いですし、よく分からない場合は ZigZag というインジケーターを使っても良いでしょう。
そのうち慣れて来たら自分で引けるようになります。



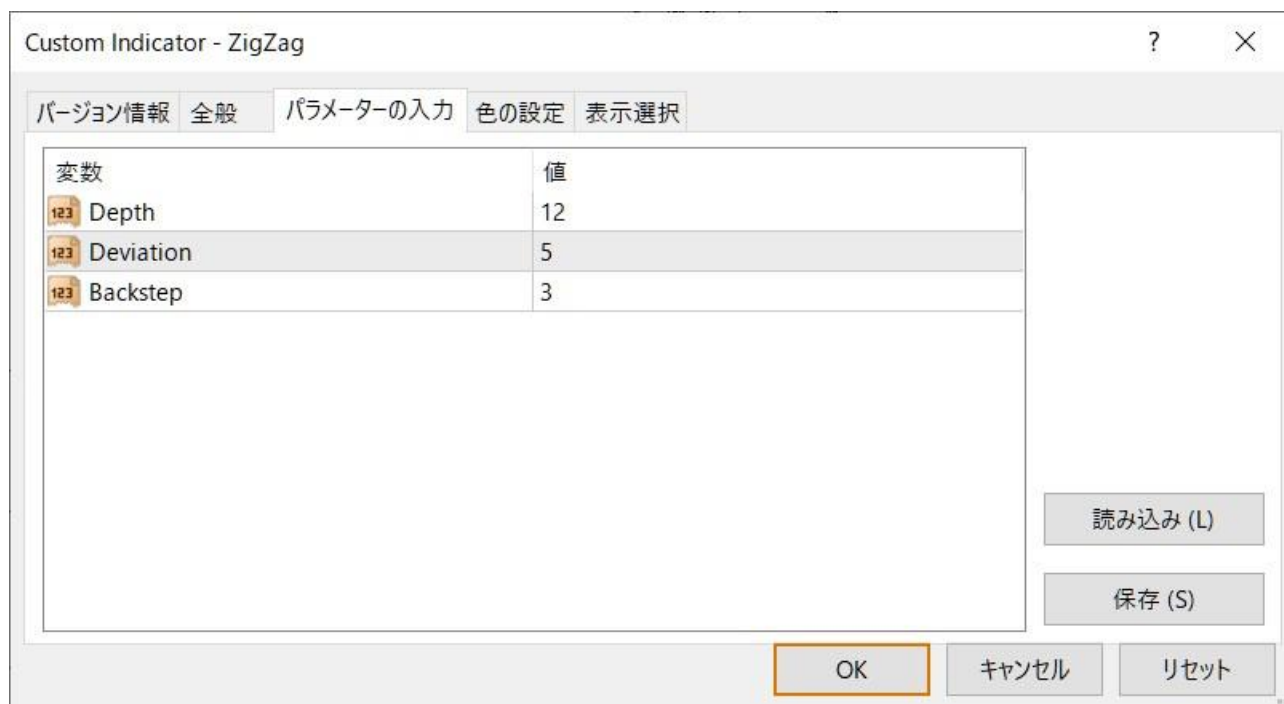
トレンドラインで波を描く場合は、パラメーターの「ラインを延長」のチェックは外してから「OK」ボタンを押してください。

そうしないと、びよ〜んと長いラインになってしまいます(; '▽')

ZigZag とは、自動的に高値と安値をラインで繋げてくれるインジケーターで MT4 や MT5 にデフォルトで入っています。

ZigZag はパラメーターの数値を変えると波の大きさが変わります。
これは実際に試してみると良いでしょう。

もし迷った場合は、デフォルトの「12.5.3」でも良いと思いますし、小さな波で捉えたいという場合は「4.5.2」にすると細かい波を描いてくれます。



ZigZag のパラメーター画面の見本を載せますね。
相場によって、印象が変わりますが参考に見てみて下さい。

パラメータが「12.5.3」のサンプルチャート1



パラメータが「12.5.3」のサンプルチャート2



パラメータが「4.5.2」のサンプルチャート1



パラメータが「4.5.2」のサンプルチャート2



波の大きさについてのポイントは、「常に同じ大きさの波で捉える」ということです。

昨日は「12.5.3」くらいの大き目の波で引いて、今回は「4.5.2」のような小さめの波で引く、
というようにしてはダメです。

相場によって波の大きさは確かに変わりますが、だいたい同じくらいの波の大きさを描くように
してください。

このように、波形を描いた後、「最高値」や「最安値」、「押し安値」、「戻し高値」を確認してダウ理論を見
ていきましょう。

ダウ理論は、この後解説する水平線と同じくらい大事です。

ダウ理論だけでトレードすることもできますが、水平線と合わせて使う事により、より精度が上がります。

私も、ダウ理論だけでトレードはしません。

では、ダウ理論のアップトレンドとダウトレンドの定義について戻ります。

「ダウ理論」という用語を聞いただけで、頭が拒否反応を示す人もいますが、そういう場合はアップトレンドの要点だけを覚えれば OK です。

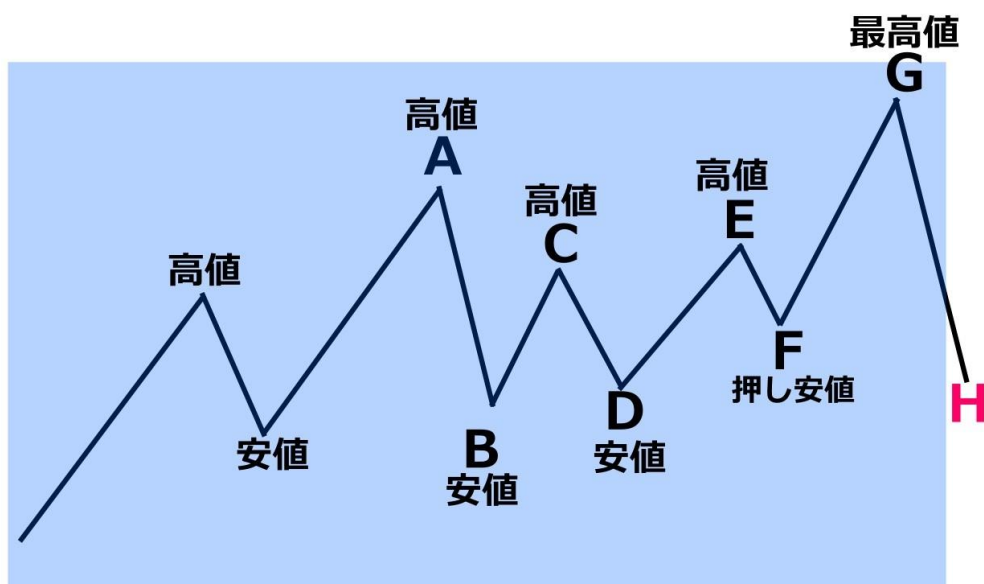
ダウトレンドは、アップトレンドの逆ですから。

アップトレンドの定義は、

- (1) 安値を切り上げ、高値も切り上げながら上昇する相場
- (2) 押し安値を下に抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断する

とにかく「安値」が大切だとお伝えしましたね。

下の画像で説明していきます。



Fまでは安値が切り上がっていますよね？

そのため G まではアップトレンドです。

間違えやすいのが、「C が前回の高値の A よりも切り上がっていないからダメなんじゃないか？」と思う人が結構います。

しかし

アップトレンドは、高値が切り上がらなくても、安値さえ切り上がっていればアップトレンド継続なんです。

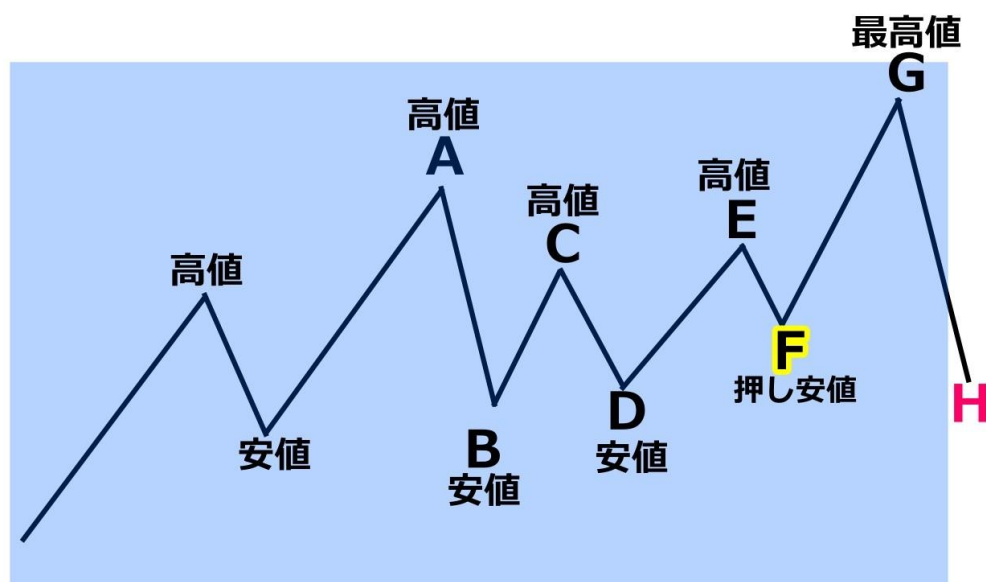
なので、C や E の高値をつけた時は、「レンジっぽいな～」と思うかもしれませんが、トレンドとしてはアップトレンドです。

なるほど・・・



アップトレンドが崩れる時

では、アップトレンドが崩れたのはどこでしょうか？



正解は、H です。

理由は「押し安値 F を切り下げてしまったから」です。

押し安値とは、「最高値を作った安値」です。

ということは、最高値よりも左にある、1番新しい安値です。

最高値は G ですので、G よりも左にある、1 番新しい安値はどこか、指で下になぞってみてください。

そうすると F になりますね。

F が押し安値です。

F が「押し安値」となり、ここを下に抜けたらトレンドは崩れます。

図の H のローソク足が確定した段階でトレンドが崩れたとなるわけですね。

これは、定義の「押し安値を下に抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断するの部分」です。

そして、ここでも勘違いして説明しているブログや商材が多くありますが、H の時点ではダウントレンドではありません。

アップトレンドが崩れただけです。

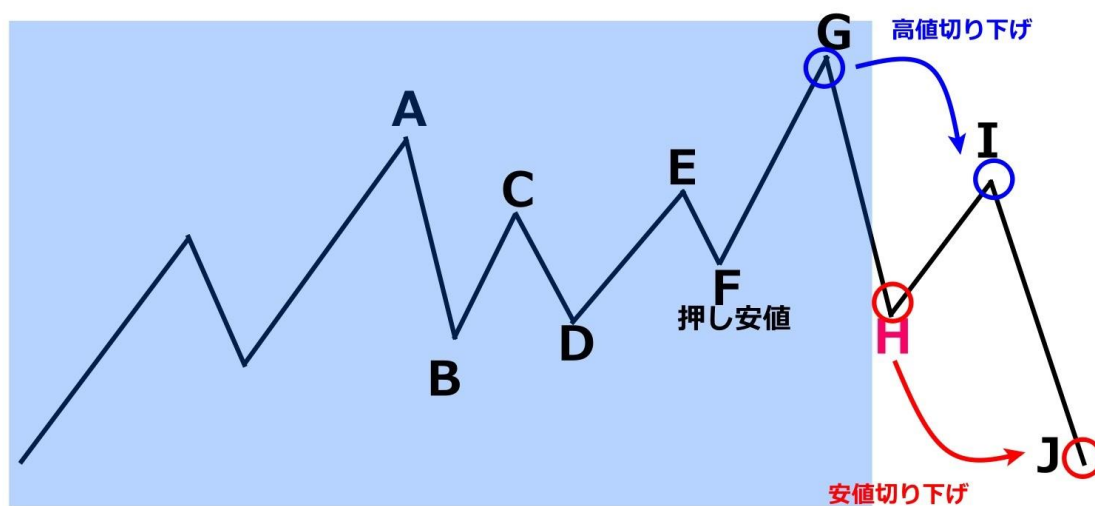
そんないきなり、アップトレンドからダウントレンドにはなりません（笑）それじゃあ、目線がコロコロ変わって忙しすぎますね(≧▽≦)

ちなみに、高値を更新する度に押し安値も更新されて、上に動いていきます。
常に「その時の」最高値の安値が押し安値であり、押し安値は 1 つしありません。

アップトレンドが転換する時

では、アップトレンドからダウントrendに転換するのはどのタイミングでしょうか？

それは、下のようにローソク足が切り下がってくれば、IでGの高値を切り下げていますし、JでHの安値を切り下げていますので、「ダウントrendに転換した」となります。



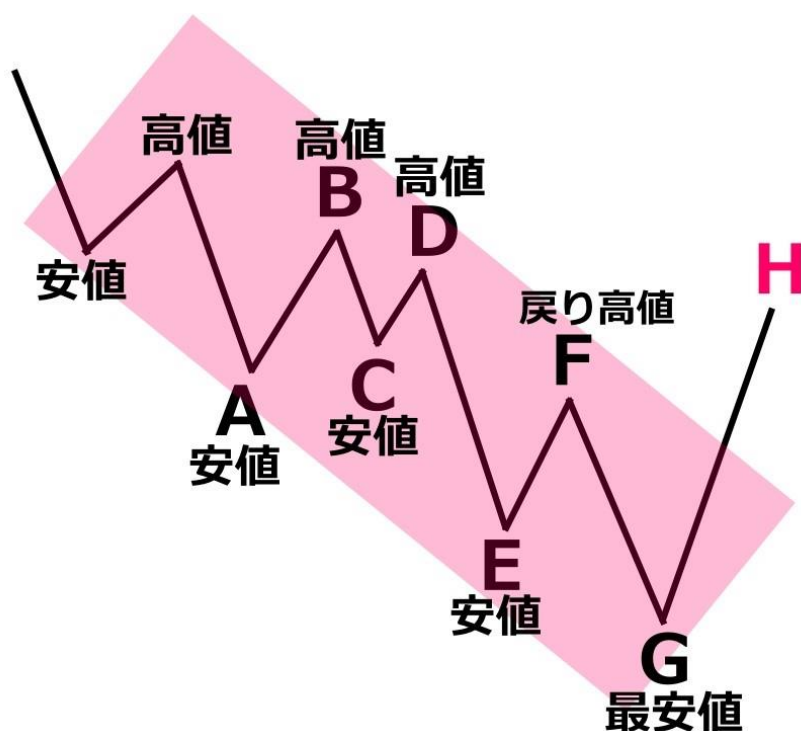
つまり、Jのローソク足が確定した段階で、トレンドが転換したとなります。

次に、ダウントレンドの定義です。

- (1) 高値を切り下げ、安値も切り下げながら下降する相場
- (2) 戻り高値を上を抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断する

アプトレンドと逆で、ダウントレンドの時は、とにかく「高値」を見ていけばいいとお伝えしました。

今度は下の画像で説明していきます。



高値に注目して見ていくと、上の図ではFまでが、前回の高値より切り上がっていますね。そのため、Gまではダウントレンドです。

Cで前回の安値 A を下に更新できていませんが、問題ありません。

Cの時点での直近の高値 B が前回高値よりも切り下げているので、この時点では、ダウントレンドです。

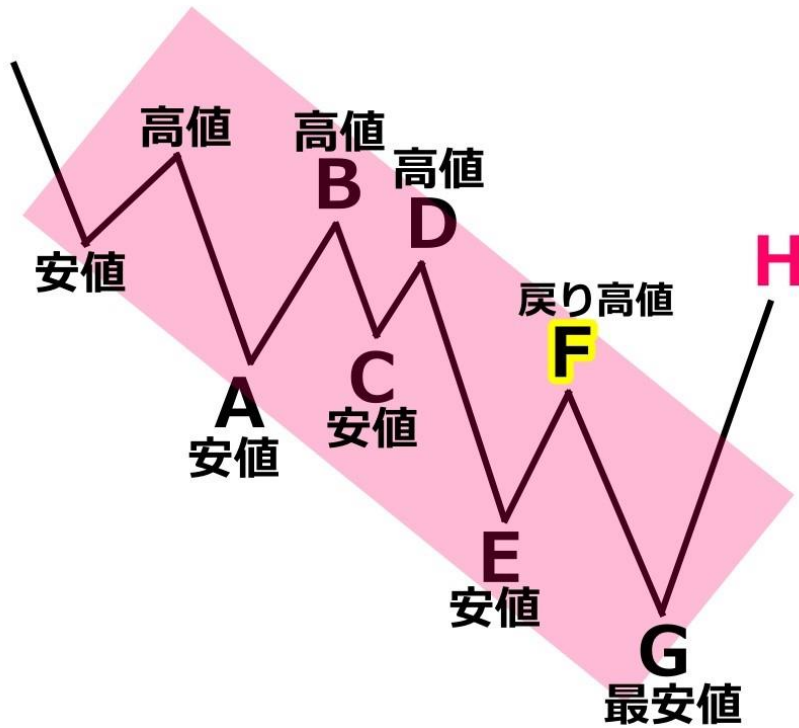
ダウントレンドでは安値が切り下がっていても下がらなくても、高値さえ前回の高値より切り下がっていればダウントレンドは継続となります。

そのため、**ダウントレンドの時は常に「前回の高値よりも切り下げたか？」を意識**していきます。



ダウントレンドが崩れる時

では、ダウントレンドが崩れたのはどこでしょうか？



正解は、Hです。

理由は、「戻り高値 F を切り上げてしまったから」です。

戻り高値とは、「最安値を作った高値」です。

ということは、最安値よりも左にある、1番新しい高値です。

最安値は G なので、G よりも左にある 1番新しい高値は F ですので、F が戻り高値となります。

このことから、トレンドが崩れたと判断するのは、戻り高値の F を上に抜けて確定した、H のローソク足が確定した時です。

これは、定義の 2 番目「戻り高値を上を抜けて確定するとトレンドが崩れたと判断する」の部分ですね。

そして、アップトレンドの時と同じく、H の時点ではまだアップトレンドではありません。

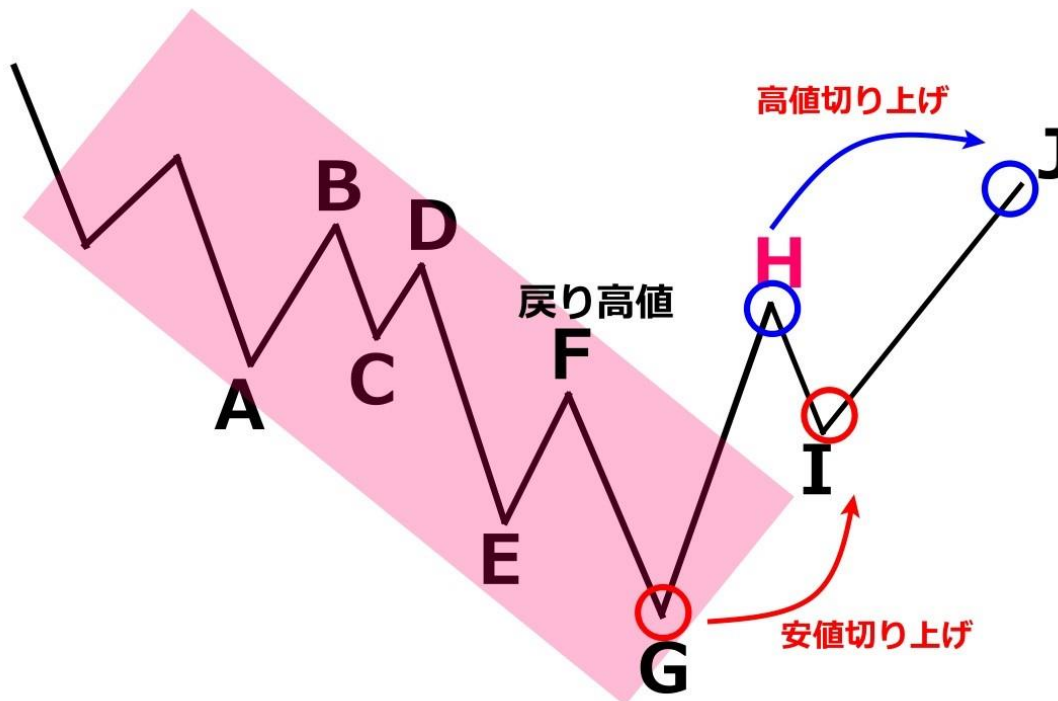
ダウントrendが崩れただけです。

安値を更新する度に戻り高値も更新されて、下に動いていきます。

常に「その時の」最安値の高値が戻り高値であり、戻り高値は 1 つしありません。**ダウントrendが転換する時**

では、ダウントレンドからアップトレンドに転換するのはどのタイミングでしょうか？

それは、下のようにローソク足が切り上げてくれば、IでGの安値を切り上げていますし、JでHの高値を切り上げていますので、「ダウントレンドに転換した」となります。



つまり、Jのローソク足が確定した段階で、トレンドが転換したとなります。

いかがでしたでしょうか？

これが分かればトレンドが読めるようになるので、ダウ理論の部分は何度も読んでしっかりと理解してくださいね。



②水平線

次は水平線です。

どんな相場にも使える、万能な武器です。

これを使いこなせるようになると、相場が面白いほど読めるようになります。

といっても、そんなに難しくないので安心してください。

水平線の目的

水平線の目的は2つあります。

- (1) 抵抗帯を見つける
- (2) 環境認識やエントリーポイントの決定、損切位置の決定、利確位置の決定

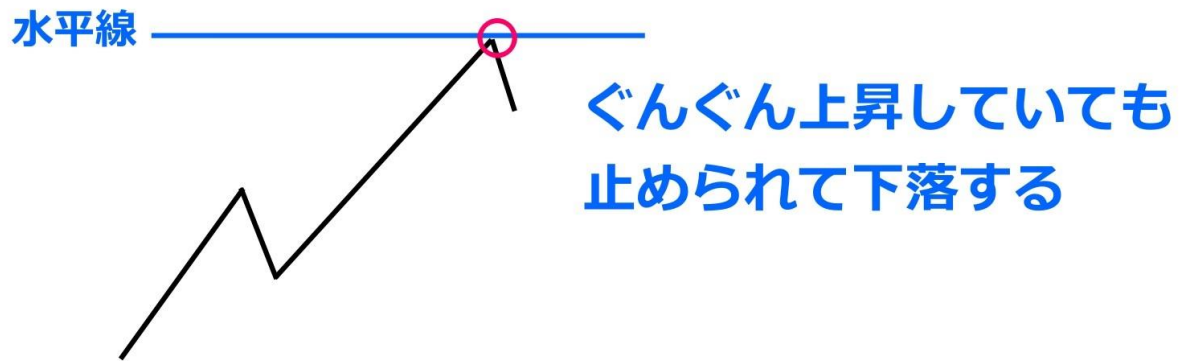
(1) 抵抗帯を見つける

水平線が引ける場所は、ローソク足が止まりやすく、今までの方向と逆に動きやすいです。

例えばローソク足が上昇している場合にすぐ上に水平線が引けた場合、水平線にぶつかって下落します。

逆にローソク足が下落している場合にすぐ下に水平線が引けた場合、水平線にぶつかって上昇します。
これらを「抵抗」と呼びます。

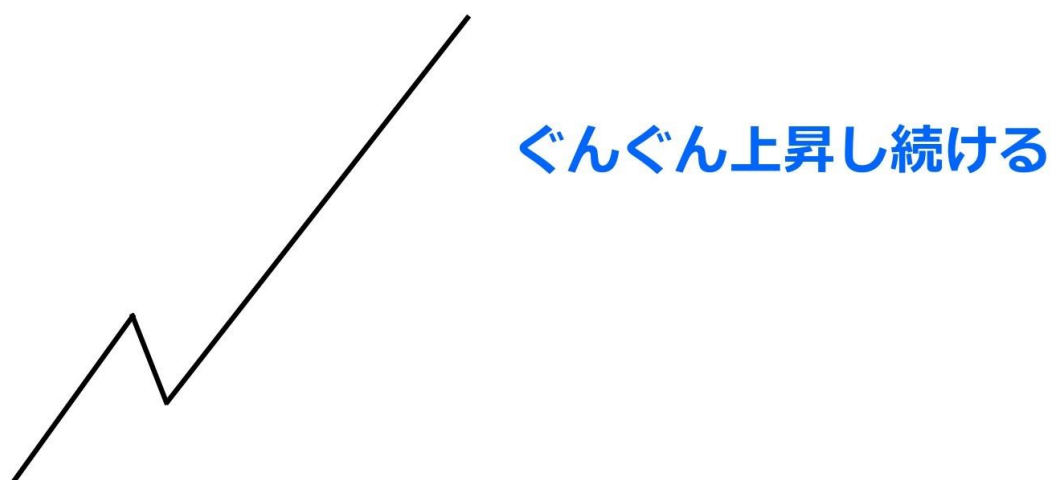
水平線がある場合



水平線が引けない場所と言うのは、止められる「抵抗」が無いのでローソク足が止まりません。

ローソク足が上昇していて水平線が引ける場所が全くない場合、ローソク足はぐんぐん上昇し続けます。

水平線が無い場合



実際には、水平線以外にも抵抗帯となるものはありますので、どこまでも上昇しつづけるというわけではありませんが。。

水平線は、誰もが引くような位置に引くことが重要です。

逆に「誰もそこには引かないだろう」という場所に引いてもダメです。

そのような水平線を使った環境認識は精度が低いですし、エントリーポイントにしてもすぐに逆行されてしまいます。

相場参加者が仮に 100 人いる場合、80 人以上が同じ場所に水平線を引くならみんなが「ここで反転するだろう」と判断するので、エントリーや決済注文が入りやすくなり、反転するわけです。

（２）環境認識やエントリーポイントの決定、損切位置の決定、利確位置の決定

水平線が引ける場所は、ローソク足が止まりやすいので、それを利用して環境認識やエントリーポイント、損切位置、利確位置の決定ができます。

オールマイティですね！

水平線を引いてみよう

水平線とはどういうものかイメージしやすいように、まずどの通貨ペアでも良いので、実際に私と一緒に引いてみましょう。

では、MT4 の日足チャートを表示してみてください。（MT5 でも OK です）

「D1」が日足ですので、それをクリックします。



そうすると、日足チャートが表示されますので、画面いっぱいに 1 枚だけチャートを大きくしましょう。

（下の画像は、ポンド円の日足チャートです）



では早速この状態で、どういう道りを経て現在地（現在レート）にいるのかを指でなぞってみましょう。



下の画像の場合、指でなぞるとオレンジ線のようになりますね。



ヒゲがある場合は、ヒゲもしっかりとなぞりましょう。

ヒゲの中で、売ったり買った人がいることを忘れてはいけません。

そうすると、ローソク足の動きは

上昇して「止まる」下降して「止まる」を繰り返しているのが分かります。



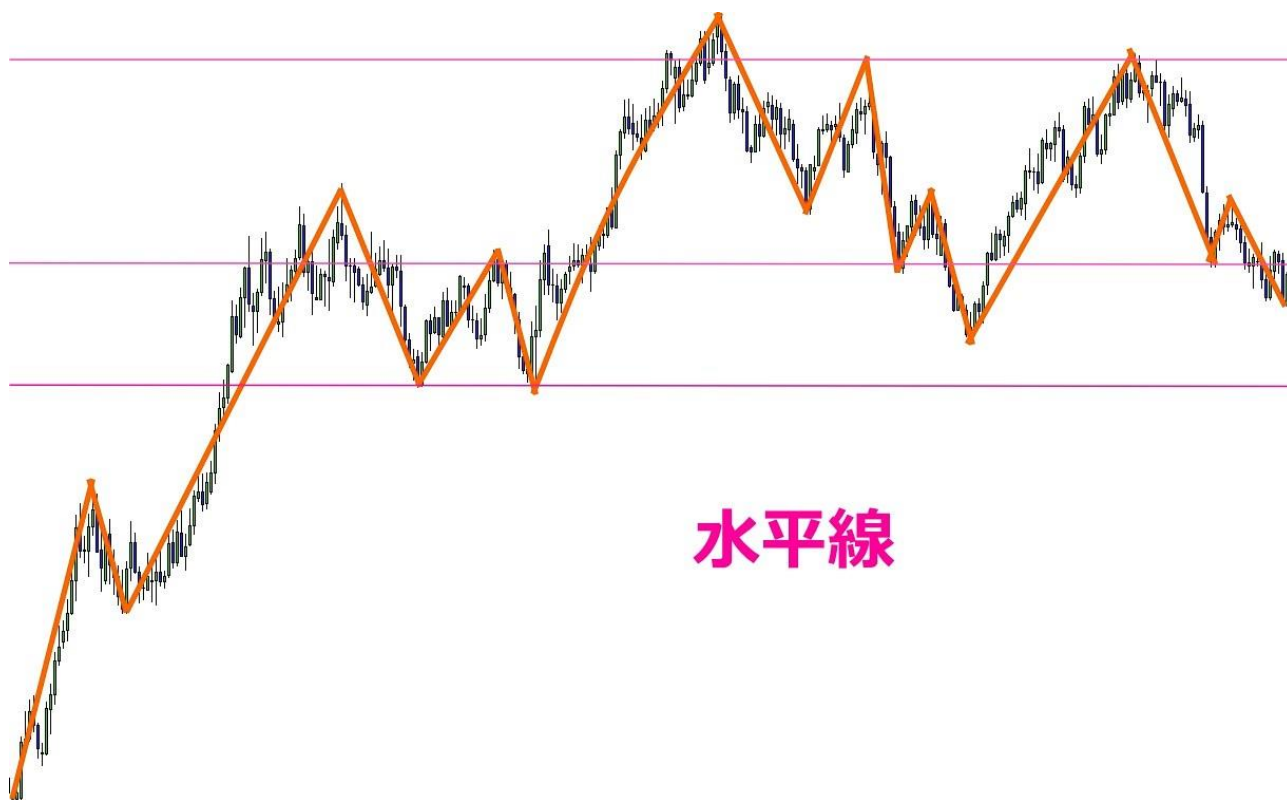
この「止まる」の部分をFXでは「反発する」といい、下から上昇をきてきて上げ止まった箇所を「レジスタンス」、上から下降してきて下げ止まった箇所を「サポート」と言います。

- 下から上昇をきてきて上げ止まった箇所→「レジスタンス」
- 上から下降してきて下げ止まった箇所→「サポート」

下のチャートでは、赤色部分がサポート、紫色部分がレジスタンスになります。



この「サポート」や「レジスタンス」が同じレート上に 2 か所以上ある所に横線を引いたものを水平線といいます。

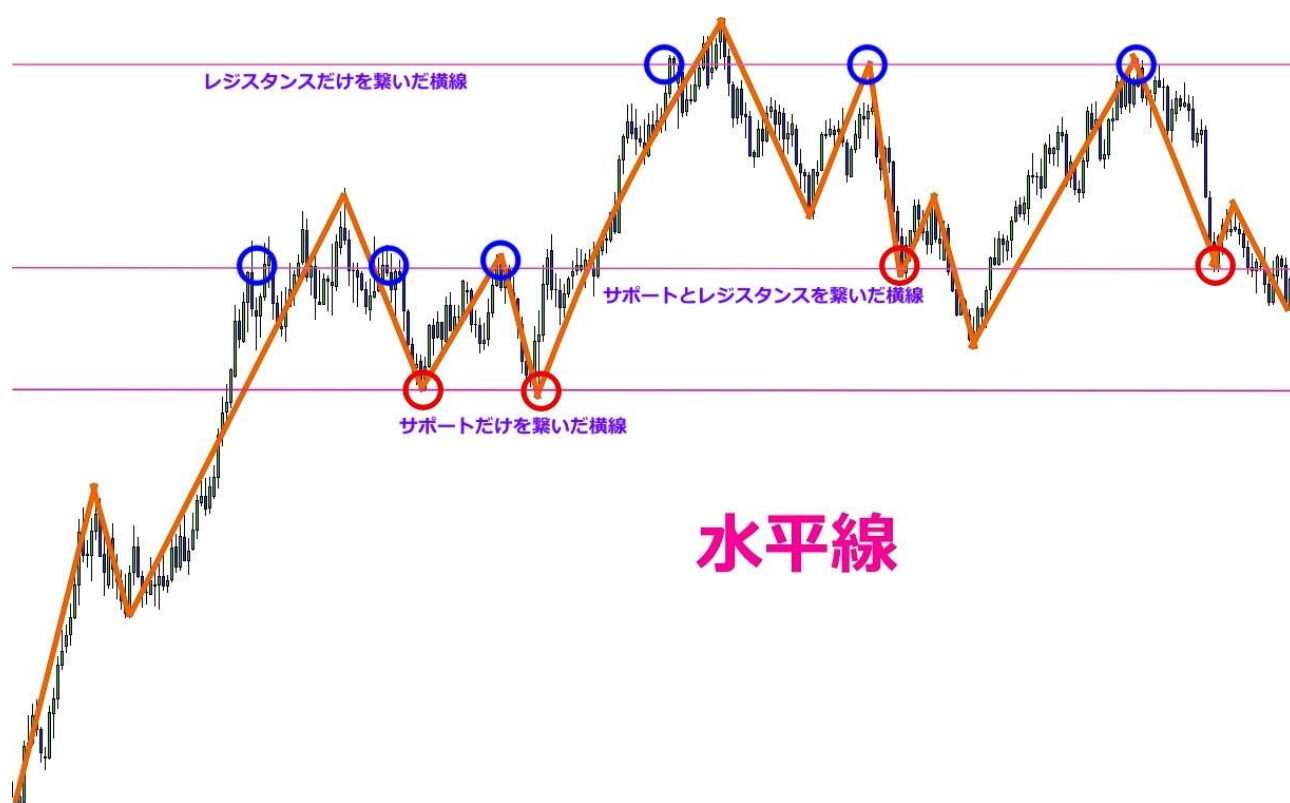


上のチャートの 3 本の横線のことを「水平線」と呼びます。

組み合わせは、

- ①サポートだけを繋いだもの
- ②レジスタンスだけを繋いだもの
- ③サポートとレジスタンスを繋いだもの

の3種類ありますが、いずれも水平線です。



水平線の正しい引き方

水平線とはどういうものか分かりましたね。

そうしたら次のステップ「水平線の引き方」をマスターしましょう。

まずチャートを1つの時間足だけ表示します。



次に、現在レートが右端ギリギリになるようにします。



MT4 の下の赤枠で囲ったアイコンを数回押すと、チャートが左右に動いて現在レートが右端ギリギリになります。



ここまで整いましたら、反発している箇所に水平線を引いていきます。

見る順番は、チャートの左端からです。



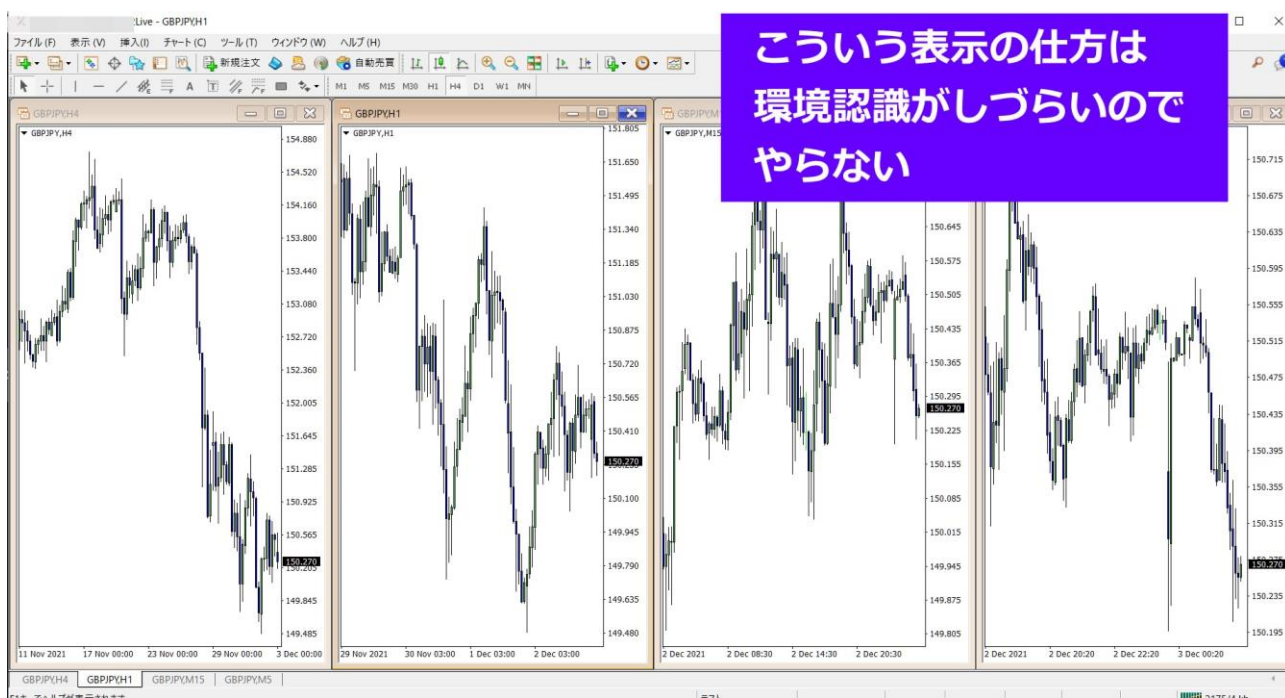
あとは、ローソク足が反発している箇所に引いていきます。



横線を描画するには下のアイコンを押してから、引きたい箇所の上で左クリックをすると横線が表示されます。



ここでのポイントは、複数の時間足や複数の通貨ペアのチャートを同時に表示しないようにします。



水平線だらけ？

2回同じレートで反発したら水平線は引けます。

相場にもよりますが、水平線は引こうと思えば色々な箇所に引けます。

実はこれがトレードで勝ちにくくなる原因になっている場合があります。

「ここも引ける」

「あっここも引ける」

「ここにも?!」

と、何本も引いてしまうと、水平線だらけになりチャートが見づらくなってしまいます。

水平線と一緒に、トレンドラインや MA などを表示する方もいらっしゃると思いますが、そうするとさらに、チャートがごちゃごちゃになってしまいますね。

相場を見やすくするために引いた水平線が
逆に相場を見づらくしている、なんてことになりかねませんので、

水平線は引ける場所全てに引くのではなく効く水平線だけを数本引くようにしましょう。

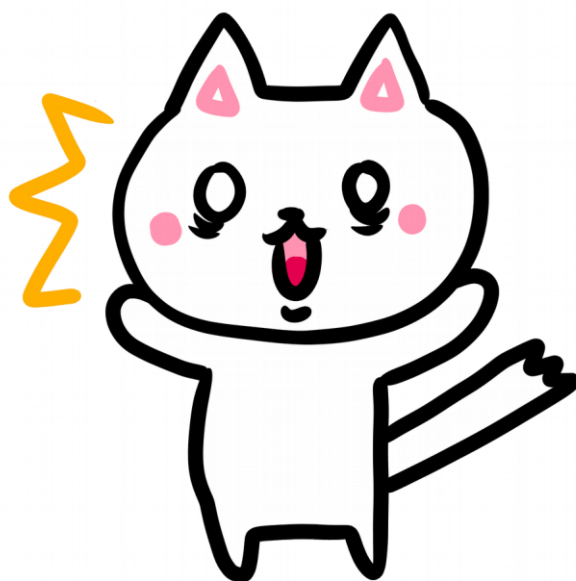
例えば、下のチャートは悪い水平線の引き方の例です。



1つのチャートに12本も引かれています。

水平線があるとローソク足が反発されやすいので、こんなに引かれていると、エントリーしようと思ってもすぐに反発されそうで躊躇してしまいますね。

引きすぎです。



効く水平線を引くコツ

やみくもに水平線を引いてはいけないのが、お分かりいただけたと思います。

次に、効く水平線を引くコツについてお伝えしますね。

それは、下のような事を意識して引くことです。

■ 効く水平線を引く 1 2 つのコツ

- (1) 過去に何度も反発している場所に引く
- (2) サポートとレジスタンスの両方が効いている場所に引く
- (3) 損切注文が溜まっていそうな場所に引く
- (4) レンジの真ん中には引かない
- (5) 1 時間足、4 時間足、日足、週足で引く
- (6) 1 つのチャートに 3 ~ 4 本引く
- (7) 現在レートの上に 1 本、下に 1 本引く
- (8) 3 回以上反発を見つける
- (9) ラインが引ける場所と他の根拠と重なっている
- (10) 長期の流れと同じ方向
- (11) マイナー通貨ペアとメジャー通貨ペア
- (12) 影響力の大きな指標

1 つずつ

解説していきますね。

水平線を引くコツ（１）過去に何 度も反発している場所に引く

反発すればするほど、段々とそのレートを意識するトレーダーが増えていきます。

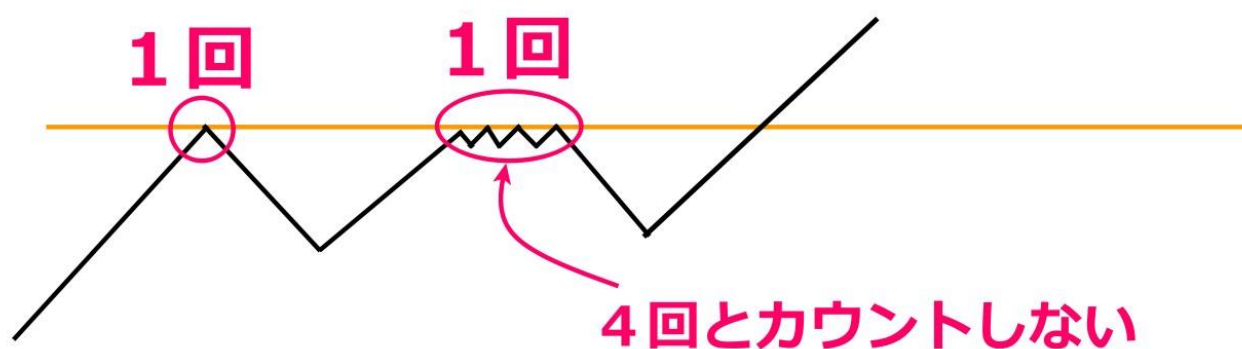
1 回目の反発はまだラインが引けず、2 回目の反発では、水平線としての認識が市場参加者の中でも弱く、3 回目から意識されやすくなります。

何度も同じレートで反発している箇所があれば、今度そのレートに到達した時に反発する可能性が高くなりますので、そういったレートにはしっかりと水平線を引いておきましょう。

反発のカウント方法

水平線での反発カウントの仕方としては、ピンポイントで反発した場合は1回とカウントします。

そして、短時間で何回も反発した場合はそれらをまとめて1回とカウントする場合があります。



上の画像の場合、2回目の反発は小さく4回反発していますね。

こういう場合は、4回と数える場合もありますが、今回のように、水平線の反発回数から抜けるタイミングを見る場合、まとめて1回のカウントとします。

水平線を引くコツ（２）サポートとレジスタンスの両方が効いている場所に引く

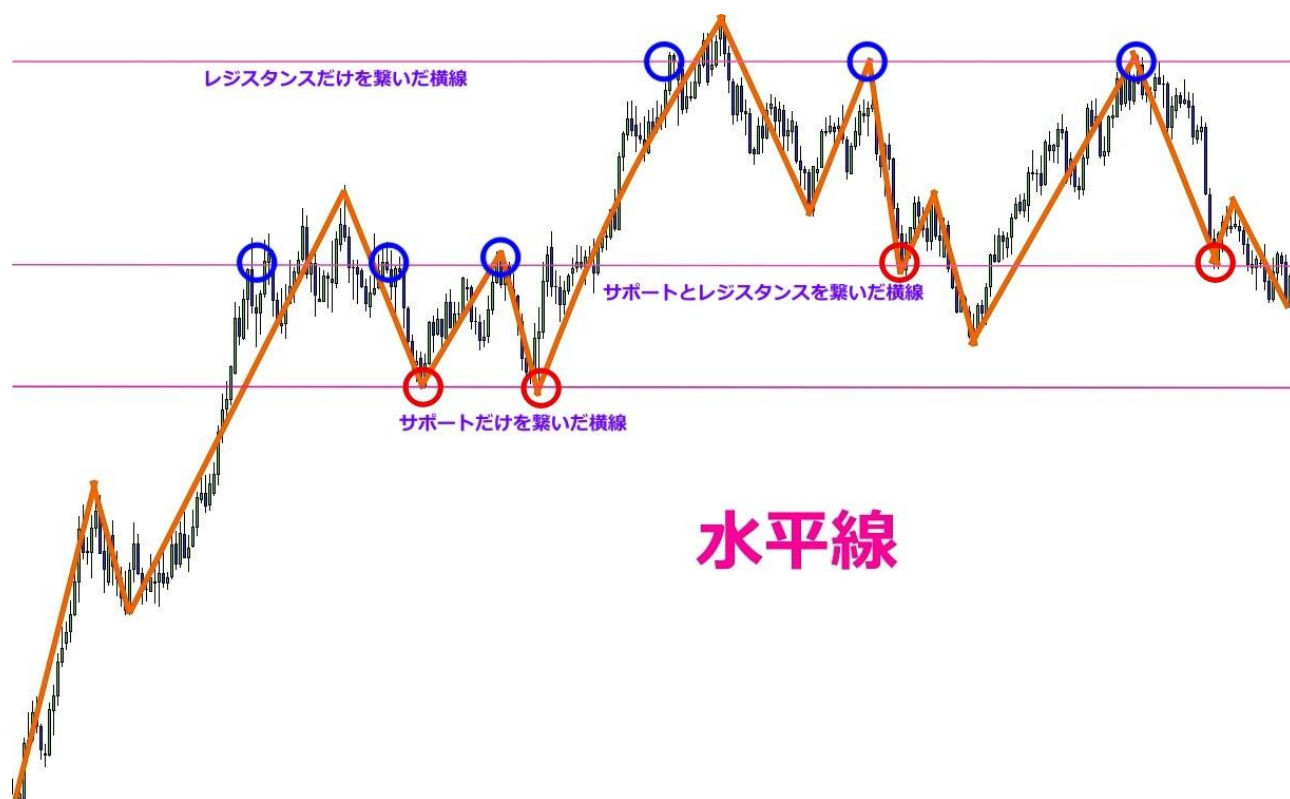
サポートだけしか反発していない場合や、レジスタンスだけしか反発していない場合でも、水平線として引くことはできますが、そういった水平線はたとえ反発している回数が多くても効く水平線とは言えない場合があります。

どんな場合かと言うと、例えばサポートだけしか反発していない水平線は、レジスタンスとしては機能しないことがありますし、レジスタンスだけしか反発していない水平線は、サポートとしては機能しないことがあります。

強い水平線を引きたいなら、上から落ちて来た時にも反発していて、下から上がってきた時にも反発しているようなレートに引くようにしましょう。

「サポレジライン」や「レジサポライン」、「サポートレジスタンス」など呼びます。

つまり、下のチャートの真ん中の「サポートとレジスタンスを繋いだ横線」が効きやすい水平線です。



1番上と1番下の「レジスタンスだけを繋いだ横線」や「サポートだけを繋いだ横線」も効いていますが、精度は真ん中の「サポートとレジスタンスを繋いだ横線」よりも低いと考えて下さい。

水平線を引くコツ（3）損切注文が溜まっていそうな場所に引く

損切注文が溜まっている場所に水平線が引けると、結構な確率で跳ね返されます。

これを見分ける簡単な方法があります。

チャートで見てみましょう。

現在レートが右端ギリギリになるようにしてから



現在、

「もし自分が買いエントリー中なら、ここに損切注文を設定するだろう」「もし自分が売りエントリー中なら、ここに損切注文を設定するだろう」

という場所に水平線を引いてみてください。

その後、今引いた水平線は、過去に何度か反発している箇所があるか確認してみてください。

もし何度か反発しているなら、あなたが引いたその水平線はその後効く可能性があります。

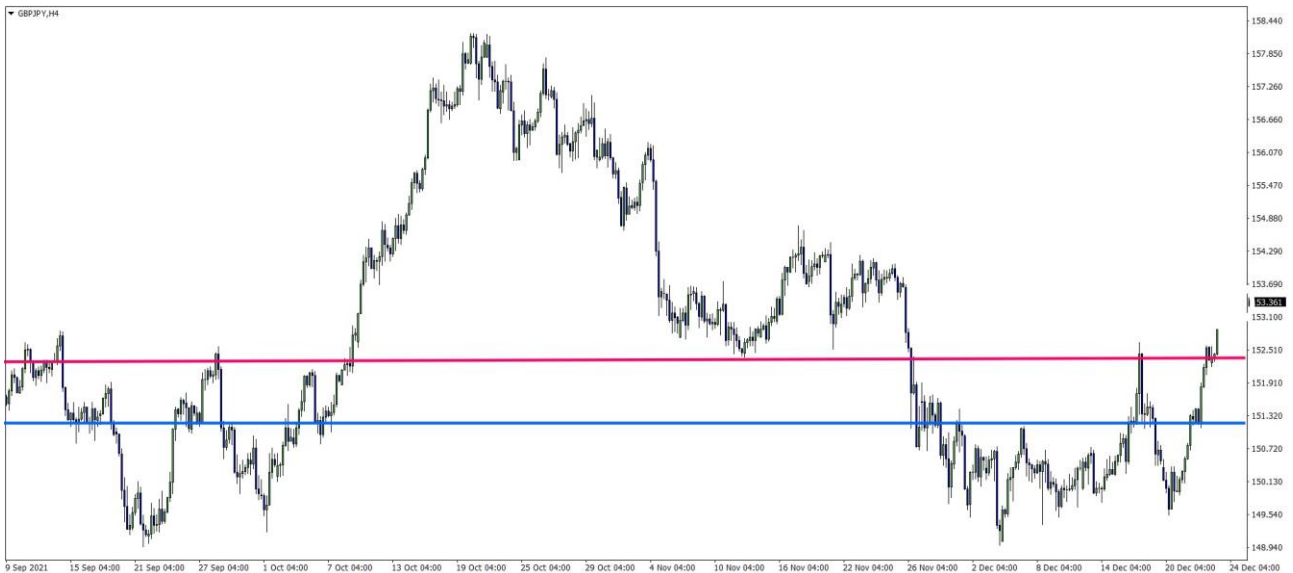
例えば、下のチャートの A の場所であなたが買いエントリーを入れたとすると、どこに損切注文を入れますか？



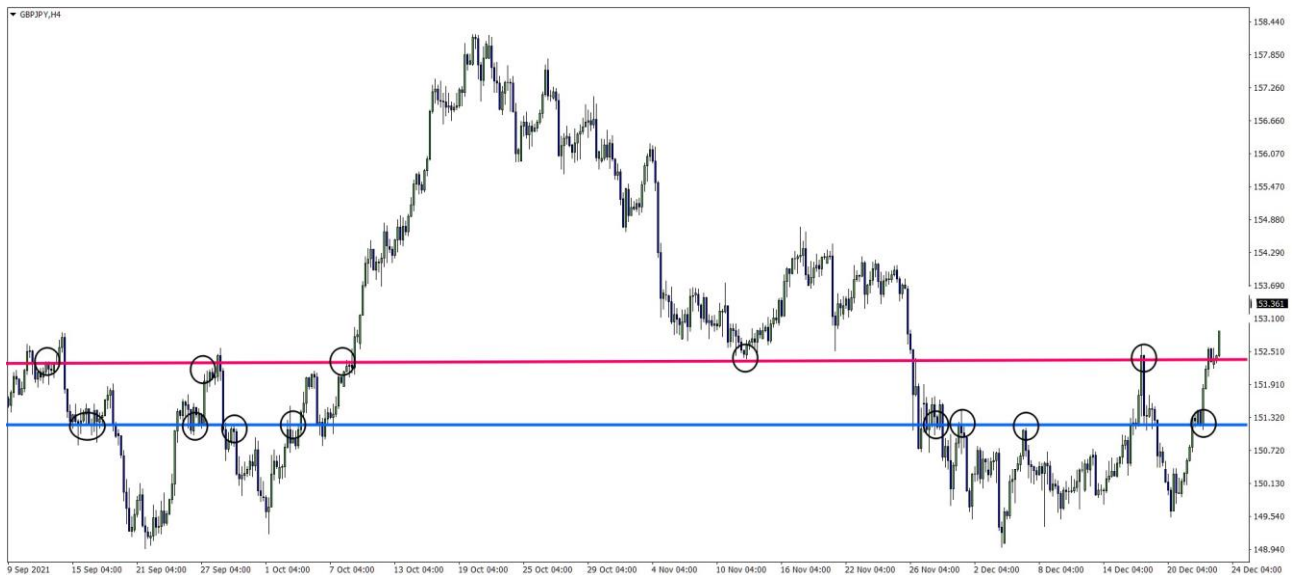
ダウ理論を理解しているならおそらく赤線か、もしくは、損切位置が近すぎると思うなら青線に入れるのではないのでしょうか？



赤線と青線の線をもうすこし横に延ばして水平線を引いてみると下のようになりました。



では、先ほどの手順どおりに今引いた水平線は、過去に何度か反発している箇所があるか確認してみましょう。



反発している箇所に丸で囲んでみました。

こうやって見てみると、赤の水平線も青の水平線も過去に複数回、反発していますね。

このことから、どちらの水平線も効く水平線ということが分かります。

つまり、この後ローソク足が下落した時に、赤い水平線や青色の水平線の所まで到達するとしたら、反発して上昇しやすいということになります。

そのため、この2本はこのまま引いたままにしておき、次にローソク足が到達したら買いエントリーなどを狙うことが出来ます。

損切注文が溜まりやすいポイントとして、他にもあります。

覚える事たくさんですが、載せておきますね。

下の3点も注目してください。

- ・ダブルトップやダブルボトムのネックライン
- ・分かりやすい高値や安値
- ・レンジの上限と下限
- ・押し安値と戻り高値



注目!

・ダブルトップやダブルボトムのネックライン

先ほどの赤の水平線は実は
「ダブルトップのネックライン」です。

もう一度チャートをご覧ください。



どうでしょうか？

大きなダブルトップがあったのですが、あなたは、気付きましたか？

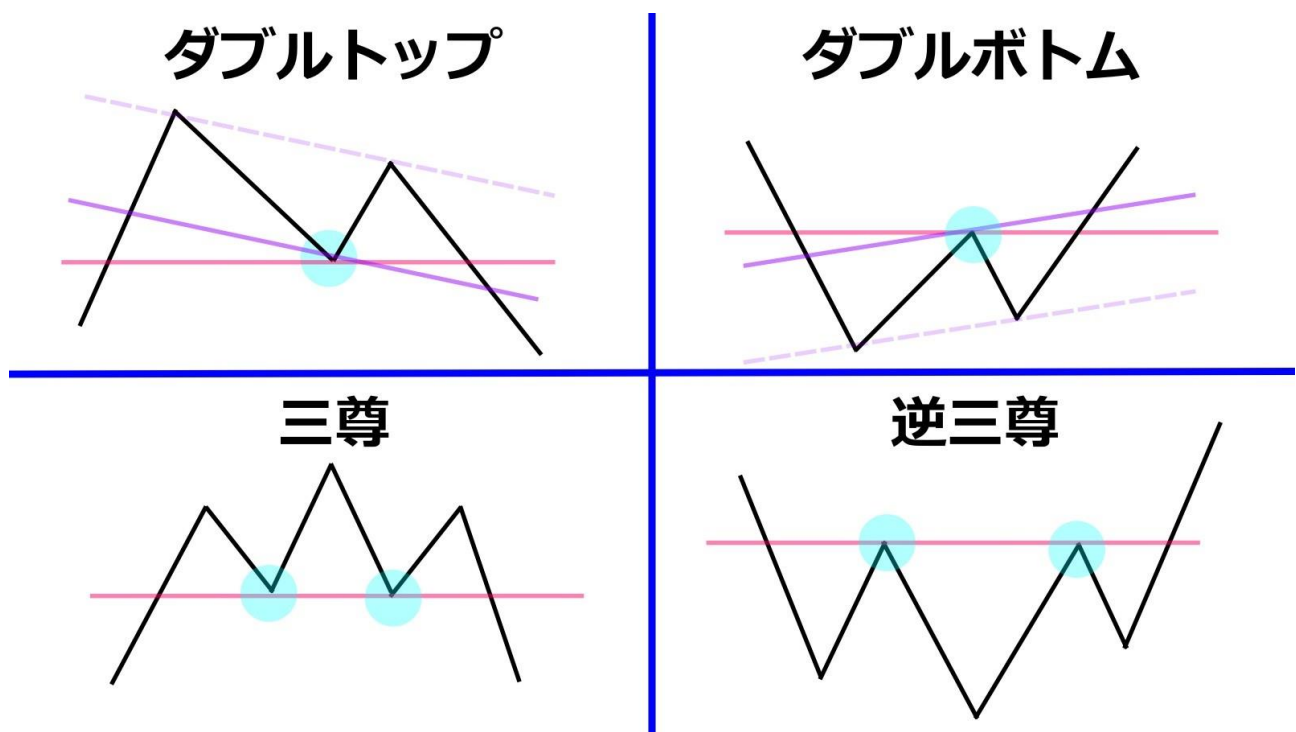
赤の水平線はこのダブルトップのネックラインと合致します。

ネックラインは、

- ・ダブルトップ
- ・ダブルボトム
- ・三尊
- ・逆三尊

この4種類のチャートパターンで出現し、下の画像の、「紫の実線ライン」と「ピンクライン」がそれにあたります。

※紫の破線はネックラインの角度を取るためのラインです。



ネックラインの引き方は2種類あります。

まず、凹凸部分（水色の丸）に真横にラインを引いたものが「ピンク色のネックライン」です。

もう1つ「紫色のネックライン」がありますね。

これは、ダブルトップなら高値同士、ダブルボトムなら安値同士を結んだ破線の平行ラインを同じく凹凸部分（水色の丸）に当てたラインが紫のネックラインになります。

紫色のネックラインの引き方を知らない方も多いですが、こちらトレードに使える大事なネックラインですので一緒に覚えておきましょう。

・分かりやすい高値や安値

「分かりやすい高値や安値」は、先程のチャートですと以下のような場所です。



分かりやすい高値



分かりやすい安値

誰が見ても分かる安値と高値ですね。

こういうラインは、多くの参加者が意識しますので引いておくのも良いでしょう。

・レンジの上限と下限

そしてレンジにはいくつか種類がありますが、上下の高値と安値が揃っていて一定の幅で繰り返しローソク足が動いている、いわゆるボックスレンジが出現した場合はチャンスです。

この場合、レンジの上限と下限に引いた水平線は、この後効きやすくなりますので見つけたら必ず引くようにしましょう。



レンジの上限と下限に引いた 2 本の水平線

水平線を引くコツ（４）レンジの真ん中には引かない

レンジ相場で気を付けることは、レンジの真ん中に水平線を引かないことです。



レンジの上限と下限に青の水平線、真ん中に紫の水平線を引いたチャート

レンジの種類によっては、ちょうど真ん中あたりに綺麗に水平線が引けることがありますが、我慢して上限と下限の2本のみ、引きます。

理由は簡単です。

この後「エントリーのやり方」について学んでいきますが、それを習得すると、水平線が引いてあると、そこでエントリーしたくなってしまうからです。

しかし、相場の原理原則の観点からレンジの真ん中から売りエントリーや買いエントリーをすると負けやすくなりますので、初めからレンジの真ん中には水平線を引かないと決めておくのが得策です。

これだけでも負けトレードが激減するので、必ず徹底するようにしてください。



レンジの上限と下限だけに青の水平線を引いたチャート

上のチャートのように、レンジの場合は上限と下限に1本ずつ引くのが正解です。

・押し安値と戻り高値

トレンドが出ている時の押し安値と戻り高値の下には損切注文がたくさん溜まっています。

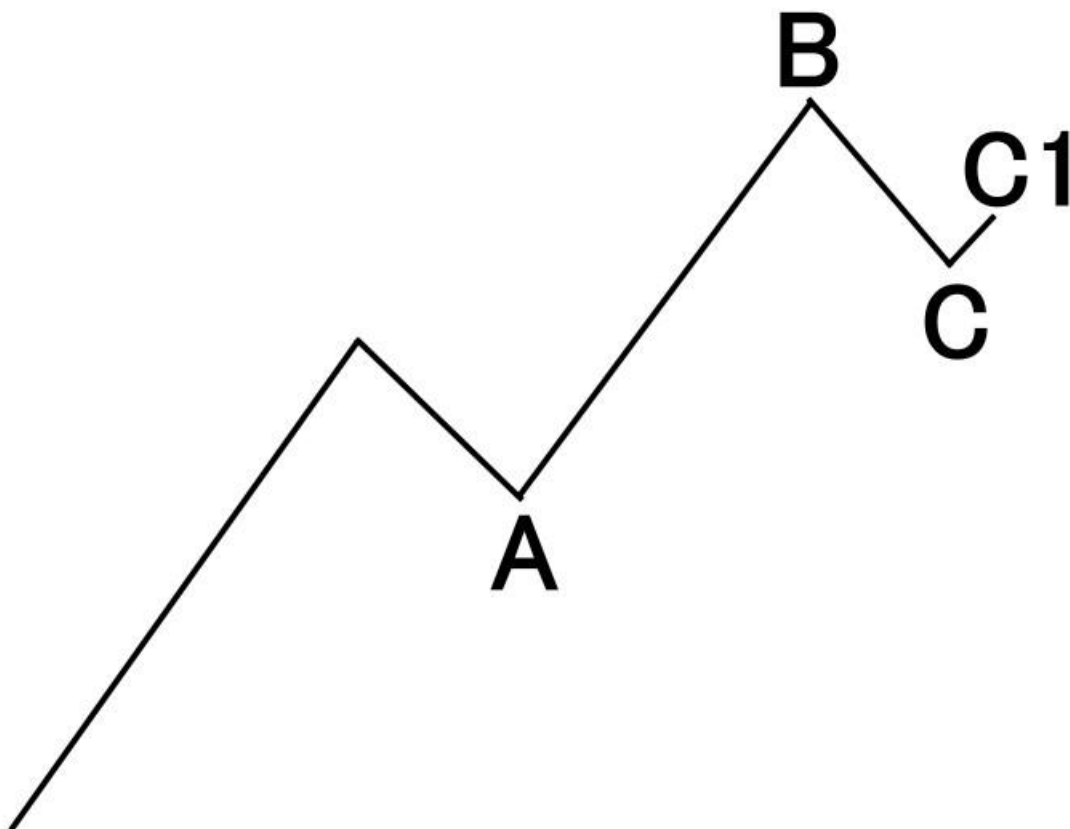
分かりやすいように、図で解説します。

下の図はアプトrendを形成中の相場です。

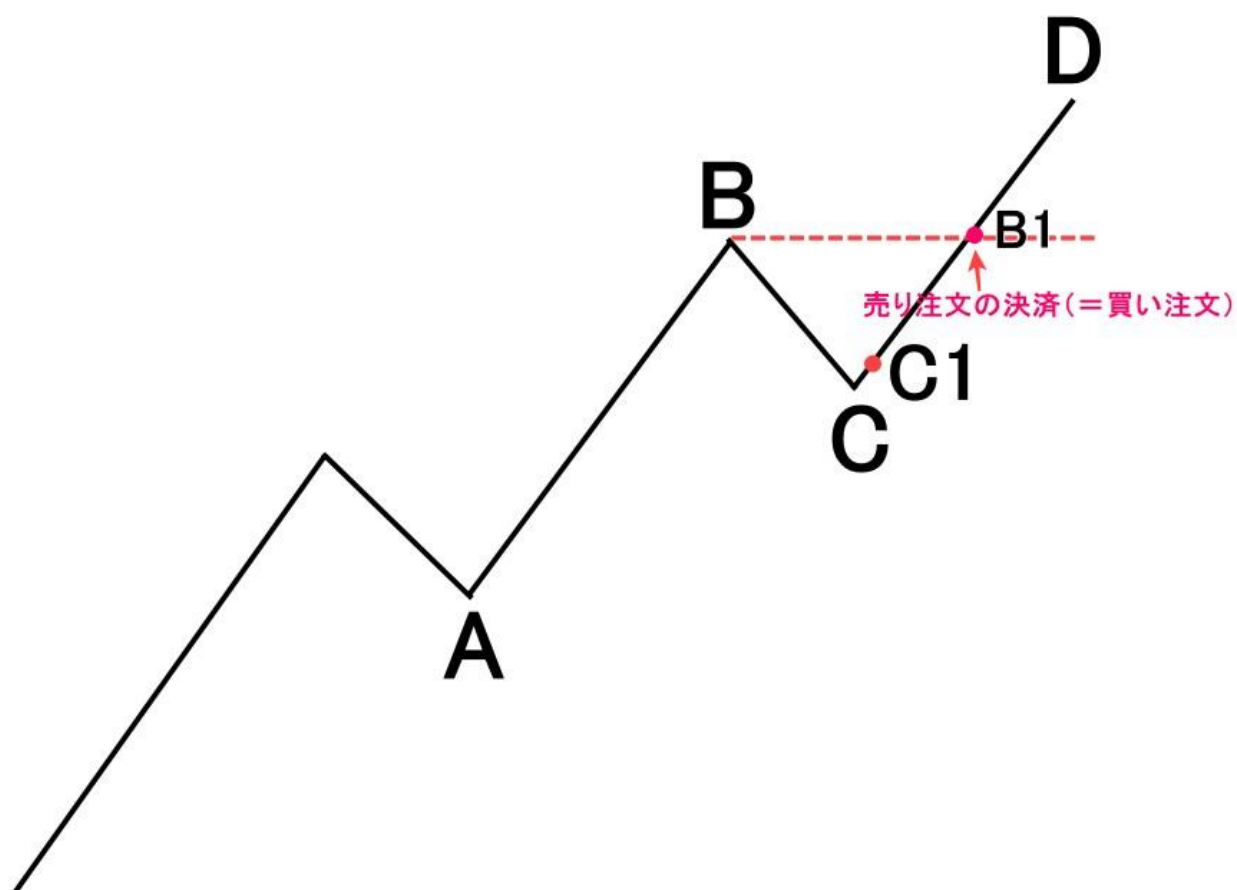
Bより下で買いエントリーをした人は含み益が出ていますね。

Bまでにエントリーできなかったトレーダー達も、Cまで少し落ちて来たので、「押し目になりそうだな。今度こそ買おう！」ということで、少し上がったC1で新規の買いエントリーをします。

C1で買い注文をした人達は損切注文をCの少し下に入れます。



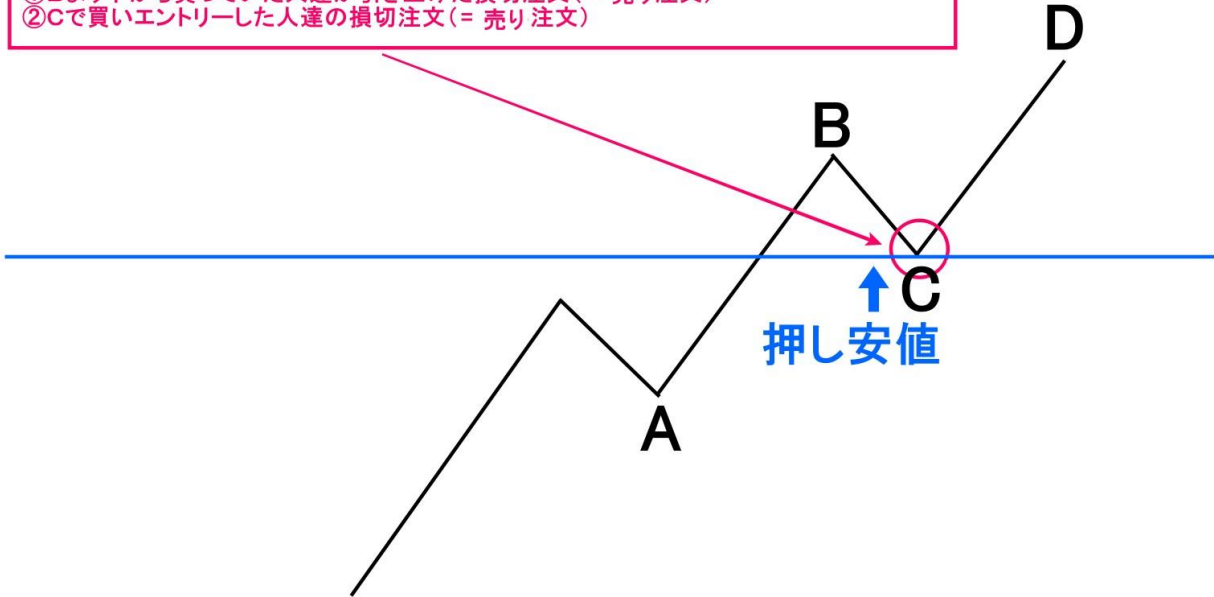
これらの買い注文によってレートはさらに、B を超えて行き、B の高値を考慮して B 1 のあたりで逆張りの売りエントリーをした人達の損切注文の決済（つまりは、買い注文）も追加され、グングンと D まで上昇しました。



この時点で、B より下から買いエントリーをしていた人達は損切位置を C の少し下にズラします。

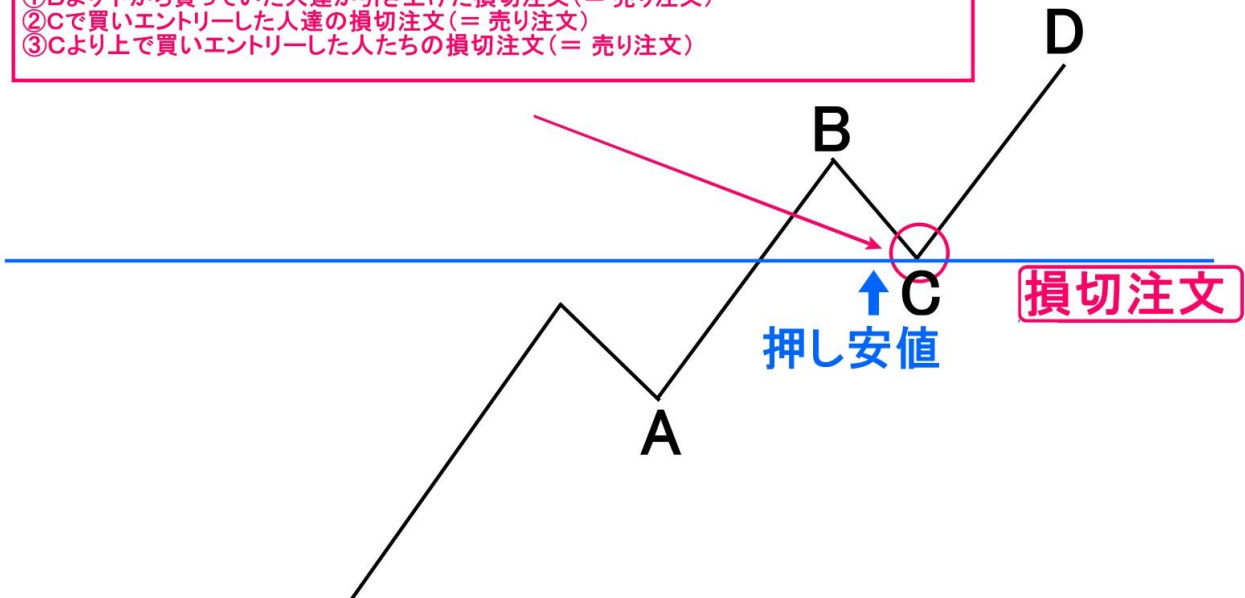
つまり、この時点で **C には 2 種類の損切注文が集中しています。**

- ①Bより下から買っていた人達が引き上げた損切注文(= 売り注文)
- ②Cで買いエントリーした人達の損切注文(= 売り注文)



さらに、Cより上で買いエントリーをした人の損切位置はどこでしょうか？例えばDで買った人の損切位置はどこかという、やはり直近安値のCの少し下ですね。

- ①Bより下から買っていた人達が引き上げた損切注文(= 売り注文)
- ②Cで買いエントリーした人達の損切注文(= 売り注文)
- ③Cより上で買いエントリーした人たちの損切注文(= 売り注文)

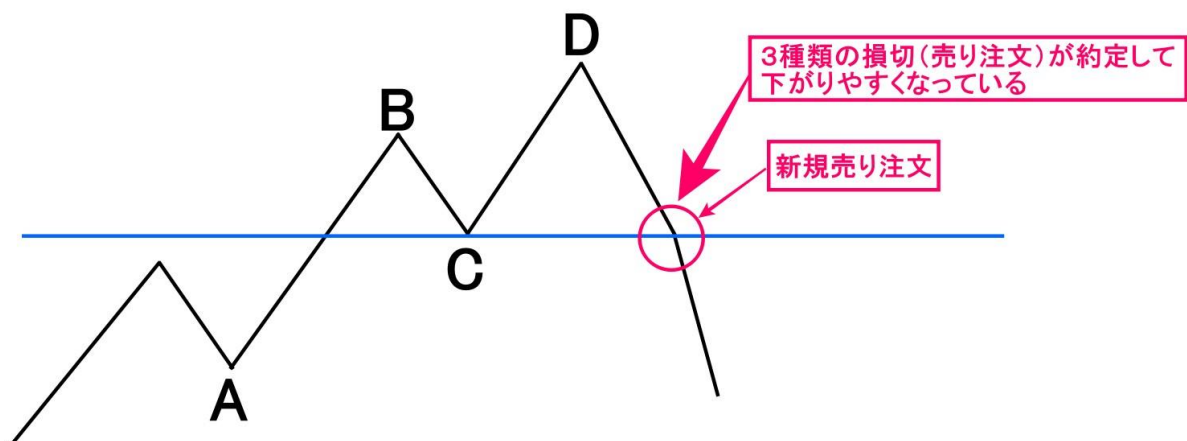


この状態で C のレートまでローソク足が落ちて来た場合、①と②と③の 3 種類の損切注文が決済されるので、売り注文が入り、下落しやすくなっています。

これらの流れが分かったあなたは、この損切が溜まっている C に水平線を引いておき、大量の損切が決済されるココから、便乗して**新規で売り注文を入れれば良い**のです。

なぜなら、3 種類の損切注文と、新規の売り注文が重なり、ローソク足は**大きく下落する可能性が高まるからです**。この現象は、「分かりやすい押し安値」ほど、起きやすいです。

このように、損切を巻き込んで急落する場所のことを「レートが走る場所」と表現します。



C というのは、**押し安値**です。

この現象は、高値を更新する度に続きますし、これはダウトレンドでも同じで、その場合の C の役目は**戻り高値**です。

そして、押し安値と戻り高値はダウ理論の定義で、**抜けてしまうとトレンドが崩れるポイント**なため、**多くのトレーダーが注目しているレート**です。

この理由からも、押し安値や戻り高値は絶好のエントリーポイントになり得るため、水平線を引くには最適の場所です。

水平線を引くコツ（５） 1 時間足、 4 時間足、日足、週足で引く

水平線は大きな時間足で引いた方が多くのトレーダーが引く為、意識されやすく、効きやすい水平線になり、トレードで使えば反転ポイントでエントリーすることもできます。

一方、1 分足に水平線を引くトレーダーは少ない為、せっかく引いても反発しないことも多く、トレードで使うと負ける原因になりますし、「だまし」にあうことも多いです。

例えば日足は、スキャルピング、デイトレード、スイングトレードをする全ての人達が見ています。これはお分かりですね。

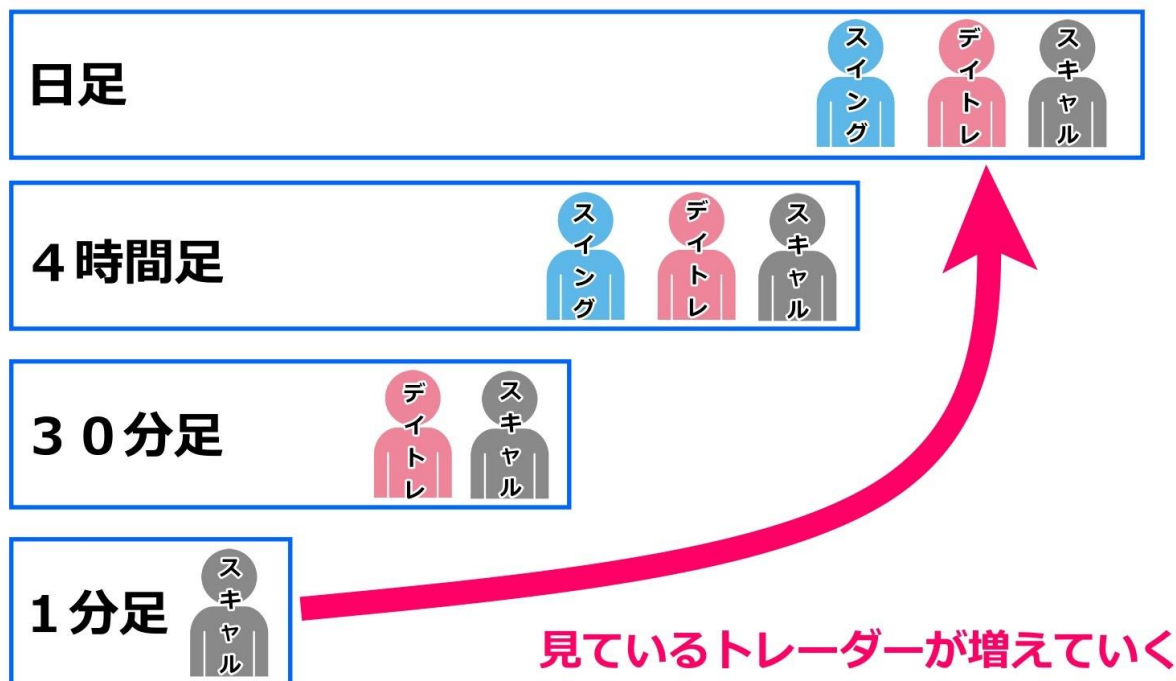
そして4 時間足も同様に、スキャルパー、デイトレーダー、スインガーの人達は見えています。

しかし、30 分足となると、スインガーは見えていないことが多いです。理由は、もっと大きな規模でトレードをしているからです。

そして1 分足はというと、デイトレーダーもスインガーも見えていません。むしろ、ノイズとすら思っているでしょう。

1 分足をしっかり見ているのはスキャルパーだけです。

図に表すと下のようになります。



このように大きな足ほど、多くのトレーダーがみており、小さな足へ行くほど意識しているトレーダーがいなくなりますので、当然大きな時間足に引いた水平線の方が効くということになります。

小さな時間足に引きたい場合は引いても構いませんが、それだけでトレード判断するのではなく、必ず、1時間足や4時間足、日足、週足にも引くようにしましょう。

※1時間足、4時間足、日足、週足の4つの全てのチャートに引く必要はありません。

私は、1時間足や日足でよく水平線を引いています。

水平線を引くコツ（6） 1つのチャートに3～4本引く

水平線を引く目安の本数は、1つのチャートに3～4本です。
これ以上引くと、チャートが見づらくなりますのでおススメできません。

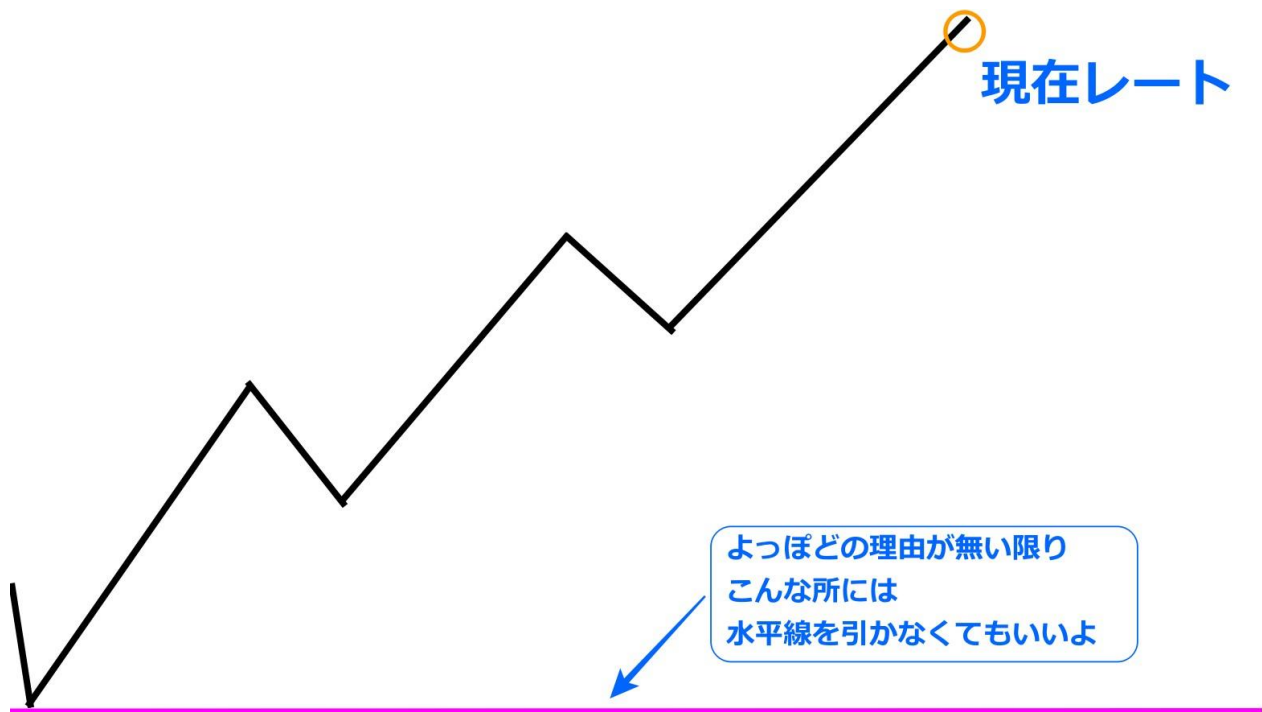
現在レートから、かけ離れた箇所に水平線を引く方もいらっしゃいますが、それを見るたびに

「そこ、必要あるかな？」

「そこに到達するまであとどのくらいかかるかな？」って聞くとみなさん、無言になります。

水平線を引く目的は、トレードをするためです。

「水平線が引けるから、どこでも引く」ではありません。



水平線を引くコツ（7） 現在レートの上に1本、下に1本引く

では、たくさん引けてしまった水平線のどれを残して、どれを消すべきか？
についてですが

まず、レートが上昇する場合のシナリオ用に、現在レートよりも上に1本と、レートが下降する場合のシナリオ用に、現在レートよりも下に1本の合計2本を引きます。

例として、押し安値や戻り高値、そして直近高値や、直近安値に引くのも良いでしょう。

その他、ダウ理論で考えた場合のトレンドが崩れる場所や、ここはどうしても引いておきたいという場所がある場合は、チャート画面全体に表示される水平線が4本よりも多くなならない程度に引くことは問題ありません。

ただし、5本以上引くのは、チャートが見つらくなりますのでやめましょう。

先ほどのチャートなら、このように引くと良いでしょう。



水平線を引くコツ（8） 3 回反発を見つける

（1）でお伝えしたように、何度も反発しているレートというのは多くのトレーダーから意識されている可能性が高いです。

しかし4回目あたりから、サポート力、レジスタンス力が弱くなっていくのも事実なので、4回目以降、スパッと反発せずに、モジモジと横ばいになるレンジを作るようになったら反発せずに抜ける可能性が高いので、この場合は注意が必要です。

ラインは永遠に効くわけではありません。

必ず、効かなくなるタイミングが訪れます。

上のようなモジモジが現れた場合は、その兆候とみることもできます。

つまり、3回目が1番反発を期待でき、エントリーに最適です。

もちろん、応用として決済としても使えます。

そして4回目以降は抜けやすくなります。

ということで、水平線を引く時は、「何回反発してるのか」も確認するようにしましょう。

水平線を引くコツ（9）ラインが引ける場所と他の根拠と重なっている

水平線が引ける場所と他の根拠と重なっている場合は、そうではない個所に比べて効きやすくなります。

それは、根拠が重なる場所＝注文が集中する場所だからです。

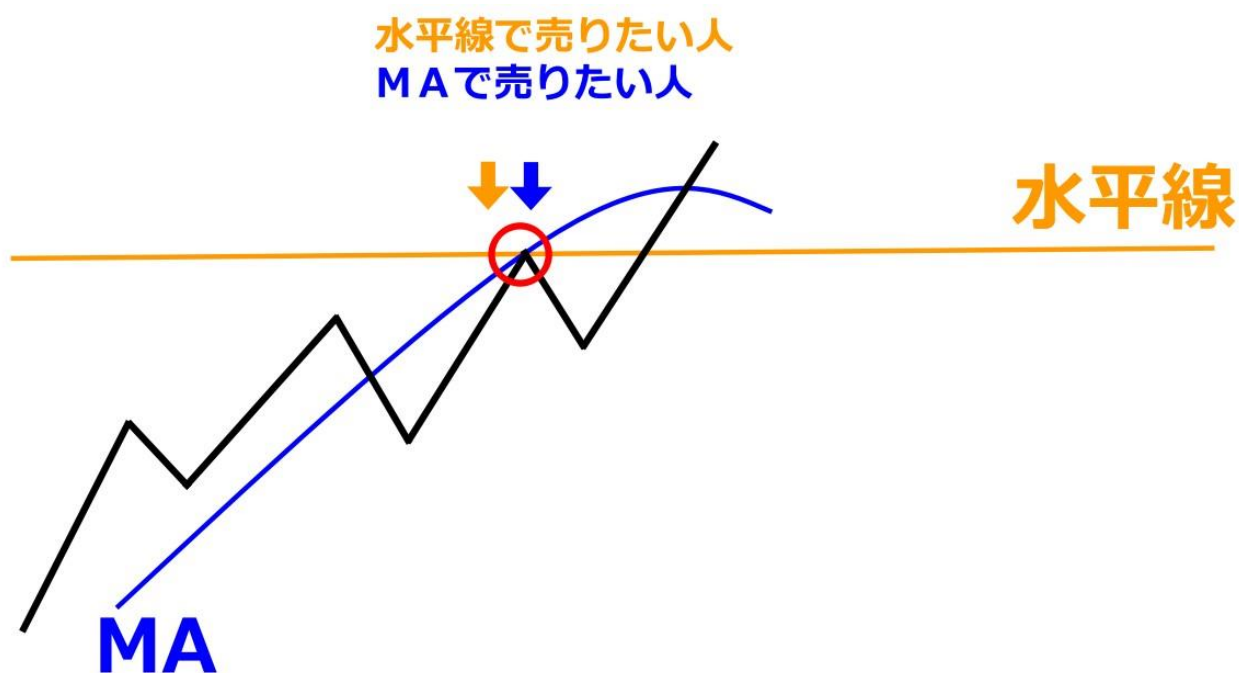
キリ番なども重なると水平線で反発しやすくなりますし、MA が重なる場所やトレンドラインが重なる場所などがそれにあたります。

※キリ番とは、「100 円」や「1.4600」など、レートの末尾が「00（ゼロゼロ）」になっているものです。

例えば、下の画像のように水平線と MA が交わる場合を考えてみましょう。

この場合、水平線でトレードしている人達と MA でトレードしている人達の 2 種類が「ここは売りだな」と思っています。

こういう場所は、通常よりも売りエントリーする人たちがいるわけですから、そのポイントは下落しやすいのがお分かりいただけるとと思います。



このように、MAなどを絡めて考えると、ローソク足が水平線に到達するタイミングによって、反発する場合と反応せずにそのまま抜けて行ってしまう場合があることもうなづけますね。

水平線を引くコツ（10）長期の流れと同じ方向

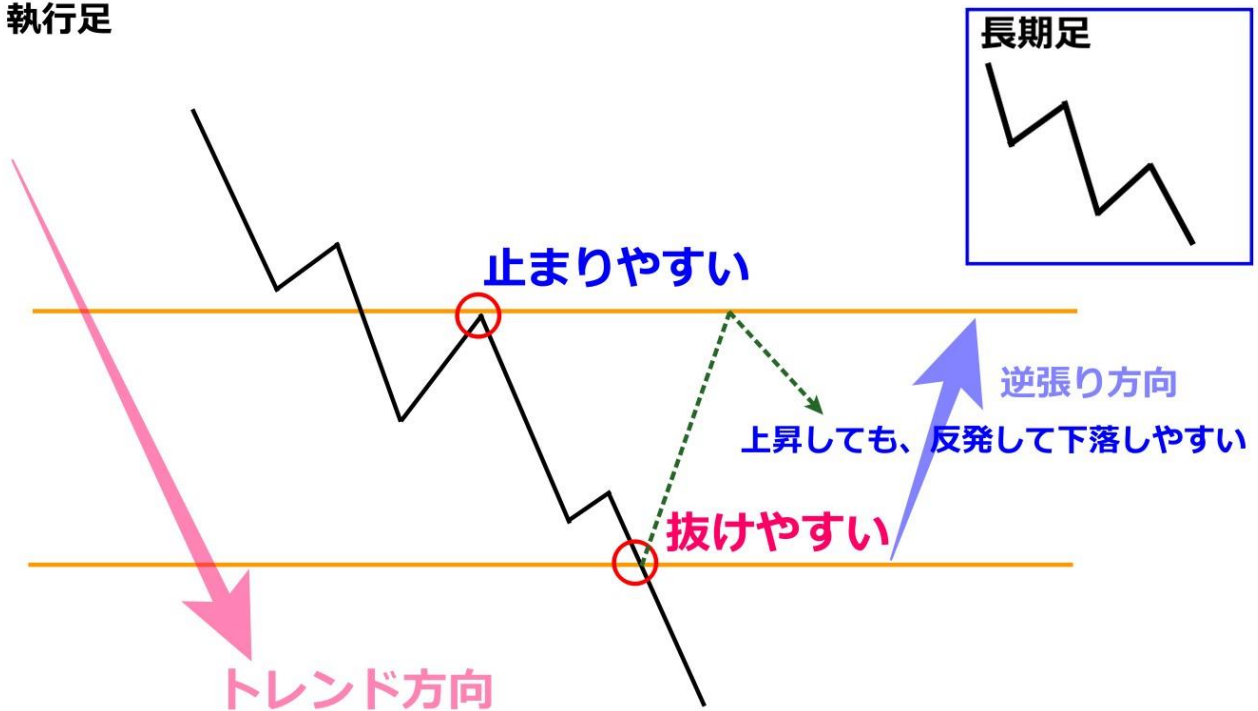
長期のトレンドと同じ方向にトレンドが出ている時にトレンド方向の先に引いた水平線はより強い流れが出ている為止まりにくく、その逆の時は止まりやすいです。

理由は、前者は逆張りになる形だからです。

これは図を見た方がわかりやすいですね。

例えば1時間足がダウントレンドで5分足もダウントレンドの時は、現在レートよりもすぐ下に引ける水平線は抜けやすく、現在レートよりも上に引ける水平線は反発しやすい傾向にあります。

執行足



2つ以上の時間足チャートのトレンドが同じ場合に、そのトレンド方向に水平線を引くことは問題ありませんが、引く場合は、止まるかどうかいつも以上に慎重に水平線での攻防を見守りましょう。

水平線を引くコツ（1 1）マイナー通貨ペアとメジャー通貨ペア

水平線が効くかどうかは、マイナー通貨ペアとメジャー通貨ペアによっても異なります。

メジャー通貨ペアの場合、多くの参加者がいるため水平線やフィボナッチチャネルや MA などテクニカルが効きやすくなります。

その反対に、マイナー通貨ペアは、そもそも参加者が少ないわけですからテクニカルが効きにくくなります。

当然、水平線なども反応しないことが多いです。

下にメジャー通貨ペアを載せましたので、参考にしてくださいね。

■メジャー通貨ペア

- ・USDJPY ・EURUSD
- ・EURJPY
- ・AUDJPY
- ・AUDUSD
- ・GBPJPY
- ・GBPUSD
- ・CADJPY
- ・USDCAD など

水平線を引くコツ（1 2）影響力の大きな指標

その他、影響力の大きなファンダメンタルズ要因で相場が動いた時は、水平線で止まらないことがしばしばあります。

例えば、以下の場合です。

- ・雇用統計
- ・戦争が起きそうなニュース
- ・戦争が始まった & 終わったニュース
- ・アメリカなどの影響力の大きい国の選挙
- ・地震

などです。

こういう場合は、水平線が効かなくなることを念頭に入れながら、スキャルピングなどでなるべくポジションを保有している時間（エントリーしてから決済するまでの時間）を短くするようにしましょう。

ファンダメンタルズが原因の急騰・急落が来た場合は、どれだけ効く水平線だったとしてもぶち抜かれてもおかしくありませんので、これを頼りにトレードするのはリスクが大きいということです。

近い値幅で水平線が引ける場合

似たようなレートで水平線が上下に2本引ける時があります。

例えば、ヒゲで引いた水平線とローソク足の実体で引いた水平線など、レートが近い場合があります。

どちらも過去に何度も反発している時は、どちらに引いたら良いか迷ってしまいますね。

そういう場合は、両方引いてゾーンとして捉えましょう。



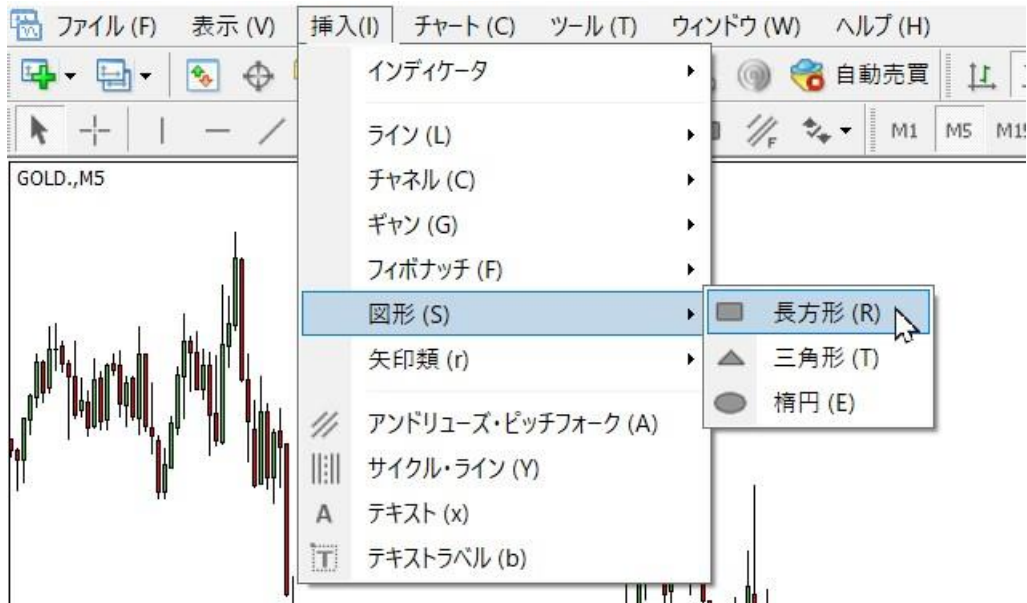
2本の水平線を引いた後に、真ん中の隙間を「長方形」で色を塗ると上のチャートようになります。

「長方形」は、MT4 の上のメニューバーにあります。



もし見つからない場合は、

「挿入」-「図形」-「長方形」で色を塗ることができます。



水平線の強弱を捉える

水平線は、大きな時間足で引ける水平線ほど、強いラインになります。

ですので、1時間足よりも4時間足、4時間足よりも日足で引いた水平線の方が反発力が強くなります。

このことを利用して環境認識にも反映させましょう。

一目で分かるように、**強い水平線ほど明るい色や太くします。**

例えば、背景が白色のチャートなら、

- ・15分足の水平線→黒色（1番細い線）
- ・1時間足の水平線→緑色（2番細い線）
- ・4時間足の水平線→水色（2番細い線）
- ・日足の水平線→赤色（3番目に細い線）

などです。



白チャートの水平線サンプル

背景が黒色なら、

- ・15 分足の水平線→白色（1 番細い線）
- ・1 時間足の水平線→DeepSkyBlue（2 番細い線）
- ・4 時間足の水平線→Lime（2 番細い線）
- ・日足の水平線→Yellow（3 番目に細い線）

などです。



黒チャートの水平線サンプル

いかがですか？

どの水平線が1番重要なのか、すぐに分かりますよね。

あなたも水平線を重要度別に、好みの色に変えてみて下さい。

水平線を環境認識に使う場合

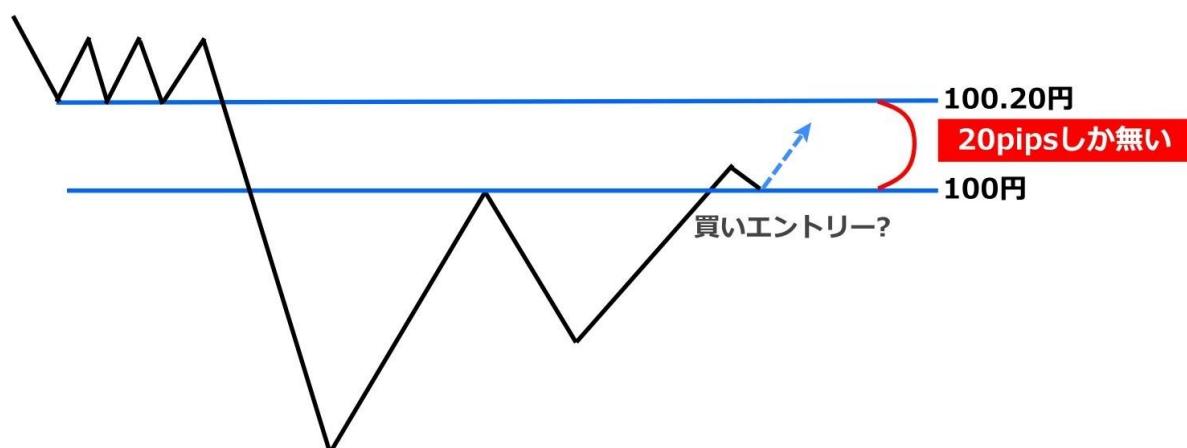
例えば水平線を環境認識に使うと、狙える値幅を確認することができます。

例を挙げますね。

ドル円で100円と100.20円に水平線が引ける場合を想定してみましょう。

この場合、狙える値幅は20 pipsしかありません。

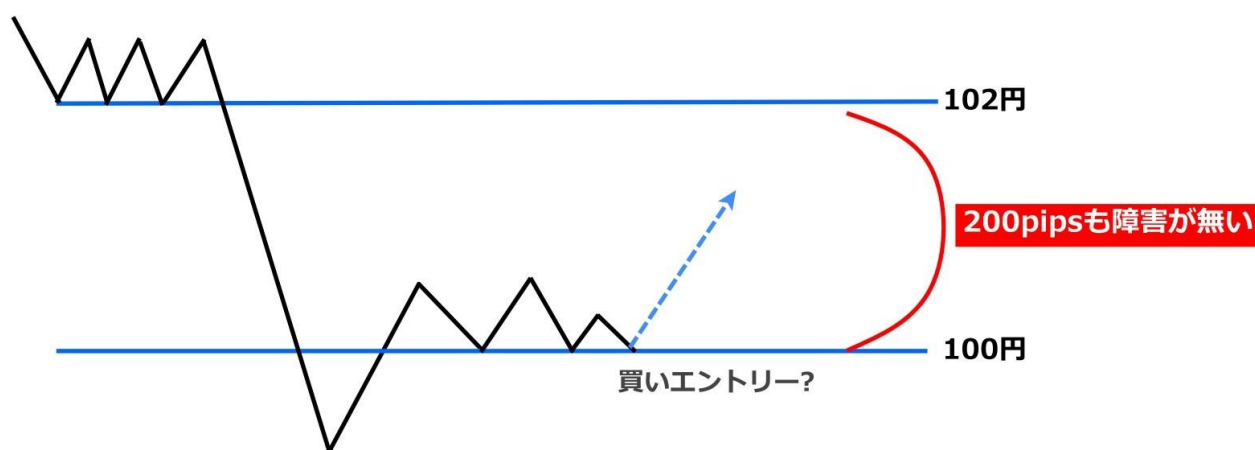
$$100.20 - 100.00 = 0.20$$



20 pipsしか狙えないということは、スキャルピングならまだ問題ないかもしれませんが、30 pipsや40 pipsを狙うようなデイトレードやスイングトレードはこの場合できないということになります。

一方、100 円に水平線を引いた後、102 円まで水平線が引けるような箇所が無い場合は、200pips もの間、反発する障害がないことが分かります。

そのため、大きな値幅を狙うことができます。



私がいつもエントリーする時に考える事の1つに、「リスクを負ってまでエントリーする価値があるか？」ということがあります。

そうすると、先程の20 pipしか狙えない通貨ペアと、この200 pipsも狙える通貨ペアが同じタイミングでエントリーチャンスが来たなら、200 pips 狙える通貨ペアの方にエントリーを考えます。

(もちろん、その他、チャートの形なども見ますが。。)

200 pips もあれば、あまり伸びなくても半分の値幅上がれば100 pips ですしね。

私の狙い方は、「**大きな値幅の中の少しを狙いに行く**」ということがあります。

つまり、200 pips の中の50 pips を取りに行く感じですよ。

先程の、全体で20 pips しかないところだと、1/4 にすると5 pips ほどになってしまいます。

スプレッドが広い通貨ペアだと3 pips など平気で取られますので、よっぽど魅力的でない限り、この通貨ペアを狙うのは、リスクでしかないですね。

このように水平線は狙える値幅を確認するのに便利ですし、あまりにも値幅が少ないようならトレードしないなど、トレード対象とするのか決める時にも使えます。

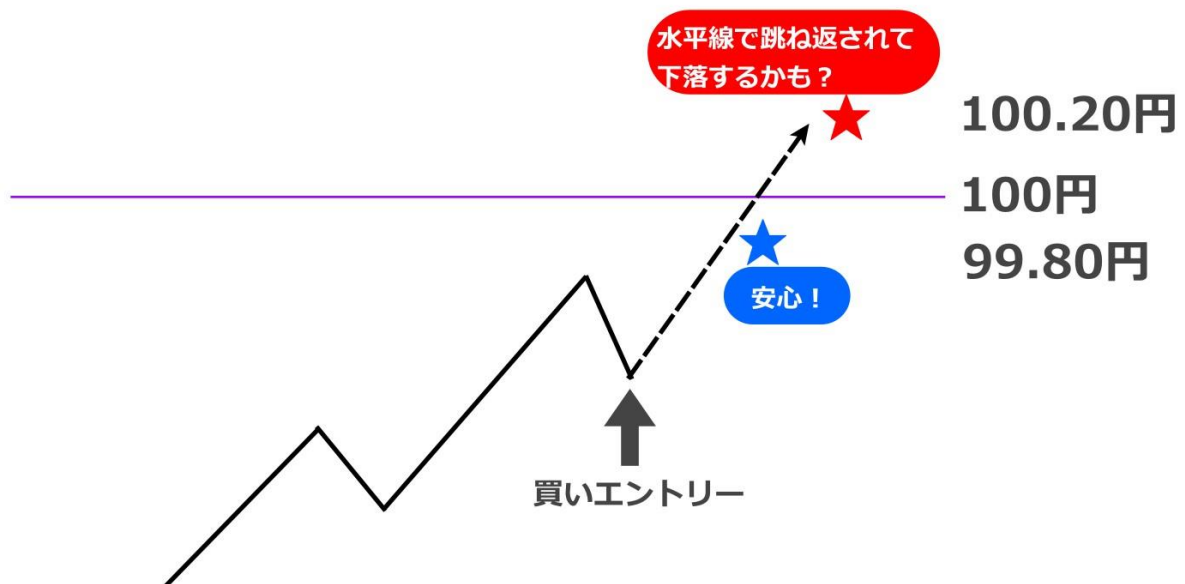
水平線を決済に使う場合

水平線は、決済でも使い道はあります。
それは、利確の目途に使えるということです。

例えば、この後上がるだろうと思い、ドル円で買いエントリーした場合この時もし、100 円に水平線が引ける場合は

100 円付近で反発して下落する可能性が高いです。

そうすると、100.20 円で利確注文を入れるよりは、99.80 円あたりに利確注文を入れておく方が安全に勝ちやすいことになります。



このように水平線は利確位置を決める時の目途にも使うことができます。

水平線の捉え方

勝てないトレーダーによくあるのが、水平線を 1 本のラインとして捉えてしまう事です。

例えば、ドル円の 100 円に水平線が引けるとしましょう。

ここで多くのトレーダーが勘違いするのは、「100 円にローソク足が来たら反発する」と考えてしまう事です。

実際は、100.20 円まで抜けてから反発するかもしれないですし、100 円まで到達せずに 99.80 円で下落してしまうこともあります。

ヒゲで抜けるけど、実体では反発するなんてこともありますね。

水平線は 1 本のラインではなく、水平線を引いたあたりをゾーンとして捉えて「**この辺りにきたら、反発する可能性もあるな**」くらいの捉え方が実践的で、私はいつもそうしています。

相場は型通りには動きません。

リアルトレードでは、ゾーンを意識しましょう。

水平線を自動で引く？

トレードを始めたばかりの頃は水平線がうまく引けない場合もあると思います。
そういう時は、自動で引いてくれるインジケーターを参考にしても良いと思います。

ただしあくまでも機械的に引いているだけなので、インジケーターを 100%信用するのはやめましょう。

インジケーターが引いた水平線は 1 本ずつ効いているのかどうか、最終的に、あなた自身が確認するようにしてくださいね。

水平線のインジケーターでオススメなのは
MT4 インジケーター貯蔵庫さんの FractalSupportResistance button 1.04 です。

➡ [FractalSupportResistance button 1.04](#)

詳しい使い方は、サイトで確認ください。
※記事が消された場合はご容赦ください。

【トレ教 1】で解説した水平線を引くコツをしっかりと学び、自分で実際に引いてみる練習を続ければ必ず効く水平線を引くことができるので、その練習は怠らないようにしてくださいね。

③MA（ボリンジャーバンド）

MA は、Moving Average の略で、移動平均線とも呼ばれます。

MA やボリンジャーバンドを用いることで「上方向に向かっている」だったり、「下方向に動いている」というトレンドの方向感や売買のタイミングを探ることが出来ます。

テクニカルツールとして、とても有名なので、チャートに表示しているトレーダーは非常に多いです。

MA やボリンジャーバンドの傾きが上昇しているのか、下降しているのかを見ればいいので視覚的にも分かりやすく、FX 初心者さんにもオススメです。

横軸

MA は時間と共に変化する横軸の一種です。

そのため、指値注文などには使えません。

縦軸である水平線の場合は、時間が経過してもレートは変わりませんので

「この水平線（レート）に到達したら買い注文を入れよう」というように、予め注文してから会社などに出掛けることもできますが、MA の場合はそれができません。

基本的に、MA は斜めに動きますし、まっすぐ 1 mm も変わらず水平に動く事は、ほぼありません。

そのため、「この辺りで MA に到達するだろうという」予測を立てることができず、

「MA に到達したら買い注文を入れよう」ということは非常に困難なのです。

MA を利用する場合は、その場で MA に到達する瞬間を見ている時に注文する「成行注文」を使います。

MA とはどのようなもの？

下のチャートの真ん中の黒い太い曲線が MA です。



MA のチャート

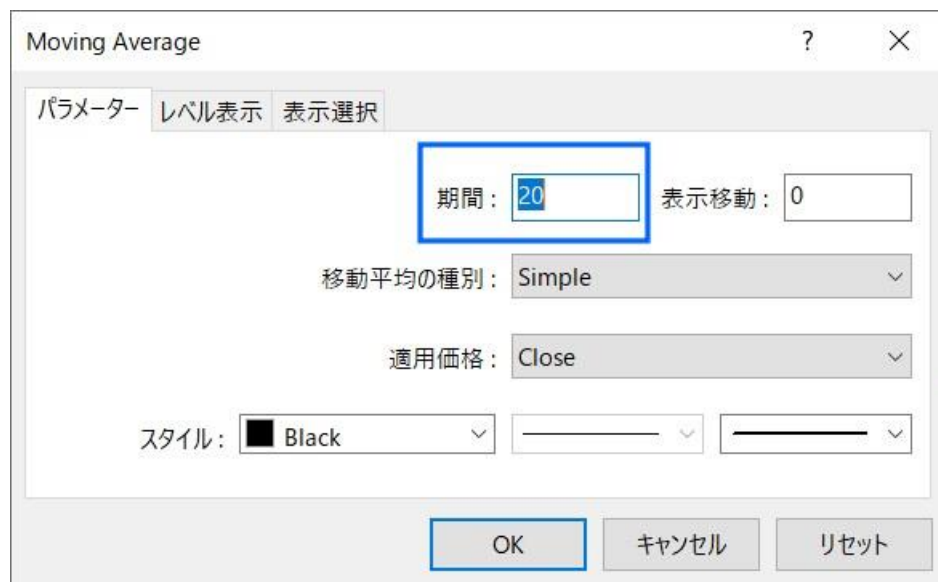
そして MA と一言で言っても「期間」を指定することができ、その設定によって MA が表示される位置が大きく変わります。

その為、「どの期間にするのが 1 番良いのか？」と MA のパラメーターにこだわる方がいらっしゃいます。

私自身も 10 や 20、21、25、75、200 など、色々試しました。

しかし、どのパラメーターが最適というものは存在しません。
好きな数値を使えば良いです。

それでも迷ってしまう場合は、表示しているトレーダーが多い「20」や「75」、
「200」などを使うのも良いでしょう。



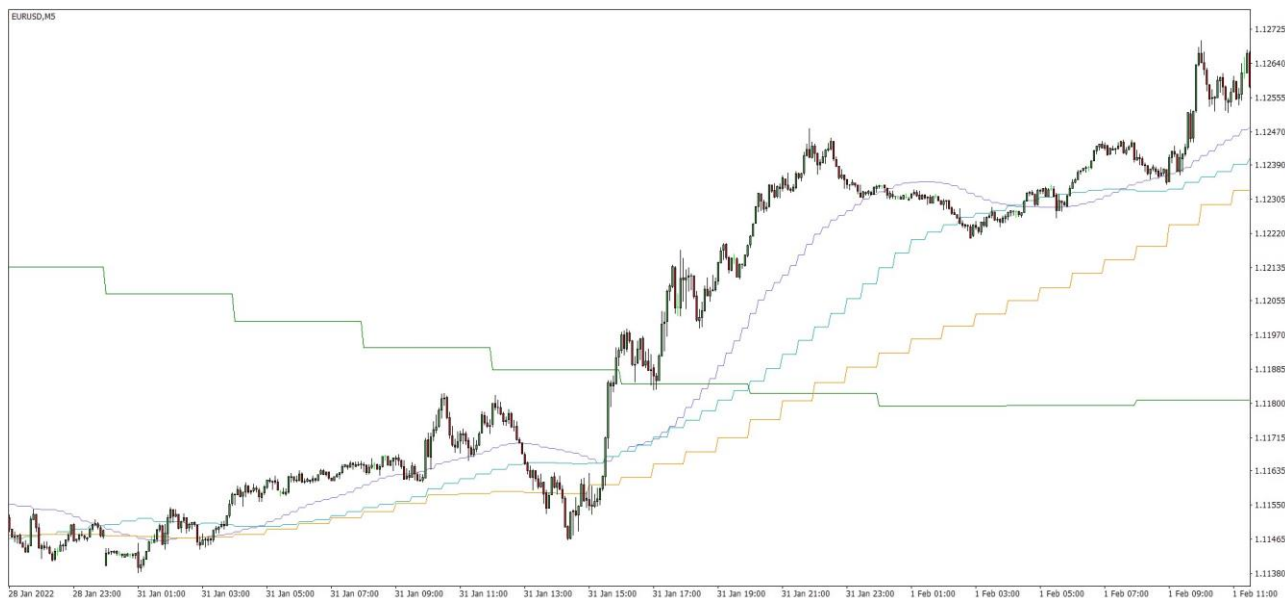
ちなみに私が MA を使う時は、20SMA を使っています。

MTF__MA を紹介

私は、普段 MA を使う時は 20SMA を使っていると先述しましたが、その際は「MTF__MA」というインジケーターで、1 つのチャートに他の時間足の 20MA も同時に表示させています。

下のチャートに表示されている、オレンジ色、水色、紫色のラインが MTF__MA です。

普通の MA と比べて、ギザギザしているのが特徴です。



MTF__MA

この「MTF__MA」を使うことによって、チャートを切り替えなくても、今見ている時間足チャートだけで、他の時間足チャートを見ることができるので便利です。

例えば、5分足チャートを見ている時にこのチャートだけで、15分足の MA や、30分足の MA、1時間足の MA や日足の MA などを確認することができます。

MTF__MA を使うもう 1 つの理由として、MTF__MA は正確だからというのがあります。

MA のパラメータの期間を、表示したい MA の何倍だからと、パラメータ部分を掛け算して普通の曲線の MA を使って、日足や 4 時間足など他の時間足を表示する方もいらっしゃいますが、実はそのやり方では正確ではありません。

実際に無理やり上のやり方で表示させた MA と MTF__MA を同時に表示して比べてみると、ズレがあることが分かります。

きちんとした正しい MA を表示したい場合は、MTF__MA を表示させましょう。

カクカクしているのが正しい証拠なのですが、このカクカクしているのが嫌だったり目安程度で構わない場合は、上記のようにパラメーターを変更するやり方でも構いません。

パーフェクトオーダー

MAを使った環境認識で私がよく見ているものの1つにパーフェクトオーダーと言うものがあります。

これは、簡単に言うとのこ 短期・中期・長期の MA が綺麗に並んでいる状態 とを言います。

綺麗な並び順というのは、以下の状態です。

アップトレンドの時→ 上から 、短期・中期・長期の順でが並んでいる	MA	ダウントレンドの時
→ 下から 、短期・中期・長期の順でが並んでいる	MA	

チャートで見てください。

アップトレンドのパーフェクトオーダー



ダウントrendのパーフェクトオーダー



順張りの手法をするなら、エントリーする時に、このパーフェクトオーダーが出ていないかチェックすると良いでしょう。

これが出ていると、トレンド方向に綺麗に動きやすく、順張りトレードの勝率が高いです。

前のページのチャートは

長期→ 1 時間足

中期→ 3 0 分足

短期→ 1 5 分足

ですが、これも先ほどの MA のパラメーターと同様に、必ずしもこれでないといけないわけではありません。

例えば

長期→日足

中期→1時間足

短期→15分足

でも構いませんし、

「期間」の部分

長期→200

中期→75

短期→20

などでも良いです。

ただし長期と中期、中期と短期の期間があまり近いと効果が薄いので、それぞれの期間はある程度離すように設定してくださいね。

パーフェクトオーダーのポイント

パーフェクトオーダーで確認するべきところがあるので解説していきますね。

- ・傾きがしっかりとあるか
- ・3本のMAは同じ角度であるか
- ・順序は間違いないか

が注目するべきところです。

MAの性質上、パーフェクトオーダーが出ていても、傾きが無ければそもそもトレンドが出ていないので、順張りの手法を使う場面ではないのでエントリーできません。

その場合はレンジ手法を使う場面です。

パーフェクトオーダーの角度を見て相場を判断し、手法の使い分けをしましょう。

そして、3本のMAは同じ角度であると信頼度が高まります。

交差している箇所がないかも確認しましょう。

順序は必ず上記に書いたように、アップトレンドの時は、上から、短期・中期・長期の順で、ダウントレンドの時は、下から、短期・中期・長期の順でMAが並んでいる事が必要です。

しかし4本以上のMAを表示させている場合は、1～2本並び方がおかしくても大丈夫です。

正確にはパーフェクトオーダーと呼ばませんが、大まかに上の並びになっていれば順張り手法でエントリーすれば、高い勝率を出すことができますし、大きな値幅を狙えますので、リスクワードも良くなります。

積極的に狙いたいエントリーポイントです。

また、3本のMAの間隔が広がりつつあるかも合わせて確認すると良いでしょう。

しっかりとトレンドが続く時は、それぞれのMAが広がっていくためです。

逆にトレンドの終焉部分では、それぞれの**MA**の間隔が狭まってきます。

パーフェクトオーダーを使った勝率の高いエントリーポイント

パーフェクトオーダーが出ている時は、それ自体で勝率が高い相場になっています。
しかしその中でも、選りすぐりの勝率の高いエントリーポイントをお伝えします。

これが出たら何も考えずにエントリーというわけには行きませんが、環境認識する時間足と執行足の相場状況を見て、損切になる要因が無いか確認できたら、狙っていきたいポイントです。



パーフェクトオーダーを使った勝率の高いエントリーポイント

執行足が下の状況になっていたら勝率が高いです。

- (1) 全ての MA が並び順通りの秩序を保ちながら、終結しているポイント
- (2) 1 番内側の MA にローソク足が向かっていき、MA で反発するポイント

下のチャートを見ながら解説していきます。

- (1) 全ての MA が並び順通りの秩序を保ちながら、集結しているポイント



上のチャートの赤丸部分です。

ここに3本のMAが集まっていますね。

こういう箇所はパワーがたまっていますので、傾き方向に、いつ下落してもおかしくありません。

ここから動意つき、この後全ての MA がシャワーのように落ちていき、大きく下落し始める可能性が高いです。

つまりトレンドの初動部分になります。

3つの MA が集まった後に離れていき、パーフェクトオーダーになるポイントは、トレンドの根っこからエントリーできる可能性が高いのでリスクリワード比率も良くなります。

ほぼ同じ位置に複数の MA が重なっている状態でもありますので並び順が多少違っていても、MA 同士の間隔（値幅）が小さい時はそこまで気にしなくても良いです。

動意づくつと順番が変わり本来の綺麗な並び順になって、綺麗に間隔をあげながら落ちることも多いからです。

アップトレンドのチャートも同じです。



上のチャートの赤丸部分です。

ここに3本のMAが集まっていますね。

上から下に向かって、紫色のMA（15分足）→ターコイズブルーのMA（30分足）
→オレンジ色のMA（1時間足）の順になっていて、同じくパーフェクトオーダーです。

(2) 1 番内側の MA にローソク足が向かっていき、MA で反発するポイント



1 番内側の MA にローソク足が向かっていき、MA で反発するポイントというのは、上のチャートの青丸部分です。

上からシャワーのように MA がパーフェクトオーダーで落ちて来た後の場面。

そして 1 番内側と言うのは、短期の MA のことです。

これは、アップトレンドの時もダウントrendの時もパーフェクトオーダーの場合、1 番内側は常に短期の MA になります。

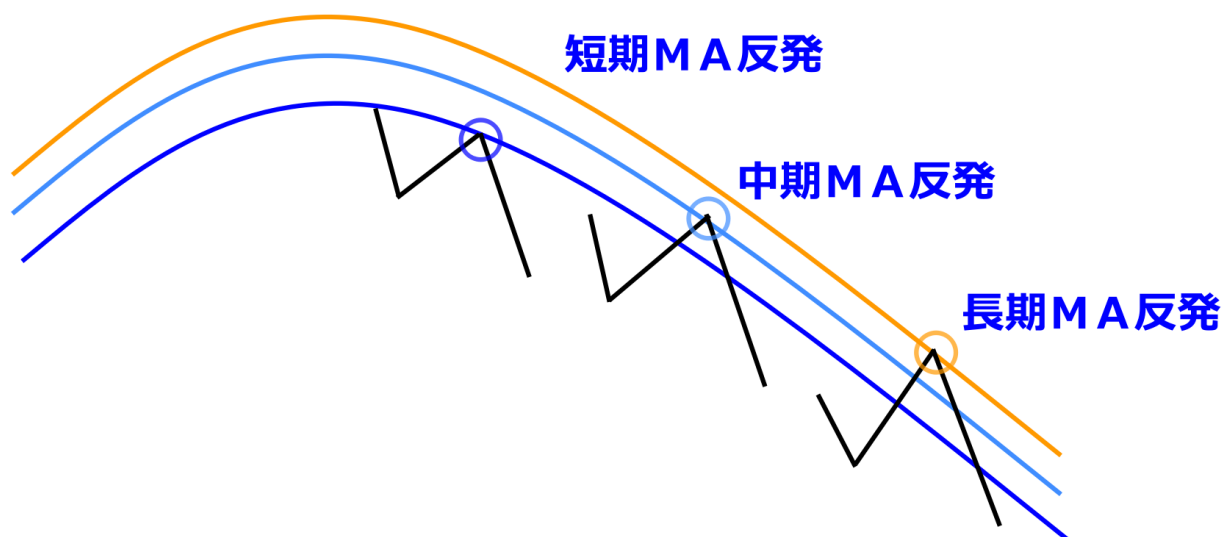
この1番内側の短期 MA に向かって行く形、つまり MA 反発の形がパーフェクトオーダーを使った勝率の良い場所の2つ目です。

この場合も綺麗に下落しやすいです。

これらの短期、中期、長期の MA は、その名の通りそれぞれ MA です。どの MA でも「MA 反発して下落」が起きる可能性があります。

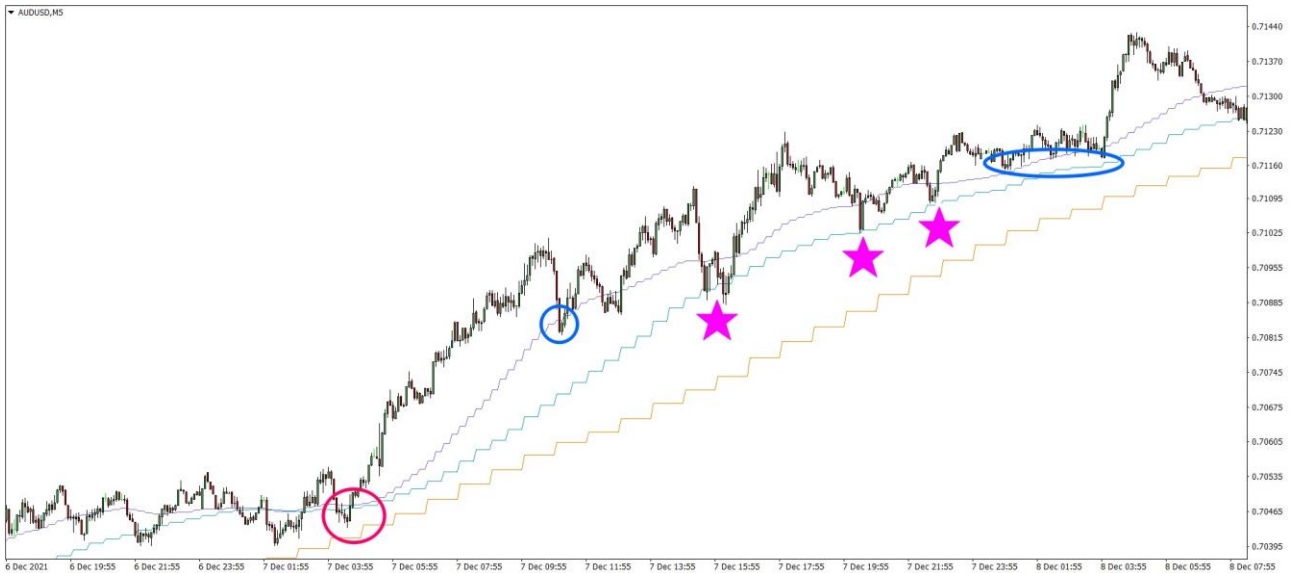
つまり、短期の MA で MA 反発せずに抜かれたら次に中期の MA が同じ角度で控えているわけですから、今度は中期の MA 反発で下落する可能性があり、それでも抜かれた場合は長期の MA で落とされる可能性があります。

これは3回砦があるということになりますね。



できれば一番内側の短期 MA に反応して落ちてくれると良いですが、そうならなかった場合も落ちる要因としてはまだ2つ残っているので、1つの MA 反発の時よりも3倍とは言わないですが、落ちる確率が高いのです。

アプトレンドのチャートでも確認してみましょう。



こちら、下からシャワーのように MA がパーフェクトオーダーで昇って来た後の場面。

1 番内側の MA に反発する向きでローソク足が向かっているポイントというのは、上のチャートの青丸部分です。

1 番内側の紫の 15 分足 MA で反発して上昇していますね。

そして、ピンクの星マーク部分をご覧ください。

15 分 MA で反発できなかった部分は、次の緑の 30 分 MA で支えられて上昇しています。

ちょうど、先ほど解説した現象ですね。

パーフェクトオーダーで負ける2つのパターン

パーフェクトオーダーとはいえ、万能ではありません。

もちろん、負けるパターンも存在します。

私が検証した中で、分かりやすいものが2つありますので、あなたにもシェアしますね。

パーフェクトオーダーで負けやすいパターン

- (1) トレンドが出過ぎている場合
- (2) MA の角度が無くなり横向きになってきた場合

(1) トレンドが出過ぎている場合

先程少し触れましたが、パーフェクトオーダーでエントリーを狙うには、トレンドが出過ぎていないことが注意ポイントになります。

このパターンはある程度のトレンドが出ている時に出現しますので、トレンドの終焉部分でも出ます。



上のチャートは、ユーロドルで長期を200MA、中期を75MA、短期を20MAで表示しています。下から、短期・中期・長期の順で並 MA があるので、パーフェクトオーダーですね。

そして、綺麗な波形を描きながら422pips下落しています。結構下落していますね。

こういう場合はそろそろトレンド転換するかもしれないと疑うことも必要です。

これは 400pips 以上だから落ちすぎているというわけではなく、通貨ペアによってもその基準（ボラ）が違います。

ドル円はあまり値幅が無い通貨ペアですし、ポンド円は大きな値幅で上下動く事はザラです。

そして、時間足によっても動く値幅は違います。

1 分足で動く値幅と日足の値幅が違うのは分かりますよね。

そのため、普段あなたがトレードする通貨ペアや時間足（執行足）での平均的な値幅を見ておくことが大切です。

これについて、分かりやすい目安がありますので、お伝えします。

それは、1枚の大きなチャートを表示させた時に、画面いっぱい从上から下へ動いた場合や、それよりもさらに動いていてチャート画面に入りきらずにチャートを右や下に動かさないと下落の始まりと現在レートが入りきらない場合は、かなりトレンドが出ている可能性が高いです。

これを目安にしてみると、トレンドの終焉部分で喜び勇んでエントリーして負けることは減ると思いますので、参考にしてみてください。

このように長く下落が続くトレンドがある程度出尽くしている場合は、下げるパワーが無く、MAの効力も失われているため、簡単にMAを上を抜かれて負けてしまうことも念頭に入れておきましょう。

先程の例で出て来た 2 枚のチャートも、トレンドが出過ぎている所は MA 反発が効かなくなってきました。



★より後は MA 反発しても下げ幅が小さくなってきていますね。

(2) MA の角度が無くなり横向きになってきた場合

そして2つ目の負けやすいパターンとして、MA の角度が無くなり横向きになってきた場合も、そろそろトレンドが終焉する兆候ですので、負けやすくなります。

ここでのポイントが、「MA の角度」です。

角度のない、真横に寝そべってるだけのぐ～たら MA はお仕事しないので、そのまま反発せずに抜けていってしまいます。

次のチャートをご覧ください。



今回は MA の角度に注目しながら見てみて下さい。

最初の青枠の部分は、短期の黒の 20MA が横になりましたが、赤の長期、青の中期はまだしっかりと下に向いています。

相場と言うのは短期よりも中長期の流れの方が勝つことが多いので、しばらくすると中長期の下の流れに逆らうことが出来ずに、再び黒の短期 MA も下向きになっています。

次に真ん中の水色の枠はローソク足が上昇し、短期の MA は向きが下から上に変わっています。このまま上昇してしまうようにも見えますが、、

ここでもやはり赤の長期はまだしっかりと下に向いているため、再び下落の流れになりダウントレンドが継続していますね。

しかし、そこから下落が進んだ後のピンク枠はどうでしょうか？黒の短期 MA は真横になり上昇しています。ここだけを見ると真ん中の青枠と似ていますね。

しかし、青色の中期 MA と赤の長期 MA は今までの下向きの角度が無くなり、真横になって来ています。

これは売りのパワーが一旦出尽くした場面でよく出現します。

こうなると、もう売りエントリーを狙わない方が良い場面になります。

レンジになったり、トレンドが転換してアップトレンドになることが多いので、負けやすくなりますので、先ほどのパターンと合わせて覚えておいてください。

もしあなたがアップトレンドでエントリーをした後に、少し下落してきたとします。

その時、決済するべきかの判断基準として、MA が大きな傾きで上向いていたら、まだ決済しなくても良いともいえます。

先程の例で出て来た 2 枚のチャートもトレンドが出過ぎている所は MA 反発が効かなくなってきました。



青枠で囲んだあたりは MA が横になり、MA に当たっても下げ幅が小さくなっています。



こちらも青枠部分では、MA が横になり MA に当たっても反発せず下に落ちてしまっていますね。

余談ですが、私の手法でもこのパーフェクトオーダーが登場します。

私の手法を簡単に言うと、1時間足と5分足で環境認識をして、これらの時間足でトレンドが出ている方向に、1分足で戻り高値で売りエントリー、押し目で買いエントリーをするという順張りですが、エントリーする時に、このパーフェクトオーダーが出ていることが結構あります。

特にエントリー条件の中に入れていないのですが、トレードルールである8つのエントリー条件を満たす時は、何故かパーフェクトオーダーになっていることが多いのです。

エントリーしようと思って短期足を見たら、パーフェクトオーダーが出ていたり、パーフェクトオーダーになりそうな場合は「お？勝てそう♪」と嬉しくなります（笑）



④ フィボナッチチャネル

フィボナッチチャネルに行く前に、、、まず初めに質問です。

あなたはトレンドラインを知っていますか？

水平線のように真横に引くラインではなく、斜めに引くラインで下のチャートのように引いたラインですね。



トレンドライン

このトレンドラインはトレンドの勢いを見たり、エントリーポイントや損切ポイント、利確ポイントに使ったりと、色々便利なものです。

しかし、トレンドラインって人によって引く位置がバラバラになるんですね。

角度も1度でもズレると、全く違う場所に引けてしまうので、そのばらつきは水平線よりも大きいです。

このため、せっかくトレンドラインを引いても全然反応せずに抜けてしまうということが起こり得ます。

実際にチャートを見てみましょう。



上のチャートを見て頂くと、黒色、赤色、青色、ピンク色のラインが引けます。

「そんなところに引かないよー」って思ったものもあるかもしれませんが、実はこのライン、読者さんに実際に引いてもらったラインなのです。

トレードをはじめたばかりの初心者の方や、実際に利益を出している上級者の方に引いてもらったラインがこの4種類なのです。

どうでしょうか？人によって引く場所がバラバラなのが分かりますよね？

チャートというのは、多数決の原理で動くとも言われています。

多くの人が注目しているラインは反発しやすく、誰も注目していないラインは反応しないのです。

そのため、初心者でも上級者でも誰が見てもアップトレンドと分かるチャートの方が、買いエントリーの勝率が上がりますし、誰が見てもここに引くでしょというラインで反発するものです。

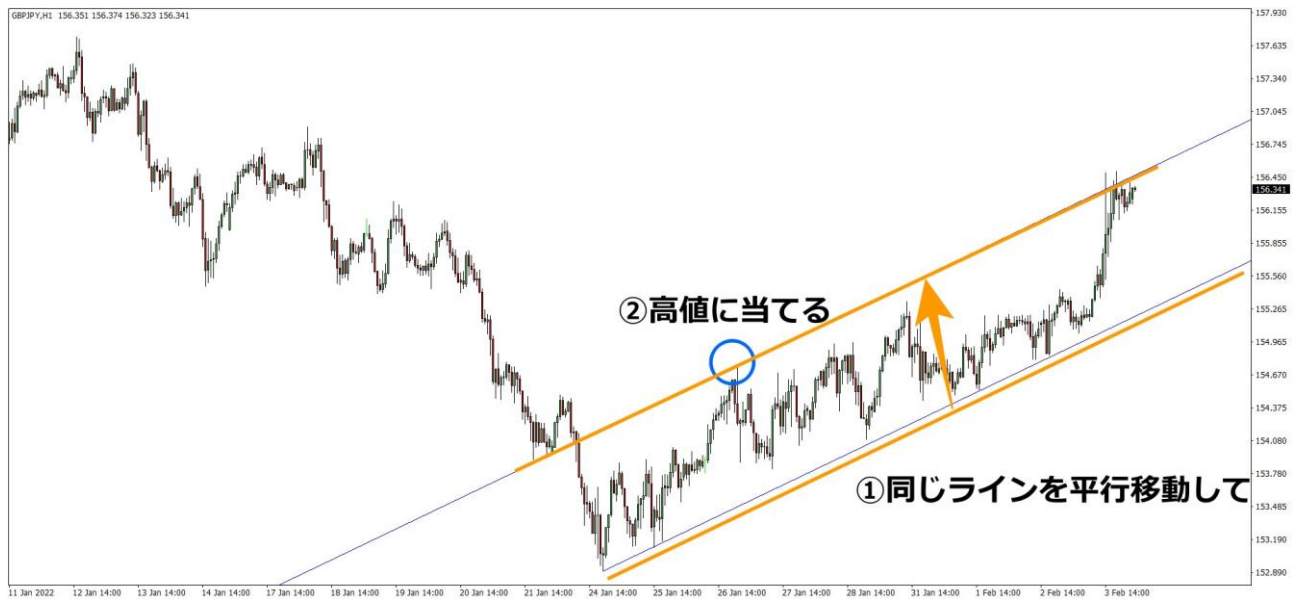
そう考えるとトレンドラインは、皆が意識する全く同じ角度で引くのは難しい場合が多く、反発するラインを引けるかどうかというのは難易度が高いです。

という理由で、私はトレンドラインではなく、チャンネルラインを使う事を推奨しています。



チャンネルライン

チャンネルラインとは、先程の1本のトレンドラインの角度を保ったまま、下のラインを平行移動した線を上の高値に移動したものです。



ローソク足が跳ね返っているポイントを線で結ぶと、相場の状況に沿った抵抗帯、つまり反発ポイントが見えてきます。

トレンドラインは1本のラインで心許なかったですが、チャンネルラインは2本ですので、精度が上がります。

1本のラインを平行に移動したライン、つまり上のラインになりますが、このラインもローソク足に反発していないと引けないためです。

このチャンネルラインについても、間違っただ引き方というのか、精度が低い引き方をしている人をよく見かけます。

それは、アップトレンドの場合ですと安値の2点を取り、上の高値の1つだけに移動してしまうやり方です。

エリオット波動でもこういった引き方を使うことがありますが、おそらく、それを意識して使っていないと思うのです。

その場合、安値の2点さえあればどこでも引けてしまうので、精度が低いです。

これでは先ほどのトレンドラインと変わりません。

例えば下のようなチャンネルラインです。



2本ある斜めラインのうち、下のラインは何度もローソク足が反発している箇所に引けているので良いのですが、問題は上のラインです。

上のラインで反発している箇所は、青丸部分しかありません。

こういうチャンネルラインの引き方は精度が低いので、反発箇所を見つける目的では私は引きません。

あなたはしていませんか？

私が引く場合は、下のように上のラインも下のラインも2回以上反発している箇所に引きます。



もう1つ違う場面も紹介しておきます。まず、精度の低いチャンネルラインが下のチャートです。



上のラインが、青丸の1か所しか効いていませんね。

これでは次にローソク足が上昇して上のラインに当たったとしても反発するかは微妙なところです。

それでは、この場合どうやって引くと良いのかと言うと、それが下のチャートになります。



いかがでしょうか？

上のラインも効いていますね。

この後、ローソク足が上昇して上のラインに到達したら、かなりの確率で反発下落します。

同じチャンネルラインでも、引くなら2枚目のチャートのように精度の高いチャンネルラインを引くようにしましょう。

それでは、あなたも一緒に引いてみましょう。

問題です！

下のチャートを印刷して、赤枠で囲ったアップトレンドの部分に定規を使って斜めのラインを2本引き、チャンネルラインを引いてみて下さい。



私の考え：

私ならここに引くよというラインは下の通りです。

正解は1つではないですが、参考にしてみてください。



下の青のマーカ一部分で角度を取り、それを平行に移動したものを上のピンクにマーカした高値にあてました。



チャネルラインを引いたことにより全体的なトレンドが分かりやすくなりました。

このチャネルが引けていれば、上の青丸部分で売りエントリーができますし、下の左の青丸部分ではレジサポ転換がおきているので、ラインに抜けた後戻ってきたところで売りエントリーもできます。

その後の青丸でもラインで反発下落しているの、売りエントリーで利益が出ていますね。

どうでしょうか？

あなたはどこに引きましたか？

チャンネルラインの角度

効くチャンネルラインを引くコツの中に「**角度**」があります。

効くチャンネルラインは緩やかな角度のラインです。

急なチャンネルラインはすぐに抜けてしまうのでエントリーや決済には使えません。

具体的には4 5度以下のチャンネルラインを引くようにしましょう。

もしそれよりも急なチャンネルラインが引けた場合は、あまり信用せずに他の根拠を見つけるようにしましょう。

さて、どんどん進んできましょう。

せっかくこの【トレ教】を手にしてくださったのですから、もっとレベルをあげて、実践的なスキルを身につけていきましょう。

では次です。

チャンネルラインでも良いのですが、もっと精度を上げる方法があります。

さて、どうすればいいでしょうか？

はい、チャンネルラインよりもさらにもっと強力なものです。

それは、フィボナッチチャンネルというものです。

私のブログや Twitter などでもよく表示しているので、見たことがあるかもしれませんね。

フィボナッチチャンネルも、上昇の流れまたは下降の流れを見ることができ、反発する箇所を見つけることに役立ちます。



フィボナッチチャンネル

フィボナッチチャンネルも MA と同じく横軸です。

フィボナッチチャンネルはトレンドラインの応用なので、やはり斜めに引きます。

そのため、「この辺りでフィボナッチチャンネルに到達するだろう」という長期的な予測を立てることは難しいです。

この性質上、「フィボナッチチャンネルに到達するこのレートで買い注文を入れよう」ということは困難ですので、成行注文でエントリーや決済に使ったり、環境認識に使います。

後述しますが、相場と言うのは、横軸と縦軸の両方で見ることにより精度高くこの後の値動きを読むことができます。

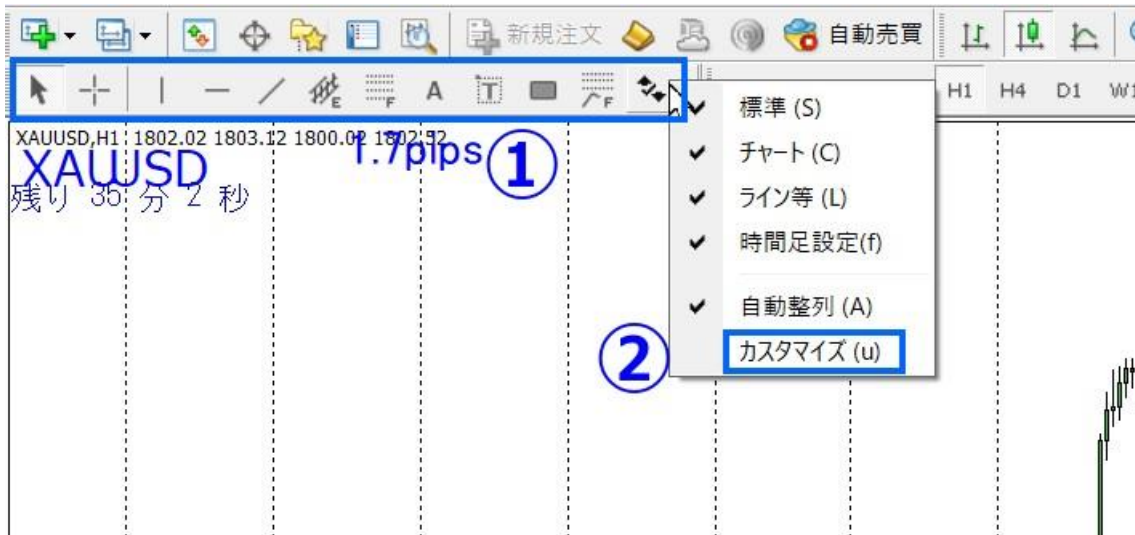
縦軸の水平線と合わせて横軸である MA やこのフィボナッチチャンネルも使いこなせるようになるとあなたのトレード成績は各段に上がります。

トレンドラインの場合は 1 本、チャンネルラインは 2 本なので、そのラインが本当に効いているのかを判断しづらいですが、フィボナッチチャンネルの場合 10 本程度引けるので、信頼度が非常に高く、私は斜めラインを引く場合は、このフィボナッチチャンネルを使っています。

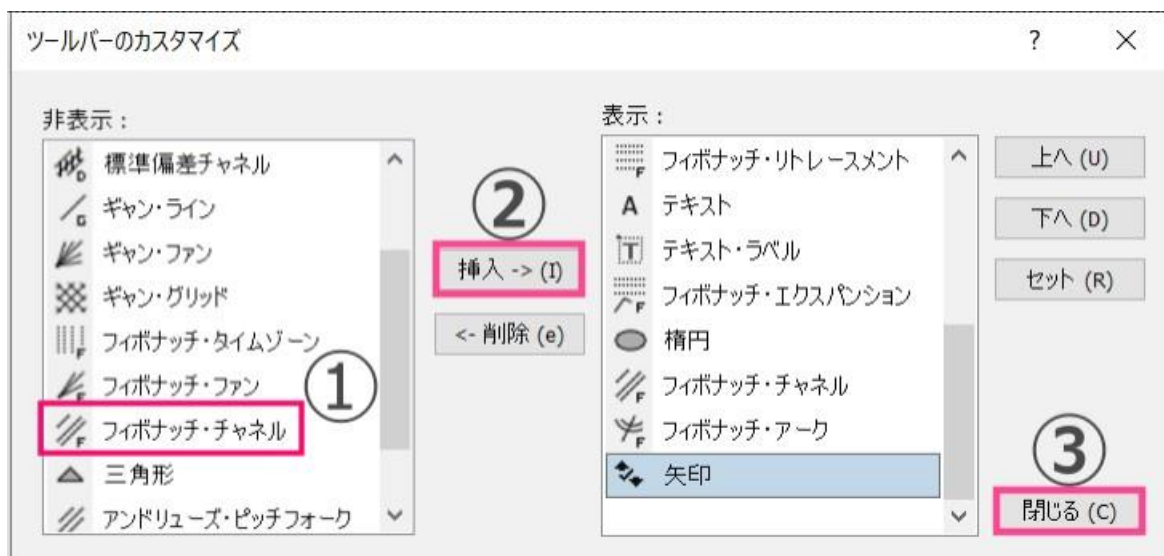
MT4 の出し方

フィボナッチチャネルを MT4 で使う手順は

① MT4 の上にあるメニューバーの中の、矢印アイコンや十字アイコン、縦線アイコンなどの上で右クリックをし、次に表示されるメニューの 1 番下の「カスタマイズ」を押す。



②「ツールバーのカスタマイズ」の画面が表示されたら ①→②→③の順に押すと



③ MT4 上に「フィボナッチチャネル」のボタンが表示されます。



このフィボナッチチャネルのアイコンを押した後に、チャート上で左クリックを長押しして、角度を取りたい2点のローソク足におくと、フィボナッチチャネルが引けます。

続きを次のページに載せますね。

フィボナッチチャネルの引き方

まず、フィボナッチチャネルのアイコンを押した後、トレンドが右肩上がりなら、安値同士を繋ぎます。
右肩下がりなら、高値を繋ぎます。

ダウ理論の項目でやりましたね、

右肩上がり⇒アップトレンド⇒安値を基準する

右肩下がり⇒ダウトレンド⇒高値を基準にする

ここまではトレンドラインやチャネルラインと同じですね。

そうすると、ラインが自動的に複数表示されます。

これらのラインは当てずっぽに引かれたわけではなく、フィボナッチの重要ラインである「50%」や「161.8%」などの間隔で計算されて引かれています。

この複数のラインを1本ずつ見ていき、ラインでローソク足がきちんと反発しているかを確認してください。

効くフィボナッチチャネルが引けた場合、どのラインでもローソク足は反発しているはずですよ。



フィボナッチチャンネル

上のチャートは、ピンクのマーカの2か所で角度を取っています。

フィボナッチチャンネルも角度が重要です。
緩やかな角度のラインの方が効きます。

急なフィボナッチチャンネルは抜けやすいのでエントリーや決済には使えません。
45度以下のチャンネルラインを引くようにしましょう。

フィボナッチチャネルを使ってはいけない相場

フィボナッチチャネルを使ってはいけない相場というものがあります。

それはトレンドが出ていない相場です。

フィボナッチチャネルはトレンドラインと同じくトレンドが無いレンジ相場では引けませんし、無理やり引いても機能しません。

そもそも、「どこの角度で引けばいいの？」ってなりますからね（笑）

そのため私は、

- ・トレンド相場→フィボナッチチャネル（またはチャネルライン）と水平線
- ・レンジ相場→水平線

を使っています。

その他、適宜ボリンジャーバンドなどを補助的に表示する事はあります。

フィボナッチチャネルの詳しい解説や裏技的な使い方は、【XM】の口座開設特典の1つ、「FXで勝ちを積み重ねる最強の秘策」で解説していますので重複するので割愛します。

興味があればそちらをご欄ください。

【XM】の口座開設特典

- ・安定して勝ち続けるための7つの習慣とその攻略法
- ・FXで勝ちを積み重ねる最強の秘策

XM（エックスエム）は、海外FXの証券会社で、私が利用している会社です。セーシェル金融庁の正式な金融ライセンスを持つ信頼できる証券会社です。

この会社は、セーシェル金融庁による審査を受け、金融サービスを提供する公式の許可を得ています。セーシェル金融庁の監督のもとで運営されており、コンプライアンスに重点を置いています。

XMグループは、世界196カ国でサービスを提供しており、20の言語に対応しています。海外FX業者の中で最も顧客満足度が高いとされ、日本人トレーダーにも人気です。日本語対応可能、スプレッドも狭く、入出金もシンプルです。

このXMを広めるために、ただいまキャンペーンを行ってまして、豪華特典の1つがこのPDFになります。

海外FXに興味がある方は、是非XMでトレードしてみてください^^
使いやすいですよ。

⑤チャートパターン

チャートパターンはたくさん存在しますが、絶対におさえておくべきものは次の5つです。
これだけ押さえておけば大丈夫です。

- (1) ボックス
- (2) 三尊
- (3) 逆三尊
- (4) ダブルトップ (5) ダブルボトム

順番に解説していきますね。

(1) ボックス

まずボックスとは何かですが、レンジ相場的一种です。

レンジにはいくつかの種類がありますが、ローソク足が上下同じような長さで推移する形状の分かりやすいレンジを「ボックス」といいます。

もう少し具体的に定義づけをすると、高値の2か所同士がほぼ同じレートで引けて、安値の2か所同士もほぼ同じレートで引け、その間のローソク足の多くがその値幅に収まっている時です。

分かりやすいようにチャートでお見せしますね。

下のオレンジで囲った2か所がボックスです。



ボックス

高値同士、安値同士のローソク足は実体でもヒゲでも、両方が混ざっていても構いません。

その他、見分け方としては、MA がその中をあまり上下に動かずに真横に横たわっていることが多いです。

(MA は途中から真横に横たわる場合もあります。)



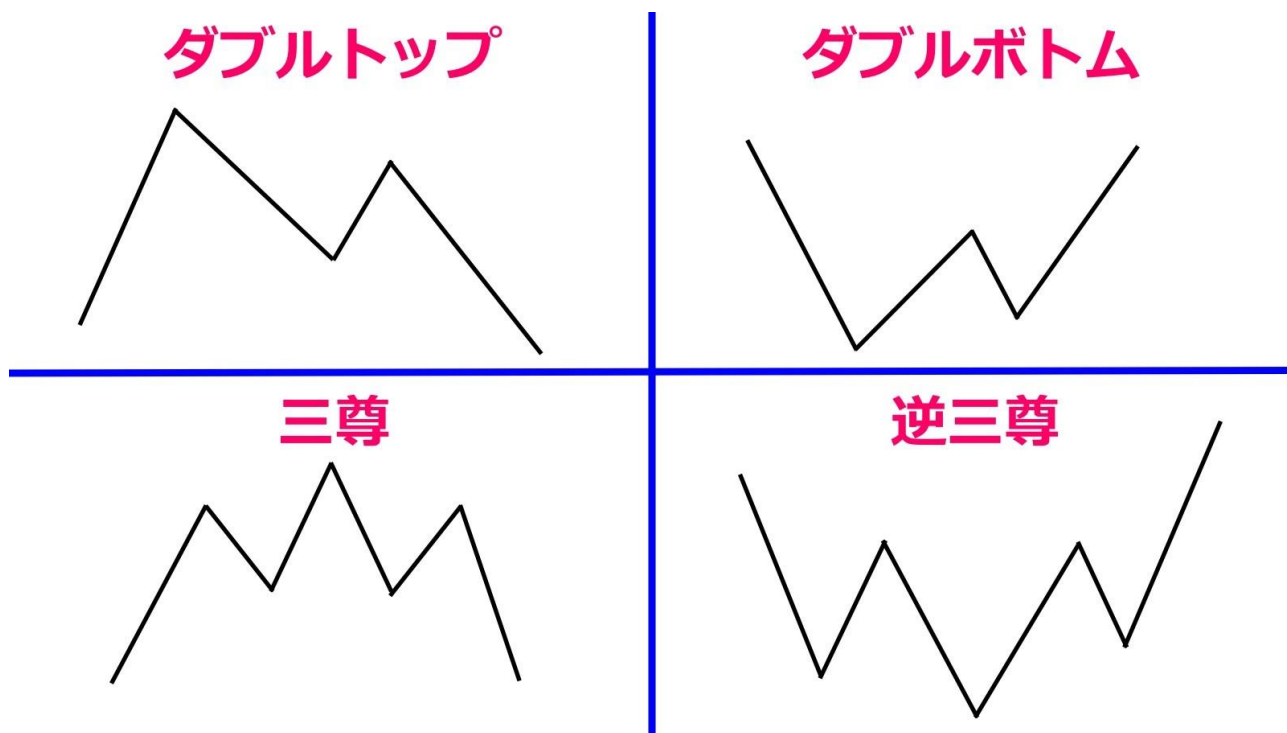
真ん中あたりから MA が横たわるケース

ボックスの出現頻度は意外と高いです。

そして、エントリーポイントが分かりやすいので順張りやレンジ手法をされる方に最適です。

(2) 三尊 (3) 逆三尊 (4) ダブルトップ (5) ダブルボトム

これら4つはトレンド転換を示唆するチャートパターンの代表選手です。



トレンドとチャートパターンの組み合わせ

今回注目しているチャートパターンは4種類ありますが、トレンドによって見るチャートパターンがあります。

アプトレンドの場合

- ・ダブルトップ
- ・三尊

ダウントレンドの場合

- ・ダブルボトム
- ・逆三尊

を見ます。

アプトレンドであってもダブルボトムや逆三尊は出現しますし、ダウントレンドであってもダブルトップや三尊は出現しますが、その場合は見る必要はありません。

組み合わせが大事です。

上の表をしっかりと覚えて下さいね。

トレンドと見るチャートパターンが分かった所で次に進みますね。

チャートパターンの出現位置

三尊と逆三尊、ダブルトップ、ダブルボトム の 4 つのチャートパターンは実はチャートを探せば至る所で見つけることが出来ます。

しかし、出る度に「トレンド転換かも？」と身構える必要はありません。

実はこれらのチャートパターンは、出る場所がポイントです。

ダブルトップと三尊

- ・高値圏
- ・水平線が引ける位置
- ・フィボナッチが引ける位置

ダブルボトムと逆三尊の出現ポイント

- ・安値圏
- ・水平線が引ける位置
- ・フィボナッチが引ける位置

に出ると、トレンドが転換しやすいです。

というより、私は「トレンドが弱まっている」と考えます。

つまりは「レンジ」か「トレンドがそろそろ終わるかも」ということですね。

ここまでをまとめると下のようになります。

	アップトレンド	ダウントrend
どこで	<ul style="list-style-type: none">・ 高値圏・ 水平線が引ける位置・ フィボナッチが引ける位置	<ul style="list-style-type: none">・ 安値圏・ 水平線が引ける位置・ フィボナッチが引ける位置
何が	<ul style="list-style-type: none">・ ダブルトップ・ 三尊	<ul style="list-style-type: none">・ ダブルボトム・ 逆三尊

高値圏と安値圏が特に重要です。

高値圏と安値圏とは

高値圏と安値圏というのはわかりますか？

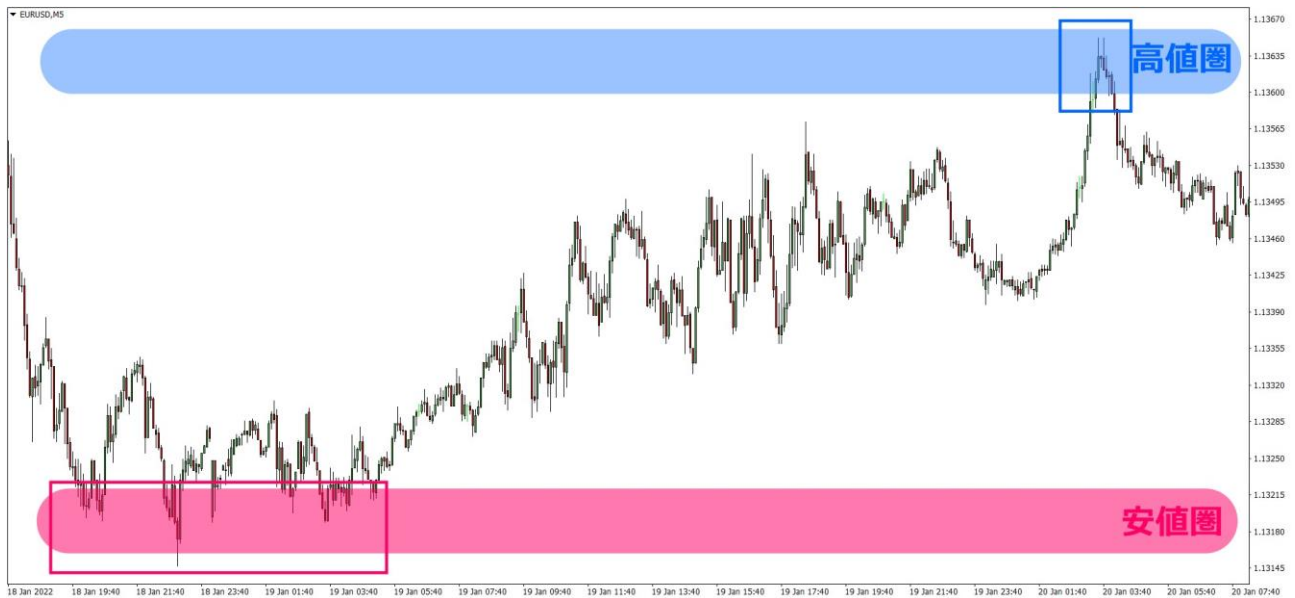
高値圏とは、相場の価格が一定期間の中で高い水準にあることで、安値圏とは相場の価格が一定期間の中で低い水準にあることです。

この、「一定期間の中」というのが分かりづらいため、人によって高値圏と安値圏の位置が異なりますが、私の場合は高値圏と安値圏の範囲とは、チャートに見える範囲で判断することが多いです。

例えば下の2つのチャートは、大きくチャートを表示させた時に1番高い位置を高値圏、1番安い位置を安値圏と見えています。



高値圏と安値圏 1



高値圏と安値圏 2

1分足で高値圏だからといって15分足や1時間足も高値圏かと言えばそうではありません。でもそれは気にする必要はありません。

ただ相対的に見て、現在の時間足チャートで高い水準であるか、低い水準であるかを見ていくイメージです。

1時間足チャートで高値圏の場所にダブルトップが出たら**1時間足レベル**のアップトレンドが弱まると判断するということです。

同じように、4時間足チャートの安値圏で逆三尊が出たら**4時間足レベル**のダウントrendが弱まると判断するということです。



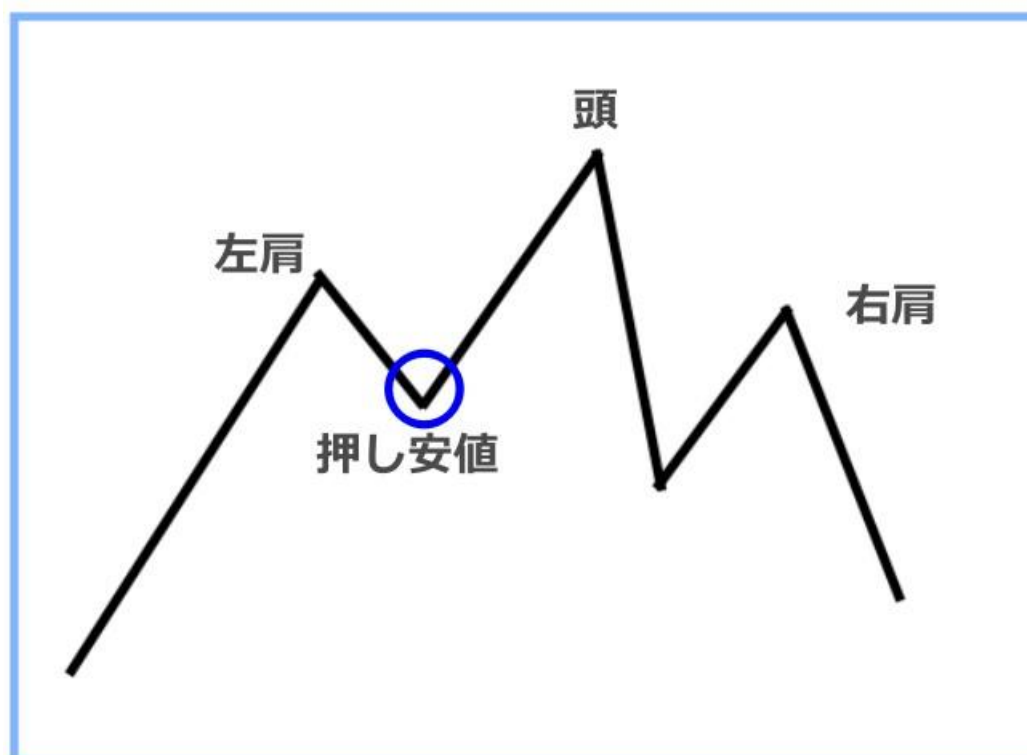
三尊と逆三尊の肩とは？

この後の説明の為に、少し簡単な用語を覚えましょう。

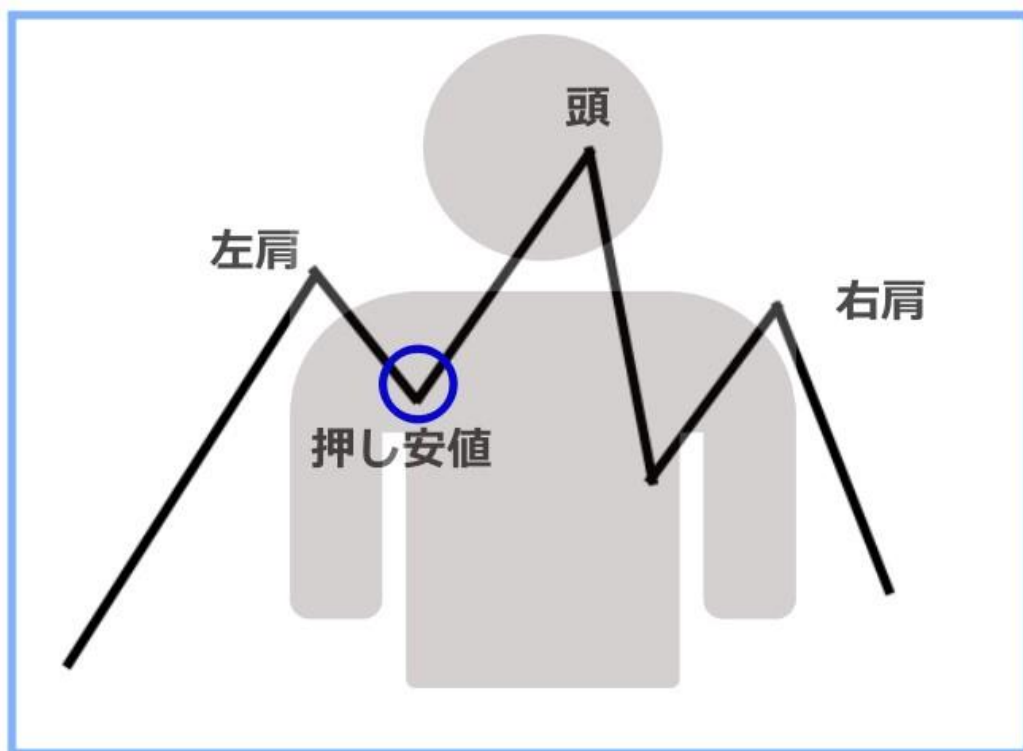
三尊と逆三尊には部位によって呼び名があります。

簡単ですので覚えて下さいね。

下の図のように、最高値を「**頭**」として、その左の部分が「**左肩**」、右の部分が「**右肩**」です。



人に見立てて覚えると簡単ですね。

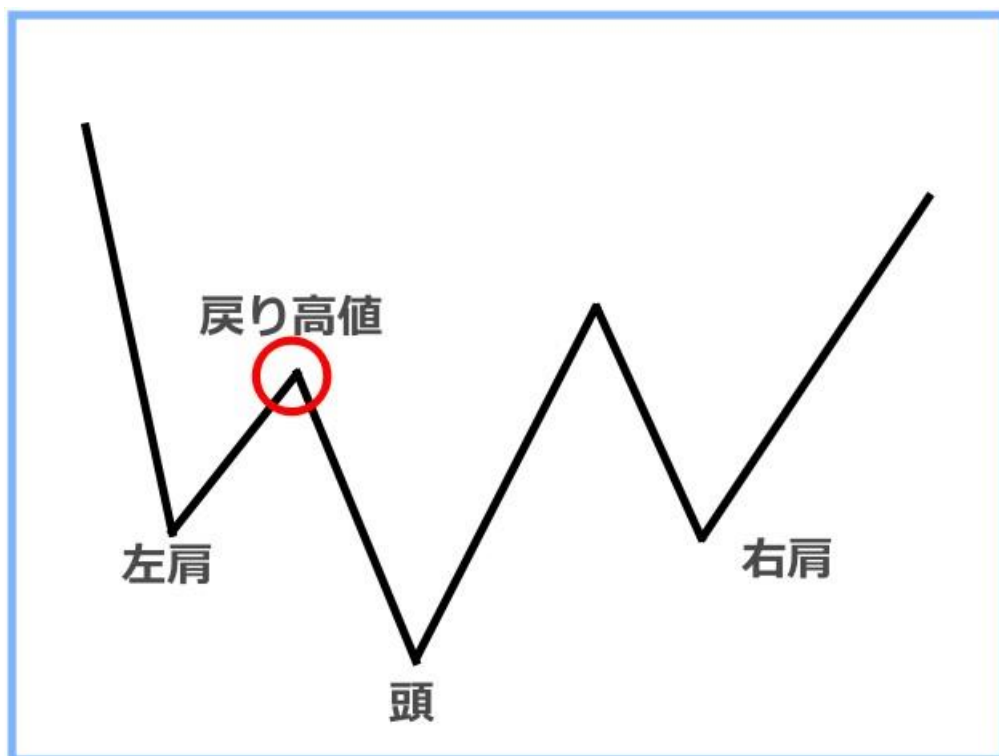


どうでしょうか？

人の頭と左肩と右肩が、ローソク足の頭と左肩と右肩に合致しますね。

逆三尊も同じように、頭と左肩と右肩があります。

これは、逆さだからと言って左肩と右肩を左右逆にする必要は無く、そのまま見たまま左から、左肩、頭、右肩となり、三尊の時と同じ並び順になります。



ここまで覚えたら、次へ進みますね。

三尊と逆三尊はダウ理論を重ねて考える

三尊が高値圏で出たり、逆三尊が安値圏で出るとトレンドが弱まるとお伝えしましたね。

では、もう少し煮詰めてみましょう。

三尊は右と左の肩の高さによって、

- (1) 右肩下がりの三尊
- (2) 右肩上がりの三尊
- (3) 両肩が同じ高さの三尊

の三種類あります。

この中で、1番下落しやすいのはどれでしょうか？あなたは、
分かりますか？少し考えてみて下さい。

次のページに答えを載せます。

答えです。

それは、一般的に右肩下がりの三尊が良いと言われています。

しかし実際には右肩が下がっただけでは根拠としては弱く、上昇してしまうことも多いです。

「三尊が出たから売ったら、だましに遭って上昇して損切になった」という、よくあるパターンですね。



私が考える、これが出ると下がりやすいというのは、押し安値を下に抜けていて、尚且つ、右肩が1番低いという二段階構えの三尊です。

理由は、押し安値を下に抜けてローソク足が確定するとダウ理論で考えたときに、アップトレンドが崩れたと判断できるからです。

押し安値より下でローソク足が確定したならば、右肩部分は左肩よりも上だろうが下だろうが関係なく、最高値よりも下に右肩が来れば、ダウトレンドに転換していますね。

ダウ理論の項目でやったのを覚えていますか？

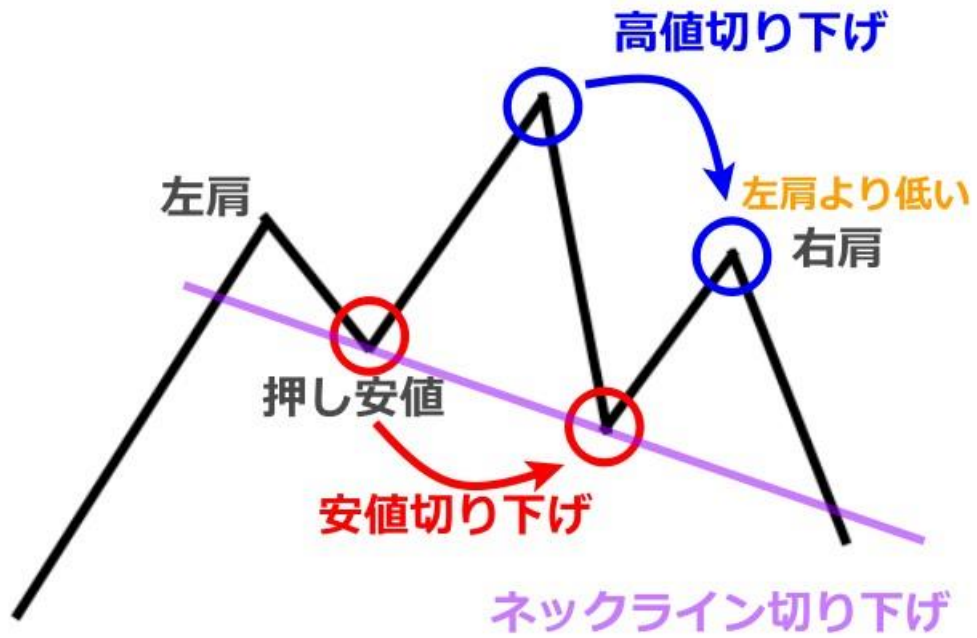
斜めのネックラインを引いた場合、切り下げる形です。

そして左肩よりも右肩の方が下がっていると尚、信頼度が高まります。

これは、3回上にトライしたけれども上がれなかった、しかも3回目が1番低い位置で反発されたとなると、いよいよ上昇する力が弱いということを示唆する為です。

以上の観点から、これが出ると下がりやすいというのは、押し安値を下に抜けていて、尚且つ、右肩が1番低い三尊が出ると信頼度の高いトレンド転換のチャートパターンと判断します。

下の図のようにになっている三尊が理想的ということです。



理想的な三尊

逆三尊も同じように考えます。

これが出ると下がりやすいというのは、戻り高値を上には抜けていて、尚且つ、右肩が1番高いという二段階構えの逆三尊です。

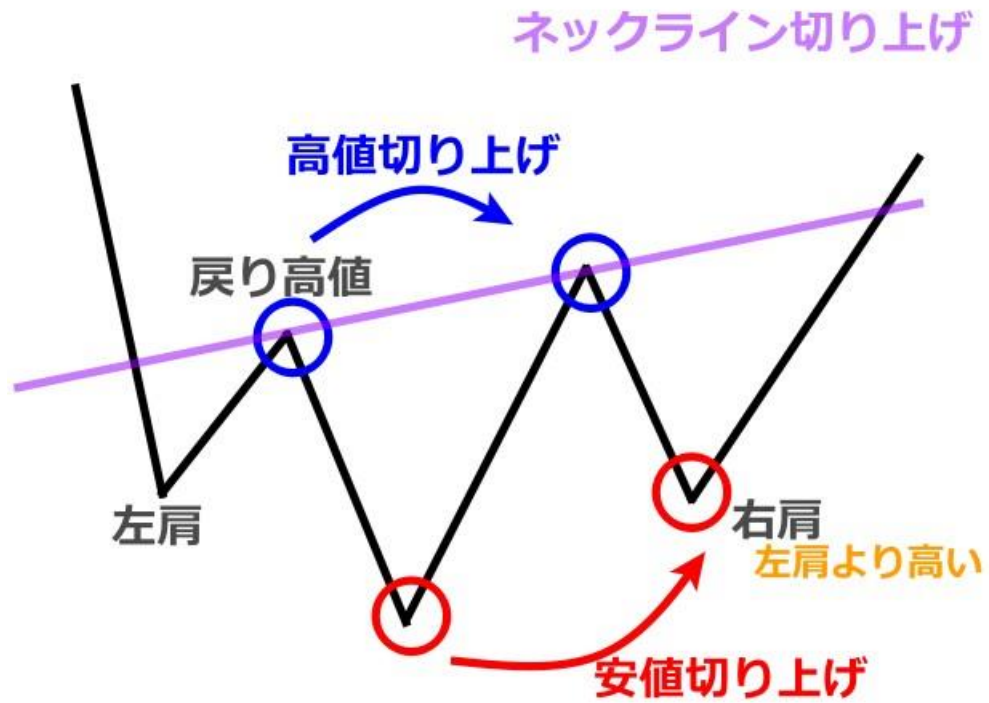
理由は、戻り高値を上には抜けてローソク足が確定した段階で、ダウ理論ではダウトレンドが崩れたと判断できるからです。

戻り高値より上でローソク足が確定したならば、右肩部分は左肩よりも上だろうが下だろうが関係なく、最安値よりも上に右肩が来れば、アップトレンドに転換していますね。

斜めのネックラインを引いた場合、切り上げる形です。

以上の観点から、これが出ると上がりやすいというのは、戻り高値を上を抜けていて、尚且つ、右肩が1番高い逆三尊が出ると信頼度の高い転換を示唆するチャートパターンと判断します。

下の図のようにになっている三尊が理想的ということです。

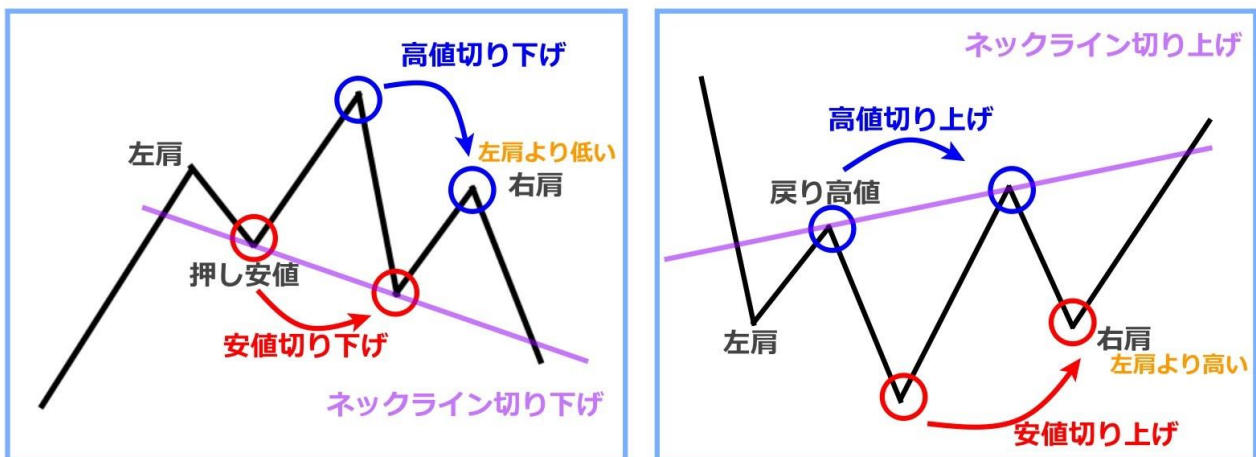


理想的な逆三尊

まとめると

三尊→押し安値下抜け & 右肩が1番低い（ネックラインは切り下げ） 逆三尊→戻り高値上抜け & 右肩が1番高い（ネックラインは切り上げ）

三尊と逆三尊はダウと重ねる



だましに遭いにくいので、このパターンを覚えておくと良いでしょう。

最低限、押し安値や戻り高値が抜けているかの確認が必要です。

そして、これが出たらすぐに売りエントリーや買いエントリーをするのではなく、他の根拠も合わせることを忘れないでください。

⑥プライスアクション

最後に、プライスアクションです。

プライスアクションとは、平たく言うとローソク足単体や複数の組み合わせを見て、この後の動きを予測するものです。

チャートパターン同様に必ずそうなるというものではなく、「そうなりやすい」というものであり、結局最後はその場その場で、相場参加者の気持ちを自分で考えて判断しないといけないので、丸覚えすれば勝てるというものではないです。

環境認識の1つとして、複合的に捉える材料の1つとして紹介しますね。

リバーサルハイ&リバーサルロー

私はプライスアクションを重要視しているわけではないですが、1つだけみているものがあります。

それがこの、リバーサルです。

何故これを見ているかと言うと、プライスアクションの中でも信頼度が高いからです。

※正直に言うとあともう1つ、意識しているプライスアクションがあります。

「ピンバー」です。

ピンバーはリバーサルと、ほぼ同じ値動きですのでココでは割愛します。

リバーサルハイとリバーサルローは、天井圏や底値圏で出ると反転しやすく、大きな波に繋がればトレンド転換するというもので、エントリーの根拠として使う人もいます。

水平線との相性も良いのも、私が気に入っている理由の1つです。

水平線が引ける場所出ると高確率で反発しやすいです。

「この水平線は効くかなあ？」と思った時に、これが出ると反発しやすいですし、長期足でこれが出た後はトレンドが変わる可能性がある、私は環境認識をしています。

リバーサルハイとリバーサルローの違いは、上昇時と下降時のどちらに出るかの違いですが、それぞれ詳しく解説しますね。

まずは上昇時に出るリバーサルハイについてです。

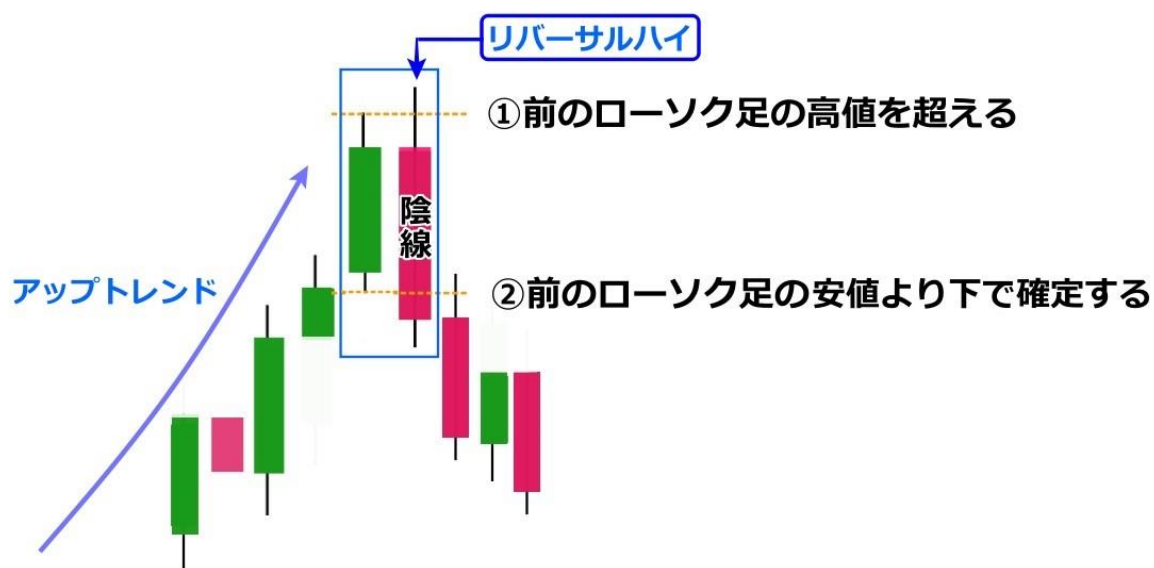
リバーサルハイ

リバーサルハイは2本のローソク足で作られる値動きで、これが出現すると反転して下落しやすいです。

値動き①：1本前のローソク足の高値を、ヒゲで上に抜く

値動き②：1本前のローソク足の安値より下で確定する = 2本目は必ず「陰線」

ポイント：高値圏に出ると反発して下落しやすいです。



これだけの説明ですと、ちょっと難しいと感じたかもしれませんね。

リバーサルハイの見つけ方のコツ

私がやっているリバーサルハイの見つけ方のコツがありますので紹介しますね。

手順は、以下の通りです。

- ① 1本前のローソク足の上下のヒゲ（無ければ実体部分）にラインを引く
- ② 上のラインを、2本目のローソク足のヒゲで上に抜く
- ③ 下のラインを、2本目のローソク足の実体で下に抜く

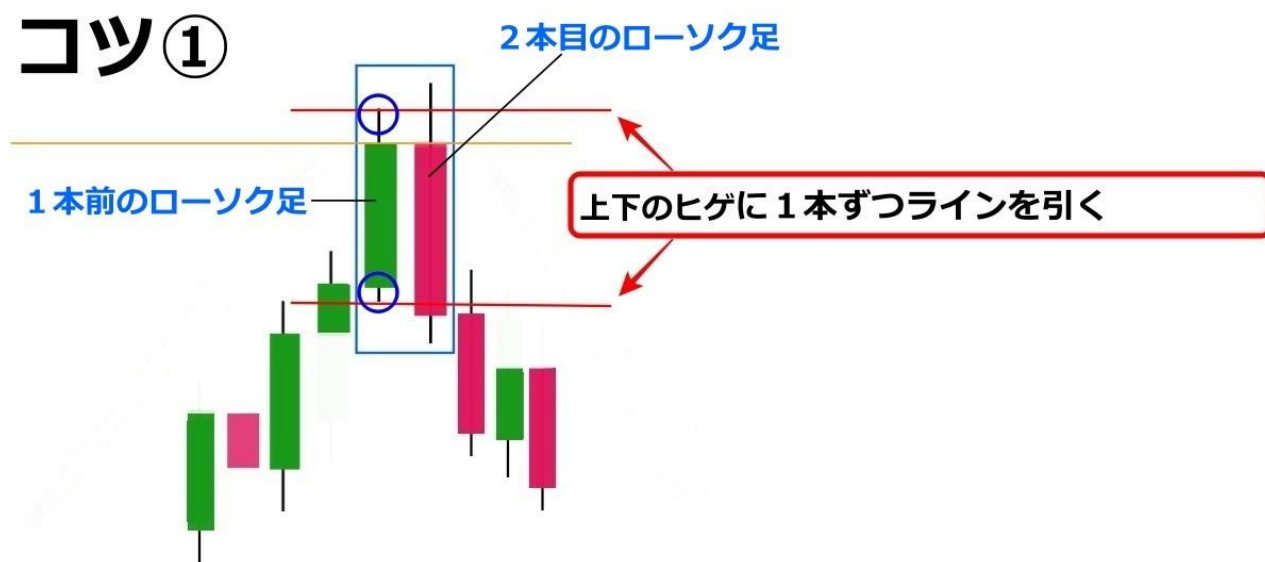
この条件が当てはまったら、リバーサルハイです。

この後ローソク足数本で、下落する可能性が高いです。

画像で見た方が分かりやすいので、画像で説明します。

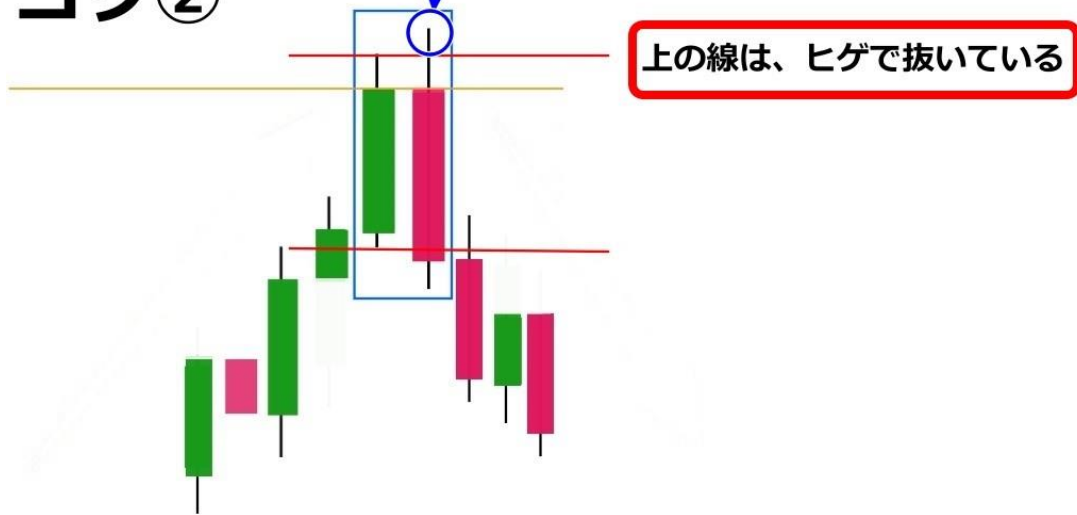
まず、1本前のローソク足の上下のヒゲに1本ずつラインを引きます。

コツ①



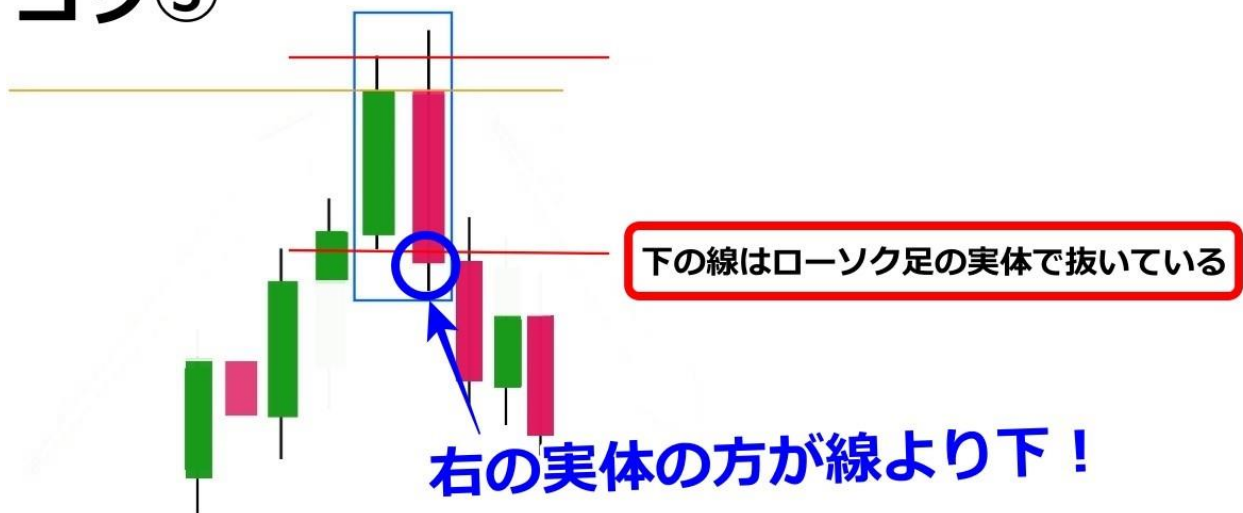
上に引いた線を、2本目のローソク足のヒゲで上に抜いているか確認します。

コツ②



下に引いた線を、2本目のローソク足の「実体」で下に抜いているか確認します。

コツ③

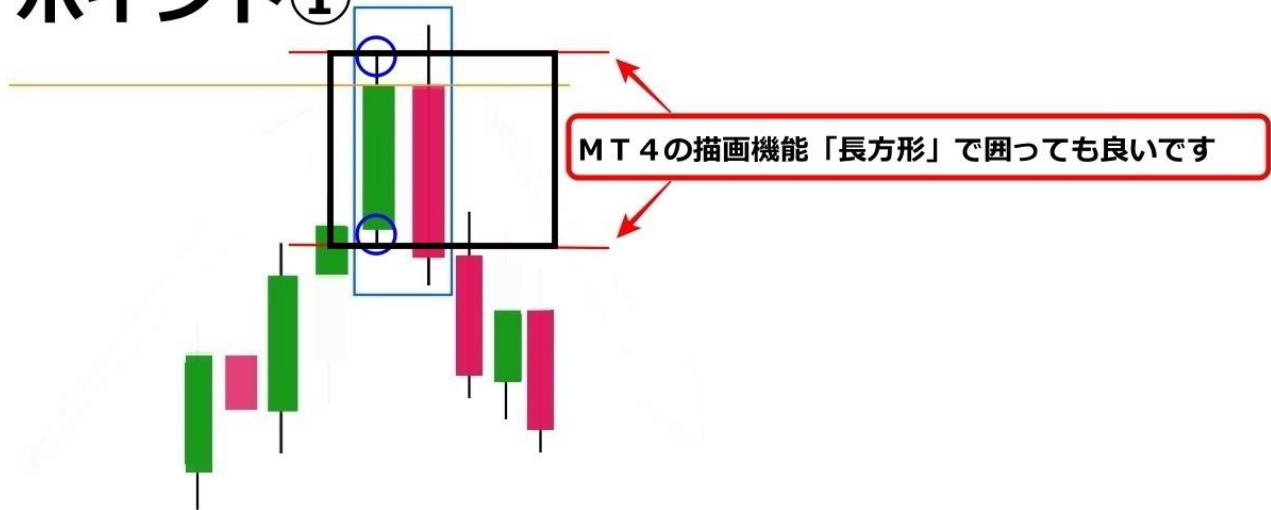


以上3つの工程で、リバーサルハイを簡単に見つける事ができます。

次に、ポイントを 2つみていきましょ

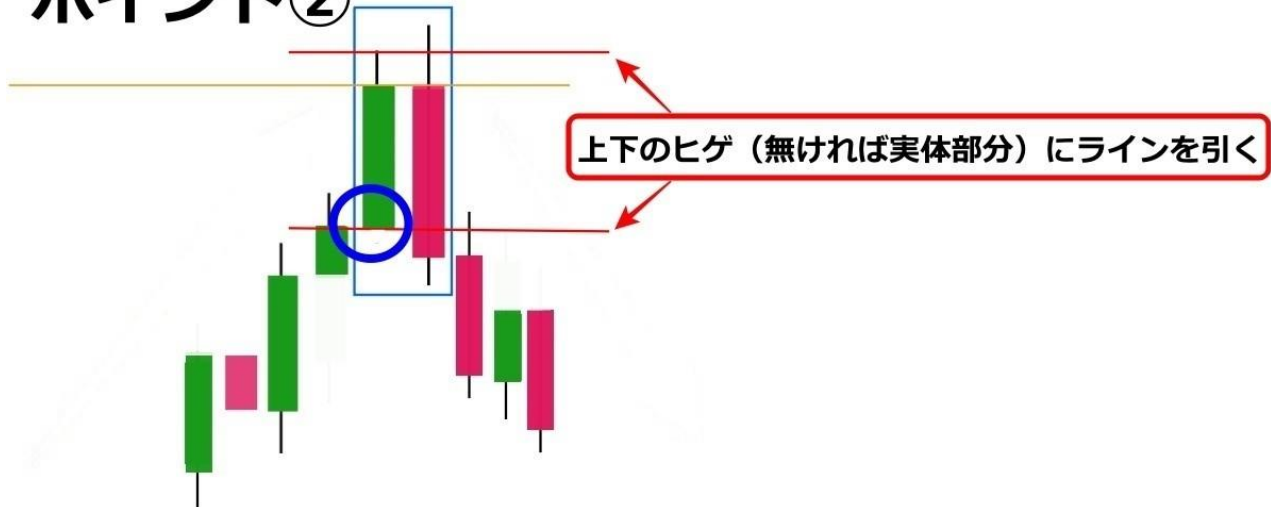
上下に引く線は、「長方形」で囲っても良いです。

ポイント①



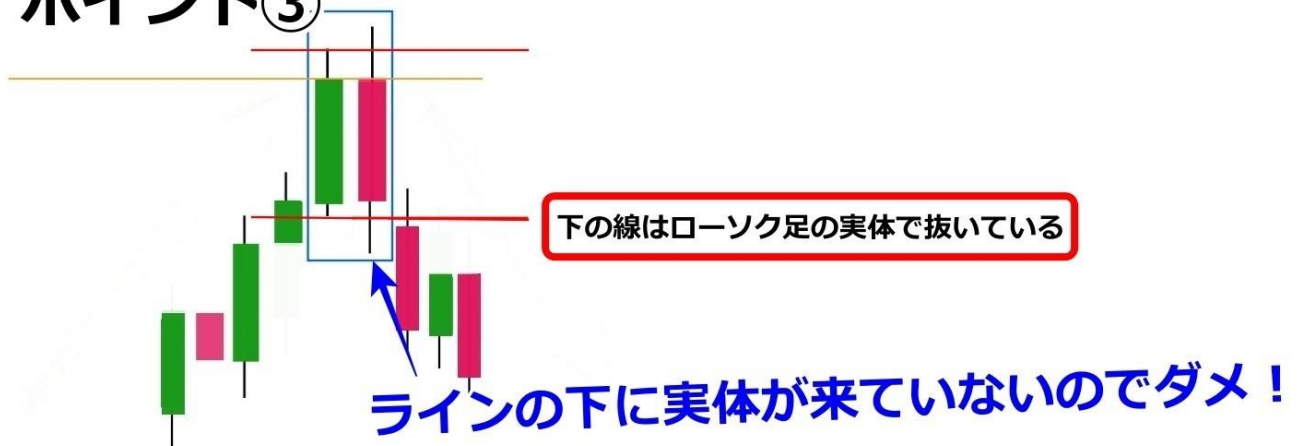
ヒゲが無い時は下の青丸のように、実体部分に引きます。

ポイント②



下ヒゲで抜いていても 実体で下抜けしていなければダメです。

ポイント③



下の図のように、リバーサルハイの周辺に水平線が引けると、さらに反発下落しやすくなります。



今度は、リバーサルローについて同じように解説していきますね。

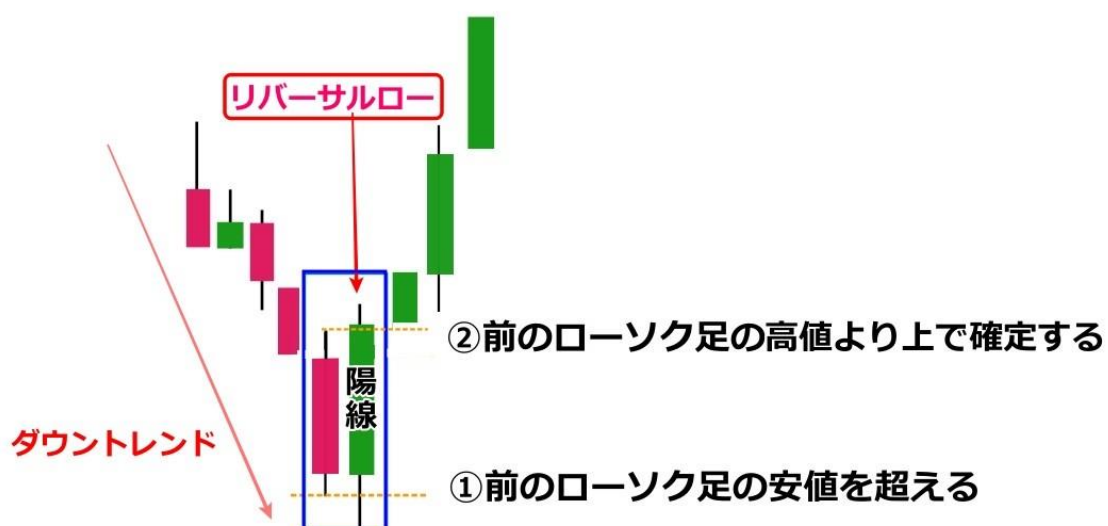
リバーサルロー

リバーサルローも2本のローソク足で作られる値動きで、これが出現すると反転して上昇しやすいです。

値動き①：1本前のローソク足の安値を、ヒゲで下に抜く

値動き②：前のローソク足の高値より上で確定する = 2本目は必ず「陽線」

ポイント：安値圏に出ると反発して上昇しやすいです。



リバーサルローのを見つけ方のコツ

リバーサルローのを見つけ方の手順は、以下の通りです。

- ① 1本前のローソク足の上下のヒゲ（無ければ実体部分）にラインを引く
- ② 下のラインを、2本目のローソク足のヒゲで下に抜く ③ 上のラインを、2本目のローソク足の実体で上に抜く

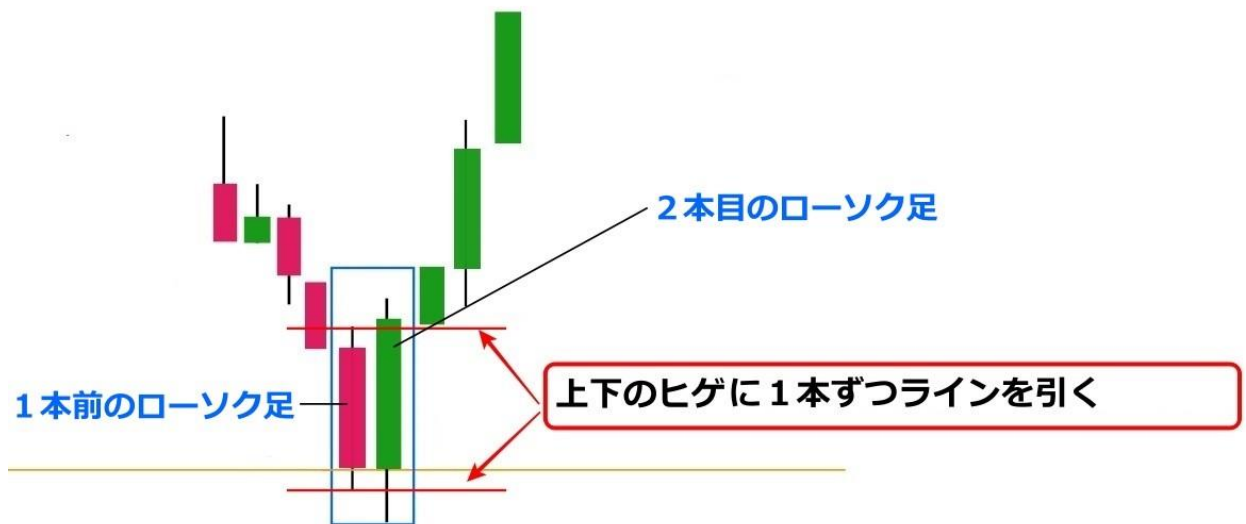
この条件が当てはまったら、リバーサルローです。

この後ローソク足数本で、上昇する可能性が高いです。

画像で見た方が分かりやすいので、画像で説明します。

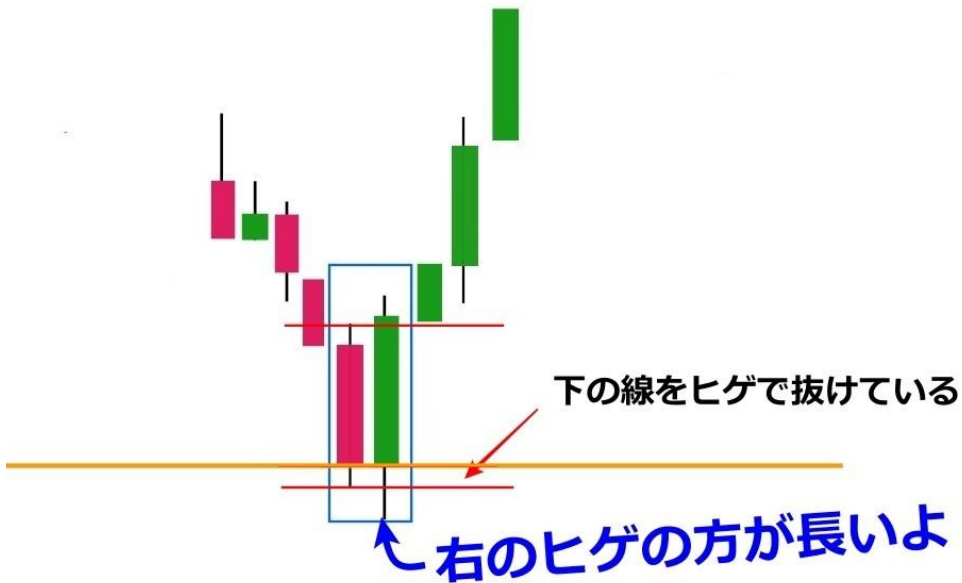
まず、1本前のローソク足の上下のヒゲに1本ずつラインを引きます。

コツ①



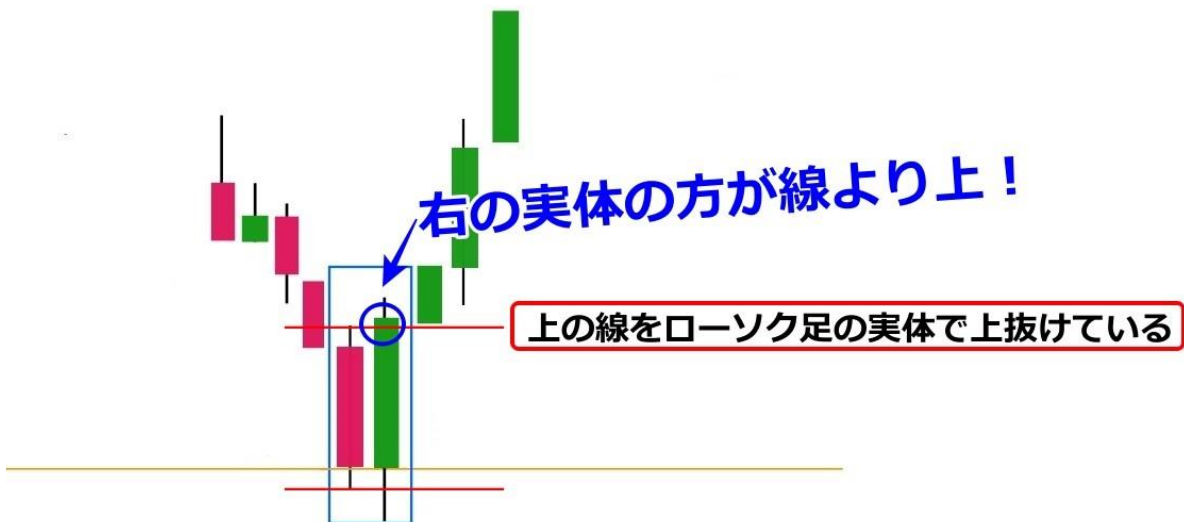
下に引いた線を、2本目のローソク足のヒゲで下に抜いているか確認します。

コツ②



上に引いた線を、2本目のローソク足の「実体」で上に抜いているか確認します。

コツ③

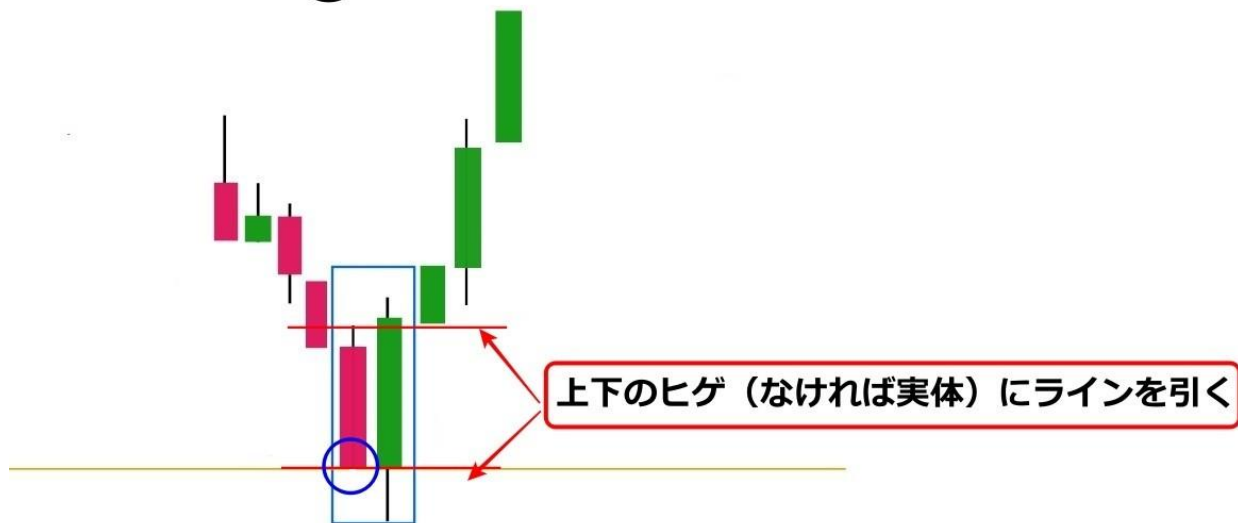


以上3つの工程で、リバーサルローを簡単に見つける事ができます。

次に、ポイントを 2つみていきましょ

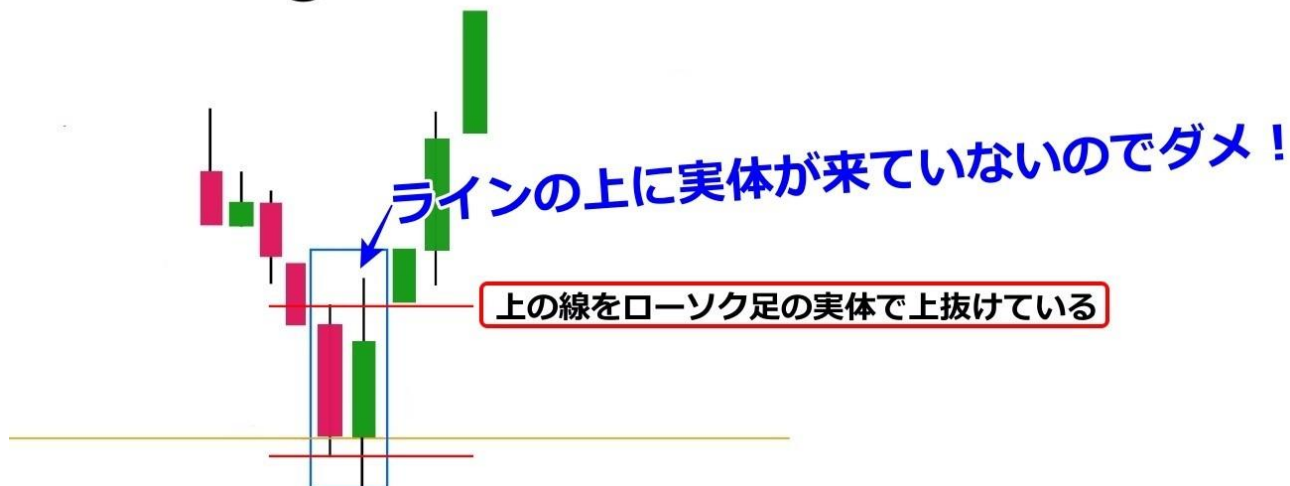
ヒゲが無い時は下の青丸のように、実体部分に引きます。

ポイント①



上ヒゲで抜いていても 実体で上抜けしていなければダメです。

ポイント②



下の図のように、リバーサルローの周辺に水平線が引けると、さらに反発上昇しやすくなります。



下のチャートは、ポンド円の1時間足チャートです。

※PDFを拡大すると、見やすいです。



水平線が引ける所で出現していると、見事に反発しているのがお分かりいただけると思います。

右下のリバーサルローは水平線が引けませんので、出現しても反発して上昇するかは、怪しいと判断するべきでしょう。

もう少し下落して底値圏であったり、水平線が引けると信頼度が高まります。

このように「リバーサル」はプライスアクションの中でもかなり効きます。
あなたに覚えてもらえるように幾つか問題を出しますね！

(1) 次の3つの中で、リバーサルハイはどれでしょうか？

リバーサルハイはどれでしょう？



似たようなものもあるので、間違えずに教えてください。

答えと解説は次のページに載せます。

正解は③です。

この後の値動きは以下のように、下落していききました。



選択肢の①は前のローソク足の実体より下で確定はしていますが、高値を抜けていません。選択肢の②は前のローソク足の高値が抜けていませんし、下ヒゲを2本目のローソク足の「実体」で抜けていないのでリバーサルハイではありません。

続いての問題です。

(2) 次の3つの中で、リバーサルローはどれでしょうか？

リバーサルローはどれでしょう？



リバーサルハイと同じ要領でやっていきましょう。

印刷してから、赤ペンで上下に線を引いてみてもいいですね。

正解は②です。

この後の値動きは以下のように、上昇していききました。



選択肢の①は前のローソク足の下ヒゲを抜けていますが、上ヒゲを実体で超えていません。

③は前のローソク足の高値を実体で上抜けて確定していますが、下ヒゲは同値となっており下抜けていませんのでリバーサルローではありません。

続いて最後の問題です。

(3) 次のチャートの中で、リバーサルが出ているのはどこでしょうか？



正解は以下の通りです。



いかがでしたでしょうか。

第2章は環境認識について学んできましたが、私が1番大切にしているキモの部分です。

勝つために必要なことを惜しみなく伝えましたので、しっかりと落としこんでくださいね。

さて、次からトレードプランについて入っていきますが、これまでの部分の復習や要点をまとめたり、気になったことなどをメモするのに使ってください。

第2章 メモ

第1章では勝ち組になるためにあなたに必要なものをお手紙を使ってお伝えし、第2章では、勝率を上げるためのエントリー前の準備として環境認識を学びました。

環境認識に使えるテクニカル5選や、だましに遭わないための水平線のプラスアクションなどなど、私が普段使っているトレード技術をそのままお伝えしたのでそっくり真似して頂くだけでも、トレード成績は改善されると思います。

この後は、勝率の高いエントリーポイントやトレード方法に焦点をあてていきますがここまでの内容を読んで頂ければ十分かと思います。

この続きは有料になりますが、**メルマガ登録として無料でお渡しします。**

勝てるようになる要素がたくさん詰まっていますので、トレードに行き詰まっている場合は、読んでください。

受講者の79%が、たった7日で勝率5%アップ！

初心者必見！FXで好成績を上げる秘訣が分かる人教材

【トレ教】

↓メルマガ特典 限

定価格

29,800円 → 国内証券会社に**口座開設して無料**でお渡しします。

<https://ayafx.site/46764-2tore>

【投資に係るリスクおよび手数料について】当商品は、著者と同じような利益が出ることを保証するものではありません。FXは価格変動リスクを伴うため、場合によっては損失を被る可能性があります。また、FXには取引業者の売買手数料がかかります。

特定商取引法の表記

■【トレ教】目次（第3章～第5章）

あや流「トレード方法の極意」

（一部変更がある場合がございます。）

第3章 トレードシナリオ

トレードシナリオを作らないとどうなるのか

トレードシナリオを作る目的

どんなトレードシナリオを作るのか

順張りとは逆張り順張りとは逆張りのエントリーポイントの違い

トレードシナリオはいつ作るのかトレードシナリオを立ててはいけないタイミング

トレードシナリオを立てる時間足

トレードシナリオを書くやり方2種

トレードシナリオを作る手順

トレードシナリオの7つの実例←**人気!**

シナリオで作ったエントリーポイントに来たら必ずエントリーするの？

環境認識とトレードシナリオを見直す

第4章 エントリー方法

エントリーする時間足

手法 = 環境認識 + 執行足のタイミング取り

エントリーのタイミング取り

MA を使ってトレードする

正しいMA 反発とは

効いているMA を探すコツ

MA やボリンジャーバンドを使った勝ちやすい2つのエントリーポイント（買い）

MA やボリンジャーバンドを使った勝ちやすい2つのエントリーポイント（売り）

MA やボリンジャーバンドを使った負けやすい2つのエントリーポイント（買い）

MA やボリンジャーバンドを使った負けやすい2つのエントリーポイント（売り）

勝ちやすいエントリーポイントと負けやすいエントリーポイントの一覧

水平線を使ったエントリー方法2種

エントリーを待ち構えるタイミング
水平線でのプライスアクション 5 種
順張りの 2 種類
ボックスで勝率の高い 3 つの厳選エントリーポイント
ボックス手法の 3 つのまとめ
横軸で分かる成功のコツ
MA を使ったトレード方法
その他の勝率が高いトレード方法
順張りのエントリーポイントのまとめ
負けやすいエントリーポイントあや流「未来予測法」

第 5 章 決済方法

損切注文と利確注文を入れるタイミング
利確方法
損切方法

受講者の79%が、たった7日で勝率5%アップ！

初心者必見！FXで好成績を上げる秘訣が分かる教材

【トレ教】

↓メルマガ特典 限定価格

通常価格

~~29,800円~~ → 国内FX会社に口座開設して**無料**でお渡しします。

【条件】下のリンクの証券会社のうち

GMOクリック証券、松井証券、FOLIO、moomoo証券⇨口座開設のみで条件達成

DMM⇨口座開設後入金5万円で達成

※それ以外の証券会社は対象外です

<https://ayafx.site/46764-2tore>

【投資に係るリスクおよび手数料について】当商品は、著者と同様な利益が出ることを保証するものではありません。
FXは価格変動リスクを伴うため、場合によっては損失を被る可能性があります。また、FXには取引業者の売買手数料がかかります。

[特定商取引法の表記](#)

条件達成後

こちらから、【トレ教1】を申請ください。

【トレ教】申請フォーム⇨ <https://form.os7.biz/f/57e72b7a/>

確認ができ次第、メールにて送付させていただきます。

期間限定のプレゼントになります。

予告なく中止する場合がございます。ご了承ください。